

令和5年度
事業報告

社会福祉法人 園盛会

特別養護老人ホーム 多摩の里むさしの園

(広域型/地域密着型)

デイサービスセンター 多摩の里むさしの園

特別養護老人ホーム 多摩の里けやき園

特別養護老人ホーム もみの樹園

運動機能向上型デイサービス もみの樹園

事業所内保育所 もみの樹園

目 次

I	社会福祉法人 園盛会	
	沿革、理事会・評議員会、監事監査 等	1
	経営本部事業報告	4
	経営本部の事業活動	4
	本部採用担当 事業報告	7
	本部営業担当 事業報告	9
II	特別養護老人ホーム 多摩の里むさしの園	
	施設の概要	17
	総務課 事業報告	18
	経営企画室 教育・企画担当 事業報告	28
	介護課 事業報告	
	（介護課全体）	33
	（各ブロック・ユニット）	48
	医務課医務係 事業報告	62
	医務課リハビリ係 事業報告	66
	生活課 事業報告	70
	栄養課 事業報告	81
III	デイサービスセンター 多摩の里むさしの園	
	事業報告	85
IV	特別養護老人ホーム 多摩の里けやき園	
	施設の概要	89
	総務課 事業報告	91
	経営企画室 教育・企画担当 事業報告	100
	介護課 事業報告	
	（介護課全体）	106
	（各フロア）	116
	医務課医務係 事業報告	122
	医務課リハビリ係 事業報告	126
	生活課 事業報告	128
	栄養課 事業報告	134

目 次

v	特別養護老人ホーム もみの樹園	
	施設の概要	139
	総務課 事業報告	140
	介護課 事業報告	
	(介護課全体)	150
	(各フロア)	159
	医務課医務係 事業報告	168
	医務課リハビリ係 事業報告	171
	生活課 事業報告	173
	栄養課 事業報告	180
VI	運動機能向上型デイサービス もみの樹園	
	事業報告	183
VII	事業所内保育所 もみの樹園	
	事業報告	186

令和5年度 事業報告

I 社会福祉法人 園盛会

1 沿革	平成9年3月25日	社会福祉法人 園盛会 設立認可	
	平成10年3月31日	特別養護老人ホーム 多摩の里むさしの園	設置認可
	平成10年4月1日	老人短期入所事業(ショートステイ多摩の里むさしの園)	開始届出
	平成10年4月1日	老人デイサービスセンター 多摩の里むさしの園	設置届出
	平成14年2月1日	居宅介護支援事業所 多摩の里むさしの園	介護保険指定
	平成17年3月28日	特別養護老人ホーム 多摩の里けやき園	設置認可
	平成17年4月1日	老人短期入所事業(ショートステイ多摩の里けやき園)	開始届出
	平成18年2月1日	デイサービスセンター 多摩の里けやき園	設置届出
	平成23年7月29日	特別養護老人ホーム 多摩の里むさしの園の入所定員増加：一部ユニット型(定員168名)	設置認可
	平成25年10月1日	居宅介護支援事業所 多摩の里むさしの園	事業廃止
	平成26年2月28日	ユニット型地域密着型介護老人福祉施設 多摩の里むさしの園：定員18名	介護保険指定
	平成26年3月31日	特別養護老人ホーム 多摩の里むさしの園の入所定員減数：定員150名	定員の変更認可
	平成27年5月28日	特別養護老人ホーム もみの樹園	設置認可
	平成27年6月1日	老人短期入所事業(ショートステイもみの樹園)	開始届出
	平成27年7月1日	事業所内託児所もみの樹園：定員30名	開設認可
	平成28年3月25日	もみの樹園訪問看護ステーション	介護保険指定
	平成28年12月31日	もみの樹園訪問看護ステーション	休止届出
	平成29年2月15日	ソシア訪問看護ステーション(名称変更)	再開届出
	平成29年6月1日	運動機能向上型デイサービスもみの樹園	開設届出
	平成29年11月16日	特別養護老人ホーム 多摩の里けやき園の入所定員増数：定員111名(短期入所定員減員)	定員の変更認可
	令和元年6月30日	デイサービスセンター多摩の里けやき園	事業廃止
	令和4年6月30日	ソシア訪問看護ステーション	休止届出
	令和5年1月31日	ソシア訪問看護ステーション	事業廃止

2 法人本部所在地 〒205-0011 東京都羽村市五ノ神 362 番地

3 土地及び建物

- (1) 土地 ① 東京都羽村市五ノ神字武蔵野 362 番地以下5筆
 (実測面積) 13,594.94㎡ (登記13,584.69㎡)
- ② 東久留米市弥生二丁目 227 番1
 (実測面積) 5,632.56㎡ (登記5,632㎡)

- ③ 東京都新宿区上落合一丁目276番1外2筆
 (実測面積) 2,802.44㎡ (定期借地権)

- (2) 建物 ① 東京都羽村市五ノ神362番2 鉄筋コンクリート造 地下1階地上3階建
 (延床面積) 8,935.18㎡ (登記8,935.18㎡)
- ② 東京都東久留米市弥生二丁目1番18号
 鉄筋コンクリート造 地下1階地上3階建
 (延床面積) 5,998.49㎡ (登記5,998.38㎡)
- ③ 東京都新宿区上落合一丁目17番8号
 鉄筋コンクリート造 地下1階地上6階建
 (延床面積) 8,132.93㎡ (登記8,106.78㎡)

4 理事会

回	開催日	議 事
1	令和5年6月13日	決議事項 第1号 令和4年度計算書類・財産目録の承認の件 第2号 令和4年度事業報告の承認の件 第3号 次期役員候補の件 第4号 定時評議員会招集の件 第5号 運営規程一部変更の件 第6号 給食委託業務契約解除の件 報告事項 理事長及び常務理事の職務執行状況の報告
2	令和5年6月29日	決議事項 第1号 理事長及び常務理事選定の件
3	令和5年11月7日	決議事項 第1号 役員等賠償責任保険契約更新の件 報告事項 理事長及び常務理事の職務執行状況の報告
4	令和5年11月30日	決議事項 第1号 評議員会招集の件 第2号 定期預金流用とそれに係わる問題の件
5	令和5年12月27日	第1号 理事候補者選任の件 第2号 監事候補者選任の件 第3号 評議員候補者選任の件 第4号 評議員選任・解任委員会外部委員選任の件 第5号 評議員会開催の件

回	開催日	議 事
6	令和6年3月15日	報告事項 (1) 定期預金流用に関する経過報告 (2) 令和5年度職務執行状況について
7	令和6年3月27日	決議事項 第1号 令和5年度補正予算(案)の件 第2号 令和6年度事業計画(案)の件 第3号 令和6年度収支予算(案)の件 報告事項 積立保険解約の件

5 評議員会

回	開催日	議 事
1	令和5年6月29日	決議事項 第1号 令和4年度決算計算書類及び財産目録の承認の件 第2号 理事6名及び監事2名の選任の件 報告事項 (1) 令和4年度事業報告について
2	令和5年12月14日	決議事項 第1号 定期預金流用とそれに係わる問題の件
3	令和6年1月10日	決議事項 第1号 理事2名選任の件 第2号 監事1名選任の件

6 監事監査

実施日 令和5年6月5日

実施場所 多摩の里むさしの園会議室

出席監事 監事1名が出席 *監事1名は病気療養中により欠席

監査事項 業務監査(事業報告等の監査)及び会計監査(計算書類の監査)

監査結果 「監査の方法及び内容」並びに「監査意見」を掲載した「監査報告書」のとおり、事業報告等の監査結果並びに計算関係書類及び財産目録の監査結果は適正と認める。

監査報告 令和5年6月13日開催の理事会並びに6月29日開催の定時評議員会において監事から監査報告が行われる。

7 評議員選任・解任委員会

開催日 令和6年1月5日

開催場所	多摩の里むさしの園会議室
出席委員	外部委員 1 名、園盛会監事 1 名、事務局員 1 名
審議内容	評議員の選任について 2 名の評議員候補者を審議し、2 名ともに承認

8 経営本部の事業活動

(1) 経営本部が主導するなかで、むさしの園、けやき園及びもみの樹園の人事管理並びに財務財務管理を集中管理し、適正な入居者サービスの提供と合わせて、迅速かつ的確な処理や支援に努めました。

(2) 5 類引き下げ後の新型コロナ対策の状況

新型コロナウイルス感染症は、5 月 8 日からは感染症法上の位置付けが 2 類相当から 5 類に引き下げられ、医療提供体制を中心とした特例措置も令和 6 年 3 月末を以って終了しました。この間で社会経済活動は日常にもどりましたが、我々の事業環境では、常に新型コロナ感染の発生リスクと向き合い、気の抜けない 1 年となりました。

① 運営調整会議での感染防止意識・行動を啓発

毎月開催の 3 園の幹部会議である運営調整会議において、新型コロナウイルス感染症対策関係について言及し、ハイリスク者であるご入居者を守るための感染防止意識の向上や行動・取組みをはじめ、コロナ対応の新たな知見情報や感染状況等について発信しました。

② 6 回目、7 回目のコロナワクチンの接種

ご入居者が感染した場合でも、重症化回避に一定の効果が認められることから接種を推奨しました。令和 5 年春接種は 6 月から 8 月にかけて、同年秋接種は 10 月から 12 月にかけて各園の接種希望入居者及び職員に対し、6 回目、7 回目となる新型コロナワクチン（オミクロン株対応型 2 価ワクチン）の接種を受けました。

③ 集中的・定期的検査の実施

3 園ともに、東京都が実施する PCR 検査及び抗原定性検査（もみの樹園を除く）の集中的検査を活用し、全職員に対して毎週の検査を実施することで、新型コロナ感染の予防及び感染者の早期発見に役立てました。

④ 3 園ともに新型コロナ感染の入居者対応

① での言及事項を各園で周知し、感染防止行動に努めても、職員の同居家族からの感染や、ご入居者家族等からの感染持ち込みがあり、3 園ともに複数のご入居者、職員の新型コロナ感染対応を行いました。特に、むさしの園では多床室環境の影響もあり、大規模なクラスターが発生し、終息までに約 2 ヶ月を要しました。当該対応を含め、法人内でのスタッフの応援要請や、業務継続計画（BCP）を発動するまでには至りませんでした。

各園の新型コロナ感染者の発生と感染拡大防止及び終息への取組みについては、3 園の当該報告を参照ください。

(3) 第 6 次中期経営計画の初年度取組み

第 6 次中期経営計画（令和 5 年度から同 7 年度の経営計画）の初年度遂行分については、本部の各主管部門が掌理するなか、遂行部門による取組みを展開しました。

特に、「園盛会DXプロジェクト」及び「個別ケア推進委員会」の運営では、法人内3園の各部署から委員を選出し、実施要綱に示した具体的テーマや取組み課題について継続し協議や活動を行い、前者では「バカンス休暇」、後者では「会議・委員会開催の集約」の成果物をまとめることができました。両取り組みの具体的活動報告は、後述を参照ください。

(4) 給食の委託業務契約の解除とスタッフの転籍

法人内3施設の給食業務は、平成27年4月1日からは株式会社サーティスホテルマネジメント（以下「サーティス」という）に業務委託し、園盛会配置の管理栄養士との連携により、食事提供を行ってきました。

3年に及ぶコロナ禍やエネルギー・物価高騰等の社会情勢から、サーティスが給食委託業務からの撤退を決め、調理スタッフの転籍を含めた委託業務契約の解除申し入れがありました。令和5年6月13日開催の理事会で当該議案を審議し、令和5年6月30日を以ってサーティスとの業務委託契約の解除、並びに各施設の調理業務に精通している調理師の雇用確保による給食業務の自営戻しを承認決議しました。これにより、7月1日付で3園調理スタッフ23名（非常勤3名含む）が園盛会に転籍しました。

(5) 人材確保対策とEPAの実績

今年度の新卒採用は3名と揮いませんでした。

EPA制度によるベトナム人介護福祉士候補者4期生4名（けやき園1名、もみの樹園3名）が今年度の介護福祉士国家試験に合格しました。4月からはEPA制度を離れ、当法人との雇用契約により就労を継続します。

6期生のEPAベトナム人介護福祉士候補者9名（むさしの園3名、けやき園3名、もみの樹園3名）が8月に入職し、学習及び就労を継続しています。

また、今年度はコロナ禍で見送られていた現地説明会が再開され、12月5日に開催されたハノイ会場での説明会に4名（うち2名が介護課職員で、1名は元EPAの1期生）が渡越しました。この現地説明会を経たうえで、令和6年度のEPA募集には6名を計上し（むさしの園3名、けやき園3名）、2月と3月のマッチングで全員6名のマッチングが成立しました。

(6) 法人対象の東京都実地検査

令和元年11月以来となる東京都の実地検査が、令和6年3月13日に実施されました。

今回は、園盛会の法人だけが検査対象とされ、理事長（前業務執行理事）を含む本部担当者3名で対応しました。

3月28日には実地検査の結果通知を受け取り、法人運営及び法人会計について文書指摘がありました。4月23日に改善状況報告書を東京都福祉局長あてに提出しました。

(7) 介護職員等の処遇改善取組みの継続

介護職員を中心とした処遇改善取組みについては、「介護職員処遇改善加算」、「介護職員等特定処遇改善加算」及び「介護職員等ベースアップ等支援加算」の3加算を取得し、これらの3加算取得に係る支給要件を満たすとともに、制度趣旨を活かして介護職員以

外の職員にも処遇改善につながる計画を策定し、介護職員共々に待遇の改善を図りました。

更には3加算に加え、賃上げ効果が継続される取組みを行うことを前提として令和6年2月から4ヶ月分を措置した「介護職員処遇改善支援補助金」についても、当該補助金に係る計画書を策定して、介護職員等の処遇改善につなげます。

9 理事（定員6名）・監事（定員2名）・評議員（定員7名）

理 事	
吉 村 秀 雄	栗 田 肇
松 本 良 哲	高 原 清 孝
相 馬 諄 胤（*）	河 村 進（*）
監 事	
堀 口 豊	鈴 木 一 雅（*）

任期：令和5年6月29日開催の定時評議員会終結のときから令和7年6月開催予定の定時評議員会の終結のときまで

*は令和6年1月10日開催の評議員会終結のときから令和7年6月開催予定の定時評議員会終結のときまで

評 議 員	
貫 井 新 一 郎	渡 邊 清
中 嶋 文 雄	間 曾 哲 子
池 田 隆 志	柴 和 代（*）
物 江 順 一（*）	

任期：令和3年6月30日開催の定時評議員会終結のときから令和7年6月開催予定の定時評議員会の終結のときまで

*は令和6年1月10日開催の評議員会終結のときから令和7年6月開催予定の定時評議員会終結のときまで

本部 採用担当 事業報告

1 本部採用担当事業計画目標の総括

令和5年度の新卒採用については、学生数の減少と産業計の採用予定人数増加が示され、他業界との人財獲得競争を強いられることになりました。そして、大卒の一般企業への就職意欲が高まり、福祉専門学生数の減少が続く中で、どのような採用手法が有効になるのか思案し SNS の運用を開始しました。しかし、学生の説明会参加が年間通じて歩留まりが悪く過去最低の4名となりました。理由として、自身の採用市場の読み間違い、学校訪問時の情報提供不足、そして SNS 運用については、初年度のこともあり学生への認知を優先し、広報領域の発信内容や情報量の不足が原因と考えます。次年度は SNS を強化すると共に、広報領域に注力し説明会参加数増加を目指していきます。一方、介護課協働で行う説明会では、説明会参加から選考希望へ繋がった学生数は昨年同様に 100%となりました。結果、説明会参加学生 4 名は全員内定承諾となりました。説明会の内容は、毎年学生の内定承諾を得る法人の勝ちパターンの1つとして、次年度も介護課協働で引き続き取り組んでいきます。外国人採用については、今年度も EPA ベトナム介護福祉士候補生の採用活動を実施してきました。新たに新規取り組みとして、介護課協働で日本語学校からの留学生アルバイト、そして業務限定職員パートの採用を進めてきました。次年度も、新たな採用手法を常に考えチャレンジしていきます。そして、当法人の強みや良さを着実に各求職者へ伝えられるよう、自身の広報スキルと対話スキルを身に付け採用活動の改善を行い、人財獲得へ繋げていきます。職員の離職防止についても、プロジェクトを通じて働き方改革の促進に協力していきます。

2 活動報告

- (1) 前年度同様に、他法人の採用担当者と意見交換のもと、どのような手法で採用活動をしているのか、成功事例や失敗事例を情報交換し業界の正しい情報発信に努め、福祉業界や園盛会への志望度を高められるよう訴求してきました。
- (2) 採用に直結する現場実習受入れ先又は、在学中の学生さんのアルバイト受入れ先として、各学校関係者に認知してもらうことを目的に、学校関係者（就職支援課、学部学科の先生）との関係性強化に努めました。そして、各学校からの紹介採用へ繋がられるよう取り組みました。今年度中での結果は出ませんでした。次年度から新規学校の受入れが開始予定となります。採用結果については、ナビサイトからの一般大学の学生さんの説明会参加は 0 名という結果になりましたが、福祉専門学校と高校からの新卒紹介採用で 4 名の紹介があり、そのまま採用へ繋がりました。
- (3) 当法人の採用コンテンツでは、インスタグラム運用をスタートしました。このコンテンツを活用し新卒採用や中途採用の求職者へ有益な情報を早く、確実に訴求できるよう努めてきました。次年度は目標数値を設定し、ただ運用するだけでなく、主要コンテンツとして自立できるよう努めていきます。合わせて、新たな SNS 運用をスタートできるよう思案していきます。
- (4) EPA ベトナム介護福祉士候補生の採用を実施しました。今年度は、現地説明会の開催が可能となり、介護課協働で参加してきました。今年度も帰国後の候補生とのオンラインでの対話や SNS を活用し、候補生にとって有益な情報発信に努め、目標の多摩の里むさしの園

3名、多摩の里けやき園3名の合計6名の採用となりました。

- (5) EPA 介護福祉士候補生の学習における手続きなどの後方支援、生活支援のサポートを実施しました。国家試験合格者の支援については、今後も総務課と介護課の協力のもと、永続的な就業へつながるよう共に支援していきます。
- (6) 特定技能職員の採用について、介護課協働のもと日本語学校よりミャンマーとベトナム出身の留学生アルバイトを採用しました。そして、令和6年度から在留資格を特定技能へ変更し、多摩の里むさしの園2名、多摩の里けやき園2名の合計4名を正職員として採用が決定しています。
- (7) 業務限定職員（間接援助）の採用については、介護課が主軸となり採用に関わる職員アンケートや業務の棚卸し、業務に関わる時間数抽出を実施し、専門職が専門の仕事に従事できるよう、採用を行いました。今後も職員の人員数を見極め適時、採用を考えていきます。
- (8) 職員定着促進について、今後も人財難の中、採用は勿論離職防止に法人内で取り組めることに率先して他部署協働で相談し、新たな職場環境づくりに協力していきます。

【内定者・卒業先集計】

内定者 内訳	大学生（一般学部）	0名
	大学生（福祉学部）	0名
	短期大学（一般学部）	0名
	専門学校（福祉学科）	3名
	高校生（普通科）	1名
	最終値	4名

本部 営業担当 事業報告

1 本部営業担当 事業計画目標の総括

- (1) 予算編成稼働率の達成を目標に掲げて、特養稼働98%、短期入所、通所介護についても安定的な稼働を目指して営業活動を実施しました。日々刻々と変化する待機状況、特に地域における新規開設施設の動向について、密に生活課と地域事業課相談員と情報の共有を図り、協同で営業活動を展開しました。これまでの営業活動から得られた知見から、「老人保健施設」「回復期リハビリ病棟」については稼働が厳しいという声が多く聞かれています。今後は待機者の確保において競合することも十分に考えられます。これまでにお付き合いのある事業所との関係性を保ちながら、ニーズの変化に柔軟に対応し、新たな戦略を練る必要があります。
- (2) 今年度はむさしの園ともみの樹園は予算編成稼働率の98%を達成することが出来ました。けやき園については目標に達することは出来ませんでした。97%以上の稼働確保が出来ました。年間を通じて、新型コロナウイルス感染症の集団発生が散見されましたが、3園共に稼働に大きな影響を与える長期化や拡大傾向に至らなかったことも要因として考えられます。また、今年度からけやき園において、昨年度からの入居者紹介会社に加えて、インターネットの入居者紹介サイトと個別契約を行いました。新たな紹介先としても導入初期から十分に機能しており、従来の営業活動に加えて貴重な紹介先ツールになってきています。

2 活動報告

(1) むさしの園

特養入居に関して、近隣の関係性の深い病院や老人保健施設に営業活動を展開しました。定期的に入居申し込みがある事業所との関係強化を図るため、生活課と協同で営業活動を展開しました。年間を通して安定的に紹介があり、良好な関係性を築くことが出来ました。営業担当としては、在宅からの新規紹介を念頭に羽村市、福生市、瑞穂町の居宅介護支援事業所を中心に情報収集も含めて営業活動を展開しました。デイサービスについては下半期に稼働率が大きく落ち込むことがありました。新規利用者の獲得が出来ずに稼働回復が進まない状況が長引いてしまいました。地域事業課相談員への業務支援を行い、地域の居宅介護支援事業所に対する営業活動を協同で展開しました。また、介護保険サービスを利用する際に、最初の窓口となる「地域包括支援センター」への定期的な訪問営業に力を入れて、良好な関係構築に努めました。

(2) けやき園

営業活動として、東久留米市、隣接する小平市、西東京市、小金井市、清瀬市、国分寺市、練馬区、杉並区、板橋区、中野区、新宿区、埼玉県は新座市、和光市、所沢市にある「回復期リハビリ病棟」「地域包括ケア病棟」「医療療養病棟」を保有する病院に営業活動を実施しました。けやき園の近隣地域の老人保健施設では、職員不足や稼働低迷により閉鎖する施設もみられました。認知症対応型共同生活介護（グループホーム）や小規模多機能型居宅介護、高齢者専用賃貸住宅の事業所に対しても定期的に訪問営業を展開しました。これまでの営業活

動が実を結び、定期的に紹介のある事業所も増えてきています。また、今年度より導入した入居者紹介サイトからの情報分析提供により、問い合わせの多い地域等の傾向を分析しながら、地域の居宅介護支援事業所への定期訪問営業と並行して効率的な営業活動を行っていきます。

(3) もみの樹園

特養の入居に関しては新宿区で取りまとめている入居申込者名簿が存在する為、地域の病院や老人保健施設等への直接的な営業活動は実施が難しい状況です。ショートステイに関しては、新宿区、中野区、豊島区、渋谷区の居宅介護支援事業所に対して定期的に訪問をする営業活動を展開しました。3園生活課における横の連携を意識しながら、もみの樹園入居申込を継続しながら、まずは先にけやき園に入居されたケースもありました。急ぎの入居を希望される方の紹介や相談に柔軟に対応出来る関係性を築く事が出来ています。デイサービスに関しては、運営に関する相談や行政への対応について、主任と相談員に対する業務支援を行っています。

ベッド稼働率実績表（園盛会介護報酬運営事業）

むさしの園	特養150床 (%)	ユニット部 (%)	DSC (%)
令和3年度	97.5	98.1	45.6
令和4年度	97.2	96.4	60.5
令和5年度	98.2	97.0	54.6
けやき園	特養111床	短期入所3床	
令和3年度	97.3	85.2	
令和4年度	93.6	63.7	
令和5年度	97.0	19.8	
もみの樹園	特養130床	短期入所20床	DSC
令和3年度	96.7	66.8	74.4
令和4年度	95.6	63.5	83.7
令和5年度	98.2	57.7	84.8

園盛会 DX プロジェクト事業報告（Aチーム）

1 活動報告

今年度はメンバーの知見を高める事を重点的に取り組み、各種展示会やセミナー受講を積極的に行ってきました。「ほのぼのNEXT」を通じて、記録関係の省力化についての検討を行いました。また、生産性向上につながる ICT 機器の効果的な導入について試験運用を行い、その成果を通じて、次年度からは、ケアの質の維持・向上や職員の負担軽減を図る事を目的に活動を進めていきます。

園盛会 DX プロジェクト実施状況報告

総括	実施責任者	委員
年間を通して、外部研修にも多く参加する機会が持てた事により、法人内3園にそれぞれ課題が見えてきました。特に記録関係の帳票については、出来る限り標準化する取り組みを推進していきたい。	運営責任者 江井 希樹 リーダー 山口 祐樹	大木（むさしの園） 松崎、木原、小森（けやき園） 阿部（もみの樹園） ※事務局 村野 沙智子 ※オブザーバー 宮本 義輝
開催日	議 題 内 容	
6月14日 (合同)	<ul style="list-style-type: none"> ・園盛会DXプロジェクトについて ・活動計画について 	
7月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT化・DXを阻んでいる要因について ・住まい×介護×医療展2023 in 東京について 	
7月19-20日	＜外部研修＞ 住まい×介護×医療展2023 in 東京（4名参加）	
8月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・住まい×介護×医療展2023 in 東京について（発表） ・第6次中期経営計画に基づく、本プロジェクトの年間スケジュールの確認 ・国際福祉機器展について 	
9月27-29日	＜外部研修＞国際福祉機器展（8名参加）	
9月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・国際福祉機器展「HCR」について ・園盛会DXプロジェクトBチームとの情報共有について 	
10月16日	・第50回国際福祉機器展&フォーラム参加報告書（個人）の読み込み	
11月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・国際福祉機器展「HCR」について ・ICT・DXに関する業者等からの提案・説明について 	
12月13日	・業者による説明会について	
1月24日	・Care TEX 東京について	
2月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・「ほのぼのTALK インカム」試験運用と提案事項について ・Care TEX 東京について 	
3月12-14日	＜外部研修＞Care TEX 東京（8名参加）	
3月31日	<ul style="list-style-type: none"> ・「ほのぼのTALK インカム」試験運用と提案事項について ・Care TEX 東京について 	

園盛会 DX プロジェクト事業報告 (B チーム)

1 活動報告

今年度の活動では、職員が働き続けたいと思える職場環境を目指し、働き方改革や福利厚生について学び、長期休暇(バカンス休暇)取得に向けての仕組み作りや啓発活動を実施しました。

次年度からは、バカンス休暇取得のモニタリングが開始となります。新たな取り組みの協議やモニタリングの課題、成果について共有しながら取り組んでいきます。

園盛会 DX プロジェクト実施状況報告

総括	実施責任者	委員
<p>今年度は休暇関連について着目し協議を進めました。長期休暇取得に向けて「バカンス休暇」と称し、ルール作りやポスター制作を行いました</p> <p>次年度も職員が働き続けたいと思える環境作りに取り組んでいきます。</p>	<p>運営責任者 角田 武久</p> <p>リーダー 西 美由紀</p>	<p>野口、桂川 (むさしの園) 椎名、萱沼 (けやき園) 小室、阿部、佐々木、大野 田中 (もみの樹園)</p> <p>※オブザーバー 宮本 義輝</p>
開催日	議 題 内 容	
6月14日 (合同)	<ul style="list-style-type: none"> ・園盛会 DX プロジェクトについて ・活動計画について 	
7月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・構造的戦略とコミュニケーション的戦略についての意見回収 ・次回以降の方向性、着手内容についての検討 	
8月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・休暇関連について意見交換 ・その他、福利厚生について 	
9月11日	<ul style="list-style-type: none"> ・検討中の長期休暇取得についての報告 ・働きやすい・チームワーク向上につながる取り組みの検討 	
10月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・新メンバー紹介 ・小室主任より第2～4回会議について振り返り ・今後の取り組みについて 	
12月11日	<ul style="list-style-type: none"> ・動画視聴の感想、意見交換 ・長期休暇進捗情報発表 ・3チームに分かれて福利厚生、新規の取り組み 	
1月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休暇取得2園のルール発表 ・ポスターラフ案の最終確認 ・3チームに分かれて福利厚生、新規の取り組み 	
2月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスター完成版の説明 ・各園の規定、周知方法について ・福利厚生、取り組み案について ・今後のスケジュール 	
3月11日	<ul style="list-style-type: none"> ・バカンス休暇告知後の2園反響、進捗確認 ・その他、会議について ・今後のスケジュール確認 	

※11月は都合により、中止となりました。

個別ケア推進委員会事業報告

1 活動報告

第6次中期経営計画に示された「ご入居者をはじめとする園盛会に関わる全ての方の幸福の追求」のため、本委員会では個別ケア推進に向けた検討をそれぞれの部署の多角的な視点を活かしながら、活動を進めました。

今年度、委員会活動の成果としまして、個別ケアの充実や提供時間の確保にむけた「三園の委員会日程の集約」が挙げられます。

しかしながら、当初、計画内容に挙げられていた「3園共通在庫による福祉用具の管理」については、委員会メンバーのリハビリ職員の退職にともない、本委員会ではなく、三園のリハビリ担当職員間で協議することとなりました。

次年度は、日程や時間をより活用し、個別ケア充実のために活用できるよう詳細な検討をさらに進め、ご入居者の夢や希望の実現にむけ、多職種連携強化を図りながら、取り組んでいきます。

個別ケア推進委員会実施状況報告

総括	実施責任者	委員
<ul style="list-style-type: none"> ・隔月で全体会議と介護課単独会議を開催して、協議を行いました。 ・今後、個別ケアを進めていくあたり、時間を有効活用できるよう職員の会議・委員会活動日時や頻度変更を協議・決定しました。 	運営責任者 宮本義輝 リーダー 金子 智	むさしの園 西・栗原・河村・早坂 けやき園 梅津・森本・高野 もみの樹園 阿部・小室・山本
開催日	議 題 内 容	
5月26日（全体会）	本委員会について・活動内容の確認と今後の予定について	
6月23日	個別ケアについて・委員会の統廃合について・福祉用具について	
8月25日（全体会）	個別ケアについて・委員会の統廃合について・福祉用具について	
11月24日（全体会）	委員会の統廃合について・情報共有	
1月26日（全体会）	委員会の統廃合について	
2月29日	個別ケア（ユニットケアについて）推進にむけて	
3月22日（全体会）	1年間の活動の振り返り・次年度以降の取り組みについて	

※9月は書面開催としました。

※7月、10月、12月は都合により中止としました。（感染症対応他）

事故防止検討委員会開催状況表

回	開催日	場 所	人 数	議 題
1	令和5年 4月12日	むさしの園	7名	◎「事故・ヒヤリハット報告及び集計分析表」3月発生分について ◎令和5年度委員会の活動要綱について
		けやき園	9名	・帰宅願望の強いご入居者の対応について
		もみの樹園	9名	・事故記録の入力方法について
2	5月10日	むさしの園	9名	◎「事故・ヒヤリハット報告及び集計分析表」4月発生分について ・事故防止研修（前期）について
		けやき園	10名	・各階の対応に苦慮している事案についての 意見交換
		もみの樹園	10名	・入浴中の事故について
3	6月14日	むさしの園	9名	◎「事故・ヒヤリハット報告及び集計分析表」5月発生分について ・事故防止研修（前期）について
		けやき園	9名	・事故防止研修（前期）について
		もみの樹園	8名	・事故防止研修（前期）について
4	7月12日	けやき園	9名	◎「事故・ヒヤリハット報告及び集計分析表」6月発生分について ・就寝薬誤薬事故について
		もみの樹園	11名	・事故防止研修について
5	8月9日	むさしの園	9名	◎「事故・ヒヤリハット報告及び集計分析表」7月発生分と6月発生分について ・各園の発生事故の情報共有について
		けやき園	8名	・夜間のオンコール対応について
		もみの樹園	9名	・各園の発生事故の情報共有について
6	9月6日	むさしの園	6名	◎「事故・ヒヤリハット報告及び集計分析表」8月発生分について ・眠りスキャンについて
		けやき園	—	・介護課の急変時のマニュアルについて ※都合により書面開催
		もみの樹園	11名	・報告書の提出について
7	10月11日	むさしの園	—	◎「事故・ヒヤリハット報告及び集計分析表」9月発生分について ※感染症対応につき、書面周知

		けやき園	9名	・外部研修に参加した職員の報告 ・各フロアの対応に苦慮している事案についての意見交換
		もみの樹園	10名	・事故防止研修（後期）について
8	11月8日	けやき園	9名	◎「事故・ヒヤリハット報告及び集計分析表」10月発生分について ・事故報告書について
		もみの樹園	11名	・再発防止策について
9	12月13日	むさしの園	—	◎「事故・ヒヤリハット報告及び集計分析表」11月発生分について ※都合により、書面周知
		けやき園	8名	・眠りスキャンについて
		もみの樹園	10名	・研修の進捗状況について
10	令和6年 1月10日	むさしの園	8名	◎「事故・ヒヤリハット報告及び集計分析表」12月発生分について ・事故防止研修（後期）について
		けやき園	8名	・事故報告書の流れについて
		もみの樹園	10名	・骨折事故について
11	2月14日	むさしの園	8名	◎「事故・ヒヤリハット報告及び集計分析表」1月発生分について ・服薬介助マニュアルについて
		けやき園	7名	・胃瘻チューブ抜去について
		もみの樹園	8名	・離設事故について
12	3月13日	けやき園	7名	◎「事故・ヒヤリハット報告及び集計分析表」2月発生分について ・骨折事故について
		もみの樹園	10名	・今年度の振り返り

※ 議題の「◎」は定例議題（三園共通議題 但し、当月重複記載はなし）

※7月、11月、3月は三園の安全対策担当者による各園で発生している事故事案の共有を行いました。

※むさしの園は、上記、安全対策担当者による事案共有実施月は、委員会を未開催としています。

II 特別養護老人ホーム 多摩の里むさしの園

施設の概要

- 1 定員 介護老人福祉施設 多摩の里むさしの園 (従来型) 150名
 地域密着型介護老人福祉施設 多摩の里むさしの園
 (ユニット型) 18名
 老人短期入所事業 (ショートステイ 多摩の里むさしの園) 3名
- 2 事業開始 従来型 平成10年4月1日
 一部ユニット型 平成23年8月1日 (平成26年3月31日で類型廃止)
 ユニット型地域密着型 平成26年4月1日
- 3 所在地 〒205-0011 東京都羽村市五ノ神 362 番地
 T E L 042-555-8151 F A X 042-555-8152
- 4 職員体制

(令和6年3月31日現在)

部署	職名	常勤	非常勤	合計	備考	
管理者	施設長	1		1	本部兼務	
総務課	事務長	1		1	本部兼務	
	事務員 (本部事務局含む)	4		4		
	宿直員		3	3		
	宮繕・運転等		1	1		
介護課	介護職員	従来型	46	17	63	1名は介護支援専門員兼務
		ユニット型	9	2	11	2名は介護支援専門員兼務
医務課	嘱託医師 (外科・精神科)			2	2	委託契約
	看護職員		6	1	7	1名はデイサービス兼務 1名は機能訓練指導員兼務
	リハ	機能訓練指導員	1	1	2	
	ビリ	その他	2	1	3	
生活課	生活相談員	3		3	1名は介護支援専門員兼務	
栄養課	管理栄養士	2		2		
	調理職員	9	1	10	7/1より園盛会に転籍	
経営企画室	教育・企画担当	1		1		
介護支援専門員		1 (兼務4)		1	4名は介護支援専門員兼務	
合計		86	29	115		

他 産業医 (1名) 委託契約

総務課 事業報告

1 総務課事業計画目標の総括

- (1) お茶の水ケアサービス学院の「介護従事者の「気づき」の力を高める」「接遇の理解と現場にふさわしい言葉使い」「認知症ケアの専門性を理解する」と、社労士法人チアレッジの「パート・アルバイトの社会保険適用拡大（第7回チアレッジゼミナール）」を受講し、総務課内で受講内容を共有すると共に、研修の一部をご入居者対応に役立てました。
- (2) 電話対応や窓口対応を積極的に行い、生活課が入居相談やご家族及びご入居者に対応できるようにしました。
- (3) 感染予防対策に使用する物品は、流通規制や価格高騰もありましたが、欠品させることなく物品確保ができました。また、面会時、ご家族が使用する物品の消毒や、会議中の換気等、感染予防対策を行いました。部署内に新型コロナウイルスに感染した職員もおりましたが、園内に蔓延させることはありませんでした。
- (4) スタンダードマニュアルを、第三者の目を活用し再確認しました。マニュアルを充実させることはできませんでしたが、情報が古くなっている箇所を更新を行いました。

2 活動報告

- (1) 外部研修等を通じて個々の知識を向上させると共に、情報の共有化を図り入居者の満足度向上につなげる。

受講内容を共有したことで、数多くの研修の内容を学べました。特に「認知症ケアの専門性を理解する」では、認知症だからできないといった思い込みを払拭する内容となっており、介護に直接かかわることが少ない総務課職員が認知症について学ぶことができ、入居者対応の向上に繋がりました。
- (2) 他者、他部署の業務にも進んで協力し、連携を図ることにより稼働率確保につなげる。

担当業務及び窓口業務を通じ、各種法令を遵守し健全な処理と透明性を図るため、川原会計事務所並びに社会保険労務士法人チアレッジの指導を仰ぎながら、毎月の適正な事務処理を行うことができました。介護保険請求並びに預り金管理における、誤請求・未回収は発生しておらず、ご家族との対応においても支障なく行うことができました。自主的に電話対応・窓口対応も行い、生活課が入居相談やご家族、ご入居者に対応できるようにしました。
- (3) 自己管理と職場に於けるあらゆる場面での感染予防対策の徹底を図る。

取引業者から情報を収集し、衛生用品を不足することなく仕入れることができました。また来園者の検温、ボールペンや手が触れる箇所の消毒を行い、感染予防対策の徹底を図りました。毎朝、自主的に事務所、玄関、受付カウンター等の清掃及び整理整頓に取り組むと共に、年間197件の点検・修理依頼を迅速に対応し、快適な職場及び居住環境の提供に努めました。年間を通じて実施すべき設備等の保守点検については、年間スケジュールに則り適正に実施しました。主な保守点検については、後ページの「主な点検・検査実施状況」を参照。
- (4) スタンダードマニュアルを第三者の目を活用し充実させ、業務の効率化を図る。

マニュアルの内容を確認しましたが、業務効率化には至りませんでした。しかし、年末調整の電子化に向け情報収集をする過程で、e-Tax（国税電子申告・納税システム）とeLTAX

(地方税ポータルシステム)の登録と電子証明書の取得や、パソコンの拡張機能の追加、初期設定等を行うことにより、毎月末に住民税支払いのために外出していた時間(2時間×12か月=24時間(3日分))と、給与所得者異動届に係る郵送料の削減ができ、業務の効率化を進めました。

(5) ほのぼのNEXTの記録効率化の機会提供

全部署の「ほのぼのNEXT」を使用している困難点や要望、使い方の質問をとりまとめ、各部署代表者とソフトメーカーが直接やり取りできる場の提供をしました。また、紙上の書式をほのぼのNEXT上で再現したことで、他部署との情報共有及び新機能の導入等、各部署の業務効率化に貢献しました。

《安全衛生関係》

(1) 労働安全衛生法に基づき、職員の安全衛生に資する取り組みについては、労働環境の特質として利用者居住環境にも配慮して、労働災害防止と環境衛生設備の適正な管理に努めました。また、産業医による月一度の施設内巡視を通じ、職場環境の向上が図られました。

安全衛生委員会の開催及び健康診断については、次表の「安全衛生委員会開催状況」、「職員健康診断実施状況」を参照。環境衛生については、後ページ「主な消毒・清掃実施状況」及び「主な点検・検査実施状況」を参照。

安全衛生委員会開催状況

No	開催日	議題
1	令和4年4月21日	①令和4年度スタートにあたり確認事項 ②安全衛生委員会の必要性について ③今年度の計画 ④3月実施の健康診断結果について ⑤産業医による巡視結果について
2	令和4年5月19日	①害虫駆除実施について ②産業医による巡視結果と面談について ② 4回目ワクチン接種について
3	令和4年6月16日	①令和4年度の議題案について ②令和4年度全国安全週間について ③梅雨時期の注意点について ④産業医による巡視結果について ⑤「みんなの体調ノート」アプリについて
4	令和4年7月21日	①夏バテについて ②館内巡回の改善報告について ③業医による巡視結果について

No	開催日	議題
5	令和4年8月18日	①特定業務従事者健康診断実施について ②6月15日の巡回後の改善報告について ③口腔から健康（口）について ④4回目ワクチン接種について
6	令和4年9月15日	①秋の交通安全週間について ②レジオネラ菌検査について ③貯湯槽清掃について ④産業医からの指摘事項について
7	令和4年10月20日	①インフルエンザ予防接種について ②ストレスチェック実施について ③浴槽循環濾過装置及び循環配管洗浄作業について ④マンガーマネジメントについて
8	令和4年11月17日	①コロナワクチン予防接種（BA4-5対応）について ②水質検について ③自転車保険について ④グリストラップ清掃について
9	令和4年12月15日	①簡易専用水道検査について ②産業医より感染症について ③救急医療のかかり方について
10	令和5年1月19日	①血中脂質について ②睡眠と休息の重要性（長時間労働と睡眠の関係）について ③産業医による巡視結果について
11	令和5年2月16日	①職員健康診断実施について ②運転中の危険予知について ③便潜血陽性について
12	令和5年3月16日	①女性の健康週間について ②36協定について ③産業医講和「高尿酸血症」について ④産業医による巡視結果について

職員健康診断実施状況

実施日	対象者	受診者数
令和4年10月17日	介護従事職員、夜勤従事職員	90名
令和5年3月20日	全職員	102名

主な消毒・清掃実施状況

No	実施日	業者名	内容	備考
1	年 4 回	サンキ(株)	グリストラップ清掃	5/10, 8/4, 11/11, 2/7
2	年 4 回	ミドリ安全(株)	分煙器清掃	6/3, 9/6, 12/14, 3/2
3	年 2 回	サンキ(株)	排水管高圧洗浄	5/10, 11/11
4	令和 4 年 8 月 4 日	サンキ(株)	汚水槽・雑排水槽清掃	
5	令和 4 年 9 月 6 日	(有)青梅ヒーティング工業所	貯水槽清掃	
6	年 3 回	(株)トーヨー	害虫駆除	7/2, 9/16, 11/18
7	令和 4 年 10 月 23 日	(株)三由エンジニアリング	浴室濾過装置清掃 循環配管洗浄	
8	令和 4 年 9 月 10 日	(有)ザ・クリーン	貯湯槽清掃	

主な点検・検査実施状況

No	実施日	業者名	内容	備考
1	毎月 1 回	(株)らいふ	細菌検査 (調理従事職員)	
2	令和 4 年 8 月 30 日	(株)富岡環境	水質検査	
3	令和 4 年 12 月 1 日	(財)東京顕微鏡院	簡易専用水道検査	貯水槽検査確認
4	年 2 回	(株)らいふ	レジオネラ属菌検査	濁度・大腸菌群 有機物等検査含む 9/13, 3/2

《新型コロナウイルス感染症対策関係》

(1) コロナワクチン接種

5類引き下げ以降でも、重症化リスクの高い入居者施設であることを踏まえ、6回目のコロナワクチン接種を6月に、7回目の接種を10月に、当園において、嘱託医により接種希望のご入居者及び職員、業務委託スタッフ等へのワクチン接種を行いました。

(2) 全職員対象の PCR 検査・抗原定性検査の実施

全職員を対象に、年間を通して東京都の一斉・定期的検査を活用した PCR 検査（唾液採取）及び PCR 検査間の中間日目安で抗原定性検査を毎週実施して、感染予防対応と感染の早期発見、早期対応につなげました。

令和 6 年 3 月末を以って平時への医療提供体制に完全移行するため、PCR 検査は終了ですが、抗原定性検査は当分の間は継続して行う予定です。

(3) 新型コロナ感染者のクラスター発生と終息への対応

(ア) 9 月発生分

9 月 13 日から始まった新型コロナウイルス感染ご入居者の園内療養対応は、同月 27 日には 10 人を数え、同月 30 日には 20 人、10 月 31 日には 58 人に及び、最終の感染入居者が 11 月 2 日の判明で、61 人に達しました。この間で、八王子の高齢者等医療支援施設に

入所したご入居者は19名、それ以外のご入居者は施設内療養を行いました。

最終の感染入居者の発生から10日間が経過した11月11日を終息日としました。

3Bで発生したコロナ感染は、3C、3A、2C、2Aの順で、5つの居住棟で感染が拡大しました。各居住棟の感染入居者数は、3Bが6名、3Cが17名、3Aが16名、2Cが6名、2Aが16名でした。

この間で、介護職員、看護職員の感染者も24名ありました。ご入居者の施設内療養は、感染発生日から8日間は原則として隔離対応を行い、感染職員は、感染した日から6日間を自宅療養してもらいました。

(イ) 2月発生分

2月20日に3Cで2名、2Bで1名、21日に3Cで1名、1階ユニットで1名(*)、22日に3Cで2名、3Aで1名(*)、24日に3Cで1名、27日に3Bで1名の感染入居者は発生日や*は発生の翌日には八王子の高齢者等医療支援施設に入所できたことから、最終感染者の発生日から10日間が経過した3月9日を終息日としました。この間の対応等で感染した介護職員等は4名でした。

(4) 新型コロナ感染対応に係る2回のマニュアル見直し

前記(3)のクラスター対応の経験と課題解決に資する観点から、現行のマニュアルを見直し、「新型コロナ感染症の再発生時の対応」版を1月25日に各部署に配付し、周知を行いました。感染拡大防止の効果を最大限とする措置を最優先とし、高齢者等医療支援施設(八王子めじろ台)の利用を最優先で調整することを位置付けました。

2回目の見直しは、通常の医療提供体制に移行することで、高齢者等医療支援施設(八王子めじろ台)が3月末で閉所することから、「通常の医療提供体制下での新型コロナ感染症発生時の対応」版を3月25日に各部署に提示しました。

《防災業務関係》

(1) 災害時相互応援協定に基づく取組み

「羽村市内特養3施設における災害時相互応援に関する協定」に基づき、6月7日に震災後の避難所の運営を疑似体験ができる「避難所運営ゲーム HUG 社会福祉施設バージョン」を実施しました。10月26日にむさしの園において、3園合同での防災訓練「KIZUKI」(震災シミュレーションゲーム・夜勤バージョン)を計画しましたが、むさしの園内での新型コロナウイルス感染拡大に伴い、実施を見送りました。

3園の防火管理者による隔月での定期打ち合わせを対面で開催し、防災情報の共有をはじめ、各施設の防災体制や災害時の備蓄品等に関する現状把握と課題等についての協議やKIZUKI夜勤バージョンによる訓練効果を高めるための内容の見直しや修正についても適宜実施しました。

(2) グリーンヒルみふね(熊本県の老人総合福祉施設)企画の合同研修に参加

12月5日から7日にかけて、3園の管理者と防火管理者で熊本県を訪ね、熊本地震(平成28年)や熊本豪雨(令和2年)の被害状況等の現地視察に加え、熊本地震での初動対応に当たった県の危機管理防災企画監や、球磨村水害で指揮を執った村の防災管理官から直接の話を聞くことができました。

5日の18時からは、グリーンヒルみふねを会場にして、同様視察で来県中の愛知県碧南市の川口結いの家(特養)のスタッフも加わり、3園の防火管理者がファシリテーターとなって

「KIZUKI」夜勤汎用バージョンを実施しました。

(3) 消防立入検査の実施

福生消防署の署員3名による立入検査が11月17日に実施されました。当園において、適法に維持管理すべき消防対象物について、計画や届出、必要記録類の確認とヒアリングの後、館内の視察による消防設備等の目視確認が行われました。結果、指摘事項はありませんでした。

当該検査は平成25年3月1日の実施以来で11年ぶりに実施されました。

(4) 日常防災管理の適切な実施

全ご入居者と就労中の職員の日常の安全を担保するうえでも、防災・防火管理が適切に行われていることが重要です。そのための消防計画に定めた予防区域ごとの日常点検の実施や、防火管理者による建物及び防火設備の定期的な点検を確実に実施し、不備や不具合の早期発見と処置を行いました。また、火災予防週間に合わせたポスターの館内掲示や、運営調整会議や全体朝礼等で防災意識の啓発に努めました。

(5) 防災訓練の実施

今年度の防災訓練は、実地訓練の重要性を踏まえた夜間想定及び激震災害想定総合訓練を行ったほか、震災時の対応訓練で業務継続計画（BCP）に該当する震災シミュレーションゲーム KIZUKI 夜勤バージョンや、震災後の避難所の運営を疑似体験できる避難運営ゲーム HUG 社会福祉施設バージョンも実施しました。

*別紙「防災訓練実施状況」を参照

(6) 消防用設備の適正な保守管理

消防用設備の保守管理は、消防設備士を有する設備業者により、4月10日と10月23日に点検を行い、消防法の規定に基づき、福生消防署に「消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果報告書」を提出しました。

また、当該点検で不具合が認められた設備等については、速やかな交換修理を行い、正常監視、正常作動を確保しています。

(7) 自衛消防訓練効果確認・参加の見合わせ

新型コロナウイルス感染拡大の影響を鑑みて、全体で集まる自衛消防訓練審査会は中止が決定し、福生消防署により、個別での各事業所の自衛消防訓練の効果確認を行う取組みへの参加打診がありましたが、感染リスクを考慮して今年度の参加は見合わせました。

防災訓練実施状況

実施日	訓練種別	訓練内容	参加人数
5月16日	総合訓練 (夜間想定)	夜間体制時での火災を想定した総合訓練を実施。訓練担当者は夜勤従事者7名、宿直者1名 各訓練担当者に新入職員も帯同	入居者25名 職員9名
5月19日	災害時情報訓練	東京都高齢者福祉施設協議会が実施。大規模災害の発生想定下で、被害情報共有システムにアクセスし、被害状況を入力	自衛消防隊本部員 2名

5月22日	図上訓練	震災想定ゲーム「KIZUKI（夜勤バージョン）」を用いた発生時シミュレーションを実施	職員6名
6月7日	図上訓練	市内3特養の災害時相互応援協定に基づく合同同訓練として実施 避難所運営ゲーム「HUG（社会福祉施設バージョン）」を用いた避難所運営シミュレーションを実施	当園職員9名 神明園 3名 羽村園 3名
7月21日	災害時情報訓練	東京都高齢者福祉施設協議会が実施。大規模災害の発生想定下で、災害時被害状況把握システムにアクセスし、被害状況を入力	自衛消防隊本部員2名
8月30日	図上訓練	震災想定ゲーム「KIZUKI（夜勤バージョン）」を用いた発生時シミュレーションを実施	職員6名
2月19日	総合訓練 (激震災害想定)	激震想定総合訓練。地震発生初動措置、災害救助活動の訓練を実施。	入居者130名 職員50名
2月19日	水の確保及び炊き出し訓練	激震災害後のライフラインの停止状態を想定し、貯水槽からの水の確保方法や炊き出し方法を実施。炊き出しは、水の沸く時間等の測定も実施。	職員50名
備考	・3密の回避等、感染予防のため、福生市自衛消防訓練審査会は中止		

《福祉サービス第三者評価の受審と公表》

評価機関は経営創研（株）を選択し、契約締結のうえで次のとおり福祉サービス第三者評価の過程を踏まえ、令和6年4月に「とうきょう福祉ナビゲーション」に公表されます。

なお、利用者調査では、実効性を確保するため、感染対策の万全を図ったうえで、聴き取り時間を30分以内として、対面での調査を行いました。

評価過程	実施日	対象人数
契約日	令和5年8月2日	—
利用者調査（面接聴き取り）	令和5年12月21日	17人
利用者調査結果報告日	令和6年1月27日	—
職員自己評価結果報告日	令和6年1月27日	77人
訪問調査日	令和6年2月2日	—
評価合議日	令和6年2月23日	—

《居住棟面会の段階的再開への取組み》

（1）6月からの居住棟での面会（一部制限あり）

5月8日からのコロナ5類引き下げを踏まえ、それまでの1階ホールでの面会から、居住

棟での面会を開始しました。1回の人数や面会時間等の制限は設けていますが、30分程度の面会時間枠設定は、多くの施設や医療機関が15分以内としているなか、ご入居者とご家族の心理的な交流機会に配慮したものです。

(2) 3月9日以降の面会（原則制限なし）

9月下旬から11月中旬及び2月上旬から3月上旬の間には、園内に発生した新型コロナウイルス感染入居者の療養対応及び終息に向けた取組みに注力を余儀なくされ、この間は面会を全面中止しました。3月9日には「新型コロナウイルス感染症の終息と面会の再開について」の書面配布及びSNSで発信し、同日からは居住棟や居室等での面会をほぼ平常通りの対応とし、ご入居者とご家族が心の絆を深めるひとときを堪能されています。

4月からは、ご入居者とご家族等での外出も受け付けていきます。

《看取り介護の実施》

これまでも終末期対応においては、「最期まで園で過ごさせたい」というご家族の意向に沿った支援に努め、前年度も死亡退所者の6割以上が当園で最期を迎えられています。しかしここでの看取りは、看取り加算要件をクリアしてのものではなく、家族の意向は勿論のこと、介護職員が主体となって終末期の寄り添い取組みを実現するための看取り介護指針を設定し、全職員に看取りケア研修の実施と対応フローの周知等を行ったうえで、8月1日以降に看取り診断（嘱託医師）されたご入居者からは、「看取り介護計画」を踏まえて、その人らしい最期までの支援を行いました。

《寝返り支援ベッド（次世代介護機器）の導入》

体位変換の対象入居者が多く、介護職員の腰痛の原因ともなっていることから、介護職員等の腰痛の軽減と業務負担の改善を図ることを目的に、東京都の次世代介護機器導入支援促進事業を活用し、補助金4,048万円（補助率7/8）を得て、自動寝返り支援ベッド80台を1月24日及び1月31日の2日間で納品され、対象入居者等の居室に配置しました。

補助金の助成要件でもある、導入前・導入後の成果想定や評価の実施については、2月から3月にかけて園内で発生した新型コロナウイルス対応に注力を要した影響もあり、次年度でも継続して次世代介護機器導入プロジェクトを展開することになります。

《市内3特養の連携強化取り組み》

1 羽村市特養施設長会の開催

羽村園、神明園及び当園の3園の施設長により年間4回（6月6日、9月11日、11月27日、2月26日）施設長会を開催しました。

新型コロナウイルスの協力体制、防災体制の連携強化と課題協議、3園の人事交流や合同研修会、業界動向の情報交換等の意見交換や協働活動を展開しました。

2 相互交流研修の実施

今年度は看護職員を対象として相互交流研修を実施しました。

8月9日神明園、8月16日当園、8月23日羽村園を会場とし、当園からは医務課主任と副主任の2名が参加し、相互交流による理解を深めました。

3 羽村市との高齢者災害対策に関する情報交換会の開催

かねてより、羽村市の高齢者災害対策について、関係者間での連携に資する情報交換の場

を設けるよう特養施設長会として羽村市防災担当に働きかけてきました。その結果、2月21日に当園会議室を提供して、羽村市介護事業所連絡会の居宅サービス事業者や医療機関等18事業所23名が出席して、羽村市との第1回の情報交換が実施できました。

《地域での公益的取組み、地域貢献活動》

「地域での公益的な取組み」は、新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられてからも、当園が「重症化リスクが高いご入居者の生活の場」であることや、新型コロナウイルス感染症が無くなったわけでも感染力が低下したわけでもないことを常に念頭においたうえで、感染を「持ち込まない」「持ち出さない」ための行動規範を関係者と共有してきました。そのため、グループホームときわ木の里のご利用者と協働し、羽村市福祉センターの喫茶スペースを利用したオンラインカフェ“ひだまり”の再開については、地域の高齢者やセンターの通所障がい者の新型コロナウイルスの感染リスクにも配慮したこともあって、実施機会を得ることができませんでした。

また、緑が丘三丁目を中心とした地域住民の方々が当園の会議室を利用する「フレイル介護予防体操」は開催機会がありませんでした。

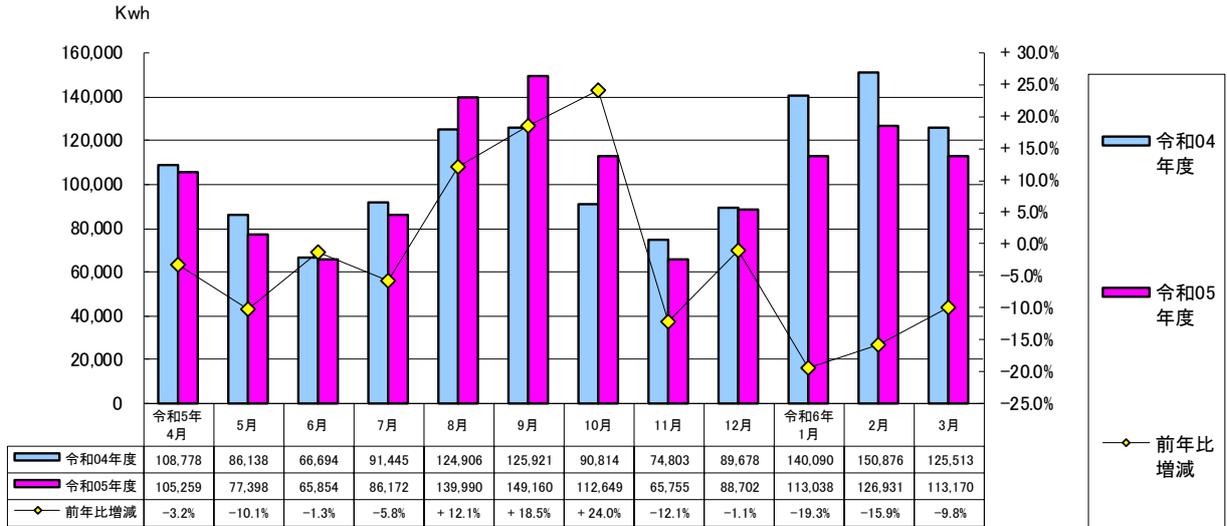
《ボランティア、実習生等の受入れ》

令和5年度は原則として、ボランティアや実習生の受入れ、施設見学での居住棟への案内は、感染防止対策を実施してすべて可能とする判断をし、職員に周知していました。その結果、コロナ前の水準には至っていませんが、受入れ実績は回復基調にあります。なお、ボランティアや実習生等による新型コロナウイルス感染症の園内持ち込みはありませんでした。

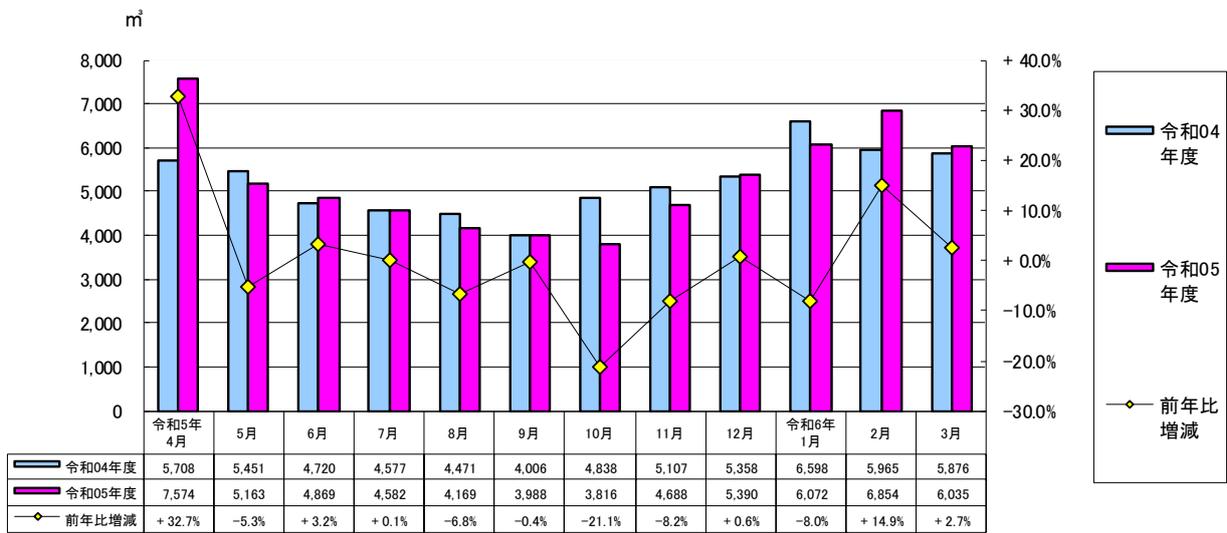
受入れ実績については、後述の教育・企画担当事業報告を参照のこと。

令和5年度 むさしの園 光熱水使用量

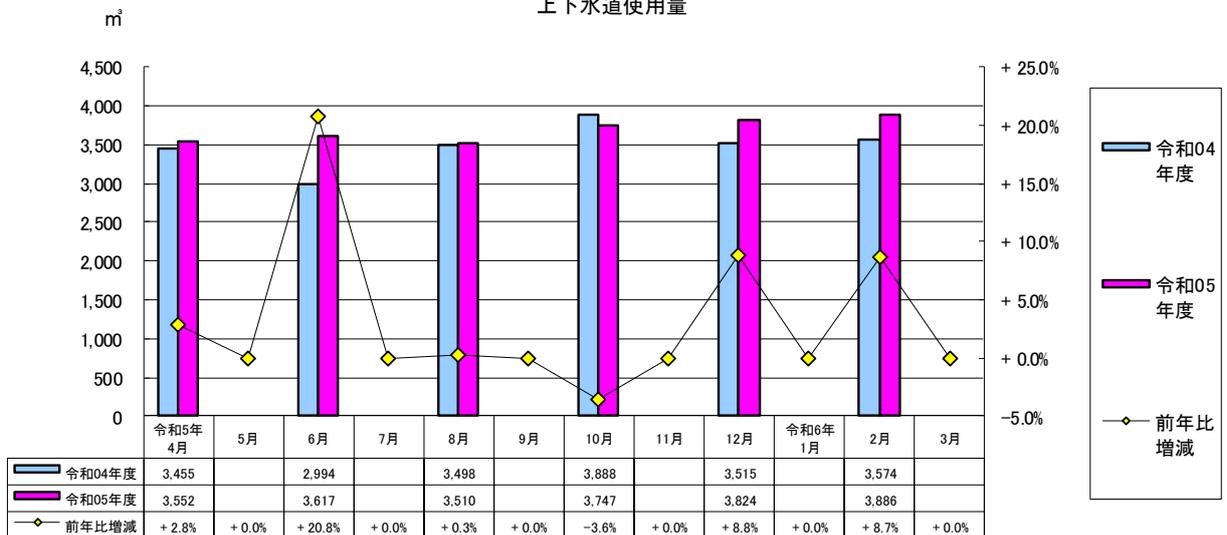
電気使用量



ガス使用量



上下水道使用量



経営企画室 教育・企画担当 事業報告

1 経営企画室 教育・企画担当 事業計画目標の総括

(1) 職員一人ひとりが自己研鑽できる環境の構築を図り、サービスの質の向上を目指す

年間の経営企画室『人材育成計画表』、『職員研修・OJT年間計画表』に沿って、滞りなく実施しました。

新型コロナウイルスの5類感染症への移行(5月8日)を受け、各種の外部研修が漸次再開しました。研修内容に合わせて、現地参加型、オンライン、ハイブリッド型研修の申請や準備等を行い、職員の研修受講をサポートしました。

また、コロナ禍においても職員一人ひとりが自己研鑽できる環境の構築を目指し、昨年度、むさしの園において試験的導入を行ったネット配信研修サービスを、全施設で導入しました。その結果、個人視聴以外にも、新入職員研修や法定研修、部署会議等に活用され「専門家による研修動画が業務の参考になった」「講師の負担軽減に繋がった」との声がありました。

次年度も各部署と連携し、福祉サービスの質の向上を目指していきます。

(2) 担当業務の改善を図り、効率的な業務遂行を目指す

法人内外の関係者と連携を図り、担当業務の改善に努めました。

法人内においては、業務上の電話やメール連絡、資料送付、日程調整等をオンライン上で行うことで効率化を図りました。また、各業務の遂行後に振り返りを行い、改善点を記録として保存し、共有化した上で、次の実施に向けて取り組みました。

また、法人外においては、各関係者の状況や希望に合わせて、これまで電話やFAXで行われてきた連絡方法を見直し、可能な限りメールやSMS、LINE等に切替えを行いました。

次年度も多方面より情報収集を行い、業務の効率化に向けて継続的に取り組んでいきます。

(3) 各種業務遂行時にコスト意識を持ち、経費節減に努める

各種の担当業務の遂行において、経費節減と費用対効果の意識を持ち、対応を行いました。

各種の研修や会議等においては、運営上、印刷して保管する必要のない書類のデータ管理や、事前の調整による講師や受講者の移動に係る削減等を実施しました。

また、広報誌においては、各部署からの意見をもとに、広報誌の発行枚数や発送先の見直しを行い、印刷代の低減と担当部署の負担軽減を図りました。その他、ボランティアやオンラインレクリエーション等の活用により、間接業務の負担軽減を図るとともに、その実施に係る予定表や参加者リストの配布を中止し、ほのぼのNEXT上に更新を行いました。

次年度も、各種の業務においてコスト意識をもち、柔軟に取り組んでいきます。

(4) 稼働率の安定に向けて、自法人の認知度向上を図る

ホームページにおいては、各園のトピックスや広報誌の定期更新、各種の法人事業に関する案内、ご面会に関する状況等を随時更新し、必要に応じた情報発信を行いました。

また、各種のボランティア受け入れや地域住民に向けた講座の開催時には、法人や施設の取り組みについて紹介することで、地域住民への認知度向上を図りました。

次年度も、法人内外の関係者と協働の上、より充実した広報活動に努めていきます。

2 活動報告

(1) 職員教育に資する研修事業の取り組み

福祉サービスの質の向上を図るため、新入職員および現任職員への施設内研修の実施と行政機関や民間事業者からの研修案内を精査し、各職種にわたり、感染対策を図った上での外部研修の受講にも力を入れました。

・別紙「研修関係の開催・参加状況」参照

(2) ボランティアの活動状況・受け入れ

新型コロナウイルス感染症の流行状況により、適宜協議を行いながら受け入れを調整しました。今年度のボランティア活動人数（延人数）は、生活支援 89 名、余暇援助 216 名の 305 名と、昨年度より 187 名増加しました。要因としては、新型コロナウイルスの 5 類感染症移行に伴う施設方針が明確に示され、感染状況に合わせた柔軟な調整が可能になったことや、各部署より理解と協力体制が得られたこと、対面での活動再開により、ご入居者・ご利用者等からの好反応がボランティア自身の喜びや生きがいとなり、継続的な活動に繋がったこと等が挙げられます。

次年度もご入居者の安全、安心を最優先としながら、更なる余暇活動の楽しみや地域住民との交流の支援ができるよう取り組んでいきます。

・別紙『ボランティア活動実績』参照

(3) オンラインレクリエーションの活動状況

新型コロナウイルスの 5 類感染症への移行により、施設方針として、余暇支援の訪問ボランティア受け入れは緩和となりましたが、業務都合等により、コロナ前と同様の頻度での受け入れは困難な状況でした。また、各種行事等も縮小していることから、ご入居者の皆様より、余暇活動の充実に関するご要望を数多くいただきました。

今年度は Wi-Fi 環境が整備されていることから、関係部署へのオンラインレクリエーションに関する情報提供（実施日時・内容・接続方法の説明等）により、各部署が希望する内容を視聴できるよう、サポートを行いました。今年度の実施回数は 47 回、参加人数（延人数）は、452 名でした。

次年度もご入居者、ご利用者の余暇活動の充実と職員の負担軽減に向けて、関係部署のサポートに努めていきます。

・別紙『オンラインレクリエーション活動実績』参照

研修関係の開催・参加状況（施設内研修）

研修内容		開催日	参加人数								合計
			経営本部	総務課	介護課	医務係	リハビリ係	生活課	栄養課	地域事業課	
○経営本部主催研修											
階層別 研修	管理職・リーダー層	7/17・2/26	2	1	7	1				1	12
	中堅層	8/7, 10/16 12/18, 2/19			1	1					2
	一般職	7/24, 9/18, 11/20 1/15, 3/18			2					1	3
新入職 員研修	入職時研修	3/2-4/8			1						1
	1.3.6ヶ月研修	5/26, 7/9 10/8			1						1
エルダー職員意見交換会		6/16	1		2						3
◇法令研修											
食中毒予防研修		5/8-5/22	3	4	71	6	5	3	11	3	106
感染症予防研修	前期	5/17-5/31	3	4	71	5	5	3	13	3	107
	後期	10/27-11/15	1	4	75	7	5	3	11	3	109
事故防止に関する研 修	前期	6/12-6/23	2	3	70	6	5	2	2	3	93
	後期	11/29-12/31	2	3	75	7	5	2	11	3	108
高齢者虐待防止・身 体拘束等適正化研修	前期	7/4-7/21	3	4	70	6	5	講師	12	3	103
	後期	1/10-1/31	3	4	74	7	5	講師	11	3	107
褥瘡予防研修		2/20-3/20			73	7	5	3	2	3	93
□その他											
中途入 職者研 修	入職時研修	4/1-3/31			4	1			1		6
	排泄ケア研修	1/30・2/5			6						6
	ケアプラン研修	5/11・8/21			6						6
防災研修（KIZUKI・HUG）		5/22・6/7 8/30			21						21
看取りケア研修		6/15-6/30	1	3	69	6	5	3	1		88
		7/1-7/15	1	3	69	6	5	3	1		88
お茶の水ケアサービス学院 （自主学習・部署研 修）	前期	4/1-9/30			31	12	4		2		49
	後期	10/1-3/31			4		6			2	12
合 計			22	33	803	78	61	22	78	28	1,125

研修関係の開催・参加状況（施設外研修）

研修内容	開催日	参加人数									参加者
		経営本部	総務課	介護課	医務係	リハビリ係	生活課	栄養課	地域事業課	合計	
◇全国社会福祉協議会											
H. C. R. 2023 第50回国際福祉機器展フォーラム	9/27-9/29	2	1	1						4	江井・村野 大木・山口
◇東京都社会福祉協議会											
福祉用具の使い方～スライディングシートから移乗用ボードまで～	9/19-10/3			1		1				2	前田 佐渡谷
第18回 高齢者福祉実践・研究大会 アクティブ福祉 in 東京' 23	9/26			3						3	小村方 鈴木・樋口
認知症介護実践者研修	11/9-12/12			1						1	山口(佑)
◇東京都福祉保健局											
社会福祉事業従事者人権研修 [1]	8/29			2						2	野村・藤崎
◇東京都福祉保健財団											
施設職員向け福祉用具講習会	12/4	1		8		4				13	移乗検討(委)
施設内リターナー職員研修(看護)	1/31-2/16				1					1	平野
◇羽村市特養施設長会											
羽村市特養職員合同研修(医務課)	8/9, 16, 23				2					2	栗原・平野
◇その他主催											
介護福祉士初任者研修(ハクビ)	4/8-5/28			1						1	藤永
(株)モルテン オンラインセミナー	5/30			1		2				3	青山・矢治 丸山
完全調理食品試食会	6/27							1		1	岡田
住まい×介護×医療展 2023 In 東京(高齢者住宅新聞社)	7/19 7/20		1	1						2 1	大木・山口 山口(佑)
「情報共有でケアの質の向上を目指す」オンラインセミナー	8/17-8/31 (動画配信)	2		1						3	江井・西 村野
感染対策リーダー養成研修事業	10/30-1/29				1					1	栗原
(社福)善光会 オンライン施設見学	12/1	2		1						3	江井・西 村野
熊本視察	12/5-12/7	1		1						2	栗田・小村方
認知症ケアの実践(配信研修)	12/21-2/28	1		1					1	3	希望者
Care TEX 東京' 24	3/12-14	3	1	2						6	江井・角田・西 大木・山口・村野
介護福祉士実務者研修	3/27-6/30			1						1	古川
合 計		12	2	26	4	7	2	1	1	55	

ボランティア活動実績

活動内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
縫物						3	7		5		4	4	23
生活支援										7	14	15	36
ボーイスカウト (敷地内清掃活動)									27				27
傾聴	9	10	13	11	12	16	13	6	13	16	13	14	146
カラオケ	1	1	1	1	1	1		1	1			1	9
体験ボランティア				4	2	1							7
行事参加				16									16
行事訪問、演芸等								4	8	15	3	11	41
(団体数)								(1)	(2)	(2)	(1)	(2)	(8)
合計	10	11	14	32	15	21	20	11	54	38	34	45	305

オンラインレクリエーション活動実績

実施団体	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
東京トラベルパートナーズ(株)		1	1		1		1	1	1	1	2	1	10
NPO法人タダカヨ	1	2	2	2	2			1	1	1		1	13
Malna(株)	1		1	1	1		1	1		1	1	1	9
(株)コリスライブ					1	2	2	1	2	1	1	1	11
(株)エブリプラス									1				1
カラオケボランティア	1	1	1	7月より対面開催に移行									3
合計	2	3	4	3	5	2	4	4	5	4	4	4	47

職場体験・福祉体験・現場実習受け入れ実績表

学校名	受け入れ期間	人数
羽村市立羽村第一中学校	令和5年10月16日～10月20日	4名
青梅市立泉中学校	令和5年10月19日～10月20日	2名
合計		6名

介護課 事業報告

1 介護課事業計画目標の総括

- (1) 「ご入居者やご家族のニーズに沿ったサービスの提供や自己研鑽に努め、満足度向上につなげる」について

今年度もご入居者ならびにご家族の皆様には、コロナ禍で制限のある中での生活となりご不便をお掛けしました。前年度と比べ、面会や外出援助など緩和されたものもありますが、コロナ前のような生活には戻っていません。その中で、居住棟内で季節感を感じていただけるように、四季折々の装飾や季節に合わせた手作りおやつなど、ご入居者の皆様に喜んでいただける工夫をしました。歌や演奏などのボランティアの受け入れについては、フロアごとの開催とし、三密を避けて定期開催ができるように努め、ご入居者からは好評を得ています。ご家族には面会時に情報提供を行い、関係構築に努めました。

また、今年度はお看取りの方のケアプラン作成を8月から開始し、「最期までその人らしく生ききる」ということを念頭に置き、ご本人とご家族の意向を尊重した支援に努めました。

次年度も、ご入居者やご家族の満足度の向上に向けて、希望を反映したサービスの提供ができるよう努めていきます。

- (2) 「業務の見直しを行い、工夫や改善を図ることで、効率的な業務遂行を目指す」について

今年度は、iPadを導入したため、記録業務の業務改善や効果的な活用方法について協議を行い、活用状況の進捗確認と定着に向けて取り組みました。食事表をペーパーレス化し、iPad（ケアパレット）からの入力を行うことで、職員がケアパレットの入力とiPadの操作にまずは慣れることを目指しました。一つのブロックで先行的にモニタリングを行い、課題、意見、感想などを情報共有して、全体へと広めていきました。現在では、ケアパレットからの入力が概ね定着しており、日誌作成時間の短縮が図れました。

また、iPadの活用については、動画視聴、写真撮影、タスク管理、リマインダー機能等、様々な活用に向けて取り組んでいます。

今後も、記録業務の効率化に向けて、記録支援ソフト（ほのぼのNEXT）の機能の活用や次世代介護機器の効果的な活用など工夫を行い、生産性の向上と業務の効率化を目指していきます。

- (3) 「物品やランニングコスト、時間管理を意識し、コストの削減に努める」について

毎日使用するオムツ、パッドの発注について、「排泄ケア向上委員会」にて各ブロック・ユニットの排尿量の平均値を出し、適正使用に努めました。ランニングコストについては、冷暖房の効果的な使用やエアコンのフィルター清掃を行い、節電に繋がるよう取り組みました。時間管理については、記録業務の効率化を図り、時間の有効活用に努めました。

今後も、物品使用や時間管理等コスト意識を持って、適切な行動に努めます。

- (4) 「ご入居者の体調管理や事故防止に努め、ベッド稼働率の安定を図る」について

高齢者に多く見られる脱水による入院を減らすため、補水量が少ない方を把握し、補水強化を行いました。脱水症状の情報共有と周知を行い、ご入居者の体調管理に努めました。事故防止としては、他部署へ支援方法についての相談や環境整備を行いました。また、新規入居者のスムーズな受け入れができるよう多部署と連携を図り、迅速に準備を進めました。今年度の全体稼働率平均値は98.2%という結果になりました。

今後も、多部署と協力しながら、ご入居者の体調管理と稼働率を意識した部署運営に努めていきます。

2 介護課主要行動施策の総括

(1) 「with コロナの環境変化に合わせて、ご入居者の楽しみとサービスの充実を図る」について

今年度も新型コロナウイルスの影響で、ご入居者の皆様は依然として様々な制限がある中で生活を余儀なくされました。安心して過ごしていただけるようご入居者の気持ちに寄り添った支援に努めました。

イベント関係については、屋外での外出援助が開催できるようになり、初詣やチューリップ・菖蒲・バラ等のお花見に行きました。ご入居者は久しぶりの外出にとっても喜ばれ、季節ごとに美しく咲き誇る花をご覧になり、楽しまれていました。「カフェむさしの」をはじめ、感染予防対策を講じながら、「納涼祭」、「敬老会」、「クリスマス会」等を実施しました。外部のボランティア行事は昨年度よりも数多く実施することができました。

クラブ活動は、感染状況に応じて開催方法をフロアごとに分ける等工夫をしながら実施しました。

次年度も、感染状況に柔軟に対応しながら、少しでも多くの行事や余暇活動が実施出来るよう取り組んでいきます。

(2) 「ICT 機器を活用した業務の効率化とご入居者の意向や心身状態に応じた支援の実践」について

今年度は眠りスキャン Eye が 7 台導入され、対象者を定めて活用しました。離床センサーが反応するとアラームが鳴り、職員はカメラで様子を確認することができるため、不要な訪室をすることなく、ご入居者の安眠と業務の効率化に繋げることができました。また、睡眠データの集計を行い、排泄や起床のタイミングでの支援が行えるよう活用しました。

また、iPad も 7 台導入されたため、記録業務の改善を行いました。食事表のペーパーレス化を図り、二度手間をなくしました。ブロック内でケース入力が行えるため、業務の効率化を図ることができました。持ち込み品やポジショニングの写真撮影を iPad で行い、記録支援ソフト（ほのぼの NEXT）に入力することで情報共有が一元化され、わかりやすくなりました。

また、自動寝返り支援ベッドが 80 台導入され、導入計画やマニュアル作成を行いました。ベッドが導入されたことで、ご入居者が体位変換で覚醒されることなく安眠に繋がりました。職員は体位変換の身体的負担や腰痛の軽減になり、時間の有効活用が行えました。

ご入居者支援の課題等は、職員同士での意見交換や多部署にも相談し、より良い支援方法の検討を行いました。「排泄ケア」や「移乗動作」については、それぞれの委員会を中心に根拠に基づいたケアの実践に努めました。

今後も ICT 機器や次世代介護機器を上手く活用しながら、生産性の向上を高め、ご入居者の心身状態に合わせた支援を行っていきます。

- ・排泄ケア向上委員会の定期開催

活動の詳細については別紙「排泄ケア向上委員会」事業報告を参照。

- ・移乗動作検討委員会の定期開催

活動の詳細については別紙「移乗動作検討委員会」事業報告を参照。

(3) 「職員が目標に向かって成長できる人財育成の実施」について

今年度は新入職員1名を受け入れ、エルダー制度による育成・指導を行いました。夜勤業務まで習得し、介護課の仲間として尽力しています。

8月にはEPAベトナム人介護福祉士候補者の5期生3名を受け入れ、日本語学習や就労支援を行いました。現任職員については、還元面談や適宜行う面談において、業務の振り返りと評価を行うとともに、意向の確認や悩み、不安等の聞き取りを行い、職員が不安なく意欲的に働ける環境作りに努めました。

昨年度より教育・企画担当と連携し、オンライン研修実施機関の動画視聴による学習機会の提供を開始しており、各々が時間を有効に活用し、必要な学びを深めることができました。また、施設内発表会については、コロナウイルスの感染拡大が長引く状況があり、開催には至りませんでした。

今後も、職員が自ら考えて行動し、成長できるよう取り組んでいきます。

(4) 「ご入居者が快適に暮らせる生活環境の提供。事故を未然に防ぐ環境整備の実施」について

今年度も継続して、感染症予防対策として週2回の消毒と常時の換気を徹底しました。職員は、毎日の検温、マスクの着用、手指消毒の徹底、毎週のPCR検査及び抗原定性検査を受検し、コロナウイルスに感染しないことを意識して行動しましたが、9月～11月と2月～3月にかけて、ご入居者のクラスター発生と職員の感染が多数発生してしまいました。「高齢者医療支援型施設」を利用しながら、施設での感染症対応としては、コロナ専従職員を立て、感染者の居室移動や一時的なブロック閉鎖、その他の方の健康観察を集中的に行い、感染拡大防止に努めました。感染症対応解除後は、多部署と連携しながら、ご入居者へのこまめな様子観察とコミュニケーションを重視したケアを心掛け、体調面や精神面のサポートに努めました。

また、生活環境については、間接援助職員を増員し、居住棟内の清掃をこまめに行い、清潔保持に努めました。その他車椅子点検や環境整備を行い、ご入居者の皆様に「安全・安心」を感じていただける環境の提供に努めました。

次年度も、ご入居者の皆様が安心して快適に過ごしていただける環境の提供に努めていきます。

3 活動報告

(1) 事故防止検討委員会の定期開催について

各施設単独開催と安全対策担当者での三園合同開催の形式で開催し、事故・ヒヤリハット概要の情報共有や再発防止策の協議等を行いました。

単独開催時には、多職種の職員の専門的な視点からの意見を交えて、事故・ヒヤリハット報告書以外にも、転倒・滑落の多い方の事故要因・対策について協議を行いました。今年度から眠りスキャンEyeが導入されたため、対象者の事故については、事故原因が録画で確認することができ、原因の究明と事実に基づいた対策の検討が行えるようになりました。重大な事故については、主任会議とも連動し意識喚起を行いました。

合同開催時には、各園の安全対策担当者が集まり、三園で発生した事故や取り組みについ

て共有しました。内容については、各園の単独開催時に、他施設での事故の情報共有や注意喚起を行い、法人全体で課題に向けて取り組みました。

今後も、多部署と連携して事故を未然に防ぐため、ご入居者の日頃の様子や気持ちを考えて取り組んでいきます。

別紙「事故防止検討委員会開催状況」を参照。

(2) 主任会議の定期開催

今年度は、ご入居者の支援や事故対策、ICT 機器や次世代介護機器の活用方法、介護課全体の業務改善、新型コロナウイルスの情報共有等、様々な議題について協議を行いました。

ご入居者の支援については、不適切ケアについての事案の情報共有をし、日頃のケアにおいて自身の言動を振り返り、意識を高めるよう注意喚起を行いました。

業務改善については、今年度は iPad が 7 台導入され、ペーパーレス化の推進や記録業務の効率化を図りました。ブロック・ユニットで活用状況が異なるため、確認しながら職員全員が使用できるよう取り組みました。

感染症動向については、施設長よりその時々最新の情報発信がなされ、気を引き締めて感染予防対応に取り組むことができました。

会議での決定事項は、職員に周知し、各ブロック・ユニット会議でも説明を行い、職員一人ひとりに内容が伝わるように努めました。

今後もより良いサービスの提供と円滑な部署運営が行えるよう、様々な議題に取り組んでいきます。

別紙「主任会議開催状況表」を参照。

(3) 個別ケア推進委員会の定期開催

活動の詳細については別紙「個別ケア推進委員会」開催状況表を参照。

(4) 排泄ケア向上委員会の定期開催

活動の詳細については別紙「排泄ケア向上委員会」開催状況表を参照。

(5) 移乗動作検討委員会の定期開催

活動の詳細については別紙「移乗動作検討委員会」開催状況表を参照。

(6) 余暇活動の支援

今年度も、感染症による制限や対応等でクラブ活動は実施回数が減少してしまいましたが、レクリエーションの実施回数は増加となりました。ご入居者の希望に応じた個別のものや身体状況に合わせたもの、季節感のある手作りおやつなど、バリエーション豊かな内容の余暇活動を実施しました。

・レクリエーション参加状況については、別紙「各ブロックレクリエーション実施状況」を参照。

・各クラブ参加状況については、別紙「クラブ実施状況報告」を参照。

(7) 年間行事の企画と実施

行事企画委員会（1回/月）内で、コロナ禍での行事の実施方法について協議を行いました。

昨年度に引き続き、その時々感染状況を勘案しながら、ブロック・ユニットごとでの開催や二部制にする等の三密回避を行い、納涼祭、敬老の会、クリスマス会等の行事を開催することができました。運動会と焼き芋大会は感染拡大により、残念ながら中止となりました。

今年度の行事参加人数（延人数）は、施設行事・ボランティア行事が 1,092 名、「カフェむ

さしの」および「BARむさしの」が769名で、合計1,861名でした。

別紙「令和5年度 施設行事・ボランティア行事参加人数実績表」

「令和5年度 カフェむさしのおよびBARむさしの参加人数実績表」を参照。

(8) 行事アンケートの実施

調査期間を令和5年12月15日～31日、調査対象者を特別養護老人ホーム在籍ご入居者とした「行事についてのアンケート」を実施し、ご入居者のニーズ把握に努めました。本アンケート調査において、ご入居者の皆様からいただいた貴重なご意見を参考に、更に充実した行事運営に活かしていくよう努めていきます。

(9) 家族交流の活性化支援

今年度は感染状況に留意しながら対面での面会を実施しました。コロナ禍以前のような面会方法ではなく、週1回、1回30分、3名まで等、感染予防のためのルールを設けての実施となりましたが、面会時には笑顔で談笑されている姿が見受けられました。

敬老会や衣料品販売会にはご家族も参加していただき、一緒に祝賀会やお買い物を楽しまれていました。

別紙「介護課全体 面会・外出・外泊表」参照。

(10) 整容支援

整容については、感染症対策を講じて実施しました。希望時やチェック表を用いて定期的にご利用いただきました。カット、髭剃り、パーマ、ヘアカラーと要望に応じて、それぞれ好きなヘアスタイルを楽しまれていました。

整容については、起床時や離床時等に身だしなみに配慮し、ご入居者が快適に気持ち良く過ごしていただけるよう努めました。

別紙「整容利用状況表」参照。

主任会議開催状況表

開催日	議 題 内 容
4月5日	眠りスキャン、iPadの導入について 1 遅確保の取り組みについて
5月8日	眠りスキャン、iPadの活用状況について 居住棟での面会について
6月7日	ケアパレットの活用状況について 入浴中の事故について
7月5日	看取りケアについて 眠りスキャン、iPadの情報共有について
8月2日	EPA 職員の受け入れについて 入院者減少への取り組みについて
9月6日	看取りケアについて 夜間帯のオンコール対応について
10月4日	コロナ関係について 移乗委員会より(レンタルクッション、エアーマットの導入について)
11月1日	コロナ対応の課題、疑問、意見等について 令和5年度上半期事業計画総括について
12月12日	自動寝返り支援ベッドの導入について 園盛会 DX プロジェクト B チームより(長期休暇取得に向けて)
1月5日	不適切ケアについて アドバンストセミナーより(次世代介護機器導入計画について)
2月7日	個別ケア推進委員会より(次年度の委員会の統廃合について) 園盛会 DX プロジェクト B チームより(長期休暇取得に向けて)
3月6日	次年度のクラブ、委員会について 眠りスキャン、iPad、自動寝返り支援ベッドの活用状況について

排泄ケア向上委員会事業報告

1 活動報告

今年度の委員会では、個別事例検討を始め、パッドの適正使用及びコスト削減についての取り組みとして、委員会開催時に、1日のパッド総吸収量の推移表の確認や意見交換を行いました。しかし、新型コロナウイルスによる施設内感染に伴い、委員会の開催が中止になってしまいうことが多くありました。

今後も、各ご入居者に合わせた排泄用品の選定やコスト削減に向けて取り組んでいきます。

排泄ケア向上委員会実施状況報告

総括	実施責任者	委員
今年度の委員会は、適正使用及びコスト削減を目的とし、コンチネンスケア現状チェックリスト、排便サポート評価、トイレットトレーニング評価を実施し、パッド選定を行う予定でした。委員会の中止が相次いだため、次年度も引き続きコストの削減と、個別事例の法人内での共有化を目指し取り組んでいきます。	運営責任者 宮本 義輝 進行責任者 小村方 克将	藤崎、新倉、齋藤、山口、菰田、粕谷、西 オブザーバー：ユニチャームメンリッケ(株)柴田様
開催日	議 題 内 容	
4月25日	1年間の活動予定内容について 個別での事例検討について パッド総吸収量表について 令和4年度排泄ケア向上委員会振り返りについて 排尿量測定方法の確認について	
6月27日	個別での事例検討について パッド総吸収量表について 浴室でのTENAウォッシュクリーム使用について コンチネンスケア現状チェックリスト、排便サポート評価、トイレットトレーニング評価について トイレ誘導の意義や意識改革について	

※8月、10月、12月、2月は都合により中止となりました。

移乗動作検討委員会事業報告

1 活動報告

今年度は福祉用具の活用方法についての訪問研修を受け、研修内容を基に、浴室での安全な移乗介助においてスライドボード、スライディングシートを使用し、ご入居者および職員の身体への負担軽減に繋げる取り組みを行いました。

iPad を使用し、ポジショニング、シーティング方法の情報共有を可能とし、職員全員が統一した対応を行うことができました。

今年度をもって、移乗動作検討委員会は委員会としての活動は終了することとなりました。次年度より、ご入居者の移乗方法やポジショニング、シーティング、研修等につきましては、リハビリと連携して適時実施していきます。

移乗動作検討委員会実施状況報告

総括	実施責任者	委員
iPad を活用し、ご入居者のポジショニングやシーティングについての情報を他部署とも共有できる取り組みを行いました。また、浴室での安全な移乗介助が行えるように福祉用具の使用を浸透させ、その他、環境整備を行うことでご入居者及び職員の負担軽減に繋げることができました。	運営責任者 宮本 義輝 進行責任者 前田 花奈 海老原 幸枝	鈴木、沖山、青山、高木、関口、西、佐渡谷
開催日	議 題 内 容	
5月23日	令和5年度委員会の実施要綱の説明 ケアパレットの活用について 令和5年度検討テーマについて	
7月19日	現在使用している福祉用具の管理について 浴室での安全な移乗介助を行う為の環境整備について	
12月4日	東京都福祉保健財団による訪問研修 (福祉用具を使用した移乗方法の実践)	
1月23日	使用している福祉用具についての確認 レンタルクッションの取り扱いについて	
3月23日	令和6年度の福祉用具使用確認の方法について 令和5年度の振り返り	

※9月は都合により中止となりました。

令和5年度 施設行事・ボランティア行事参加人数実績表（カフェ・BARむさしのを除く）

開催日	行事名	参加人数
4月	10日・14日 チューリップまつり見学 14名	14名
5月	24日 衣料品販売会 51名 25日・26日 秋留台公園バラ園見学 16名	67名
6月	花しょうぶまつり見学 13名	13名
7月	26日 納涼祭 163名	163名
9月	20日 敬老の会 154名	154名
11月	29日 餅つき 137名	137名
12月	10日 衣料品販売会 59名 20日 クリスマス会 167名	226名
1月	1日 福生志茂町囃子連 97名 11日・12日 初詣 16名	113名
2月	3日 節分 141名	141名
3月	9日 米国空軍太平洋音楽隊による演奏会 64名	64名
合 計		1,092名

令和5年度 カフェむさしのおよびBARむさしの 参加人数実績表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
カフェ むさしの	43	78	66	70	78	42	—	44	85	45	84	84	719
BAR むさしの	—	—	—	—	27	—	—	—	23	—	—	—	50
(開催数)	(1)	(2)	(2)	(2)	(3)	(2)	(0)	(1)	(3)	(1)	(2)	(2)	(21)

書道クラブ実施状況報告

クラブ活動総括		担当講師名	担当者名
<p>○ 毎月、季節に合ったお手本を用意し、参加されたご入居者 はご自身が納得されるまで何度も書き直されながら、一つの 作品を仕上げられました。完成した作品はフロアに展示を行 いました。</p> <p>○ 今年度も、新型コロナウイルス感染症対策の為、各フロア で実施することが多かったですが、少人数でも和やかな雰 囲気の中で開催することができました。</p>		—	関根千春 市川正太郎 チャンティフォン 外畑敏裕 野尻尚美 三浦優花 ホアンゴックルオン
開催日	実施内容	参加人数	
4月1日	「夜桜」「桜餅」「花見」をお題に書いて頂きました。感染症対策 の為、各階で開催致しました。	9	
6月3日	「梅雨」「入梅」「水無月」「皁月」「夏至」「白夜」をお題に書いて 頂きました。各フロアにて開催致しました。	9	
8月5日	「残暑」「花火」をお題に書いて頂きました。しっかりと筆を持 ち、名前まで丁寧に清書されていました。	7	
9月2日	「九月」「残暑」「仲秋」をお題に書いて頂きました。筆を持つと 真剣な表情で清書に取り組みられました。	7	
1月6日	「正月」「元日」「雑煮」をお題に書いて頂きました。自身の作品 と他の参加者の作品を見比べて楽しまれていました。	7	
2月10日	「立春」「初春」「如月」をお題に書いて頂きました。全体を通し て穏やかに過ごしながら清書を楽しまれていました。	6	
合 計		45	

※5月、7月、10月、11月、12月、3月は都合により中止となりました。

華道クラブ実施状況報告

クラブ活動総括		担当講師名	担当者名
<p>○ 今年度の華道クラブでは、季節の花々を使用し自由にフラワーアレンジメントに取り組んでいただきました。各々が悩みながらも最後には満足いく作品に仕上がりました。</p> <p>○ 今年度は感染症対策の為、各フロア、ブロック、ユニットでの開催が主でしたが、普段と違ったメンバーや場所での開催の際は新鮮さを感じられ、楽しまれていました。</p>		—	レクオットリアン 奈良由香里 木須健人 グエンティエユオン 高木健 フォティリン 鈴木理恵
開催日	実施内容	参加人数	
4月15日	ストレッチア、ユリ、バラ、ムギの花材を使用して実施しました。	8	
5月20日	ソリダスター、カーネーション、カリメロマム、ヒマワリの花材を使用して実施しました。	10	
6月17日	スカシユリ、オンシジウム、バラ、アレカヤシの花材を使用して実施しました。	10	
7月15日	スカシユリ、なでしこ、ヒマワリの花材を使用して実施しました。	10	
8月19日	パンパス、オミナエシ、カーネーション、ケイトウ、モカラ、ドラセナの花材を使用して実施しました。	10	
9月16日	すすき、ケイトウ、ひまわり、オミナエシ、ソラナムの花材を使用して実施しました。	11	
10月21日	フジバカマ、ナデシコ・アレカヤシ、バラの花材を使用して実施しました。	10	
12月16日	バラ、ガーベラ、アルストロメリア、レザーファン、ストック、竹塗の花材を使用して実施しました。	10	
1月20日	水仙、なでしこ、カリメロ、スイートピーの花材を使用して実施しました。	12	
2月17日	桃、スイートピー、ポピー、菜の花の花材を使用して実施しました。	11	
3月16日	フリージア・バラ・スターチースの花材を使用して実施しました。	11	
合 計		113	

※11月は都合により中止となりました。

茶道クラブ実施状況報告

クラブ活動総括		担当講師名	担当者名
<p>○ 今年度は緑茶のみにこだわらず、様々なお茶の風味や香りを感じていただけるよう旬な緑茶や変わり種のお茶を用意しお茶に合う和菓子や洋菓子を提供しました。お茶もお菓子も好評でとても楽しんでいただきました。</p> <p>○ 今年度も新型コロナウイルス感染症対策のため、各フロアや各ブロック等、少人数での交代制で開催しました。</p>			齋藤司 木須健人 外畑敏裕 栗田俊明 西村司 宮城克和 村井洸太
開催日	実施内容	参加人数	
4月22日	種子島産の新茶と北海道産のどら焼きを提供しました。新茶をおかわりされており、とても満足された様子でした。	13	
5月27日	抹茶オーレとシャインマスカットのゼリーを提供しました。皆様笑顔で完食されていました。	13	
6月24日	アールグレイの紅茶とふんわり厚切りロールケーキを提供しました。ロールケーキに厚みがあり「甘い。」と好評でした。	13	
7月22日	抹茶と生サブレを提供しました。柔らかくて食べやすく、「美味しい。」とご入居者の方々から好評でした。	14	
8月26日	抹茶とようかんを提供しました。「ようかんが冷たくて美味しい。」と喜んでいただきました。	14	
9月23日	緑茶「夢がたり」とふんわりカスタードムーンを提供しました。「お茶が美味しい。」と笑顔で緑茶をおかわりされていました。	11	
10月14日	ミルクティーとスイートポテトパイを提供しました。「お茶は甘くないけどお菓子が甘くてちょうどいい。」と好評でした。	8	
11月25日	抹茶と栗きんとんを提供しました。「栗きんとんが程よく甘くて美味しい。抹茶に合う。」と満足された様子でした。	14	
12月23日	抹茶とミニシュークリームを提供しました。「大きさが食べやすく、甘くて美味しい。抹茶にも合う」と満足された様子でした。	13	
1月27日	どくだみ茶とカステラを提供しました。ご入居者同士や職員との談笑をとても楽しまれておりました。	14	
3月23日	ロシアンティーとプリンを提供しました。ロシアンティーを召し上がると「お茶のおかわりちょうだい。」と好評でした。	14	
合 計		141	

※2月は都合により中止となりました。

手工芸クラブ実施状況報告

クラブ活動総括		担当講師名	担当者名
<p>○ 季節を感じられるような作品を作成しました。仕上がった作品を見て、満足そうな表情や作品を通してご入居者同士で会話される姿が度々見られました。</p> <p>○ 事前準備を行い、手工芸クラブ当日は、ご入居者の意向に沿いながら、材料選びや飾り付けの位置等、細かい部分は職員がお手伝いさせていただきました。</p>		—	山下茜 黒崎千春 村野敬子 青山和美 栗田俊明 関根千春 粕谷幸代
開催日	実施内容	参加人数	
4月26日	貼り絵を制作しました。3種類の絵からお好きな絵を選んでいただき、行いました。	4	
5月31日	紫陽花のしおりを作成しました。紫陽花の台紙に折り紙で花びらを付け、色とりどりの紫陽花のしおりが完成しました。	7	
6月28日	七夕の飾りを制作しました。短冊に思い思いの願い事も書き、飾りに付けました。	6	
8月23日	柿とぶどうの壁飾りを作成しました。台紙に折り紙で作った柿とぶどうを貼り、秋を感じる作品に仕上がりました。	7	
9月27日	紙コップでアマビエの置物を作成しました。紙コップに顔や鱗の形の折り紙を貼り、個性豊かなアマビエの置物ができました。	7	
11月22日	紙コップのバスケットを作成しました。紙コップに麻紐を巻き、取手にリボンを付け、可愛いバスケットが完成しました。	7	
12月27日	雪だるまの壁掛けを作成しました。紙皿を雪だるまに見立て、顔を描いて頂き、体にはお好きなシールを貼って完成しました。	6	
2月28日	花形の壁飾りを作成しました。トイレットペーパーの芯を使用し花の形に織り可愛い壁飾りが完成しました。	8	
3月29日	スクラッチアートを行いました。ご入居者の皆様、集中されながら取り組まれていました。	6	
合 計			58

※7月、10月、1月は都合により中止となりました。

面会・外出・外泊状況表（従来型特養）

	面 会		外 出		外 泊	
	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数
4月	100	269	11	11	0	0
5月	108	208	8	9	0	0
6月	101	334	8	9	0	0
7月	103	301	11	11	0	0
8月	107	354	9	9	0	0
9月	102	366	9	9	0	0
10月	87	313	8	9	0	0
11月	104	274	11	12	0	0
12月	111	473	10	11	0	0
1月	112	348	10	10	0	0
2月	124	295	6	0	0	0
3月	109	333	8	8	0	0
合 計	1,268	3,868	109	115	0	0

面会・外出・外泊状況表（地域密着型特養）

	面 会		外 出		外 泊	
	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数
4月	10	10	1	3	0	0
5月	11	11	2	2	0	0
6月	12	12	1	1	0	0
7月	14	37	0	0	0	0
8月	12	29	1	2	0	0
9月	13	38	0	0	0	0
10月	14	33	0	0	0	0
11月	9	31	1	1	0	0
12月	13	38	0	0	0	0
1月	11	31	2	2	0	0
2月	9	21	0	0	0	0
3月	11	22	0	0	0	0
合 計	139	313	8	11	0	0

理容・美容利用状況表

区分 月	理 容						備 考
	カット	ひげそり	パーマ	毛染め	その他	利用人数	
4月	47	4	1	3	0	47	<p>・カット、髭剃り等の各項目については、当該月の利用回数（1名につき複数項目利用も含まれる）を表記しています。</p> <p>・利用人数については、当該月の実人数を表記しています。</p>
5月	53	5	1	5	0	53	
6月	58	4	0	4	0	58	
7月	53	1	1	2	0	53	
8月	51	2	0	6	0	52	
9月	44	3	2	1	0	44	
10月	55	2	1	5	0	56	
11月	49	4	1	6	0	49	
12月	80	3	1	8	0	80	
1月	39	2	1	3	0	39	
2月	32	2	0	6	0	32	
3月	46	2	0	3	0	46	

介護課（従来部） 2 Aブロック 事業報告

1 活動報告

(1) ブロックの取り組みの総括

- ① 「ブロックにおける記録業務を見直し、簡略化と効率化を行い、情報共有の精度を下げずに直接援助の時間を捻出する」について

まず情報書類の整理として、ブロック内における周知書面を減らす取り組みを行いました。始めに周知ファイルとブロックノートをひとつにまとめ、周知や業務情報の共有をより効率的に行える環境を作りました。次に iPad を利用し、毎日や毎週といった単位で繰り返し行っている業務を、カレンダーやリマインダーのアプリに設定することで、業務のタスク・予定管理を行いました。これにより、週間予定表やご入居者の誕生日・予定一覧表等を廃止し、それらの情報を全て iPad に一本化することができました。ブロック内での情報ツールは iPad に集約されるため、確認や更新の手間が省け、作業効率を上げることができました。

また、記録業務の見直しを行った結果、パソコン(ほのぼの NEXT)からの記録業務の一部を、iPad(ケアパレット)から入力できる方法を確立しました。ケアパレットからの入力は、食事、排泄、レクリエーション、入浴、面会、体重、各種ケース記録を行っています。各種ケース記録では、入力支援として定型文を利用開始したことにより、簡単なケース記録は iPad から行うことが、ブロック内での定石となりました。

以上の取り組みの結果、介護日誌編集作業以外の記録業務を全てブロック内で行うことができるようになりました。これにより、リーダー職員の記録時間を約 45 分間削減し、レクリエーション等の時間にあてたタイムスケジュールを作成することができました。

- ② 「ケアプラン内容を職員間で共有することで、常にご入居者の目線に立った支援を行う」について

毎月のブロック会議で、ケアプラン更新を控えたご入居者の評価と課題抽出を行いました。まず、居室担当職員が事前に対象ご入居者の情報収集や意見の聴き取りを行い、会議で現行のケアプランの方向性を示します。その後、他職員からの意見を募り協議することで、話し合いの軸がぶれずに、前年度よりも生産的な協議を行えるようになりました。

取り組みの中で、職員全員がご入居者それぞれのケアプラン内容に興味を持つことで、新たな課題を発見することができ、結果として目標を達成することができました。

(2) ブロック会議の開催状況について

議題の大枠を予め用意し議題を募ることで、毎月課題解決に向けた話し合いと情報の共有を行いました。

別紙「ブロック会議開催状況」を参照。

(3) 余暇活動の充実について

ご入居者の意向を伺いながら、身体面や精神面に配慮した余暇活動を実施しました。

別紙「レクリエーション実施状況」を参照。

(4) ブロックのルーティンワークの総括について

定期的にルーティンワークについて協議し、見直しを行いました。今後も合理化や効率化に向けた見直しを行い、ご入居者に関わる時間を増やせるように努めていきます。

ブロック会議開催状況

実施日	議 題 内 容
4月13日	ブロック重点取り組み・ADLや支援方法・事故関係・他検討事項
5月22日	ブロック重点取り組み・ADLや支援方法・事故関係・他検討事項
6月19日	ブロック重点取り組み・ADLや支援方法・事故関係・他検討事項
7月10日	ブロック重点取り組み・ADLや支援方法・事故関係・他検討事項
8月30日	ブロック重点取り組み・ADLや支援方法・事故関係・他検討事項
9月22日	ブロック重点取り組み・ADLや支援方法・事故関係・他検討事項
11月30日	ブロック重点取り組み・ADLや支援方法・環境整備・業務の効率化 他
12月15日	ブロック重点取り組み・ADLや支援方法・環境整備・業務の効率化 他
1月25日	ブロック重点取り組み・ADLや支援方法・環境整備・業務の効率化 他
2月29日	ブロック重点取り組み・ADLや支援方法・環境整備・業務の効率化 他
3月21日	ブロック重点取り組み・ADLや支援方法・環境整備・業務の効率化 他

※10月のブロック会議は、都合により中止となりました。

レクリエーション実施状況

月	実施回数	実施内容	実施利用者数
4月	16	DVD鑑賞・計算ドリル・パズル・塗り絵・散歩 等	66
5月	10	DVD鑑賞・貼り絵・パズル・カラオケ 等	58
6月	17	DVD鑑賞・かるた・折り紙・パズル・七夕飾りつけ	93
7月	31	DVD鑑賞・魚釣り・風船バレー・日向ぼっこ 等	142
8月	13	DVD鑑賞・パズル・日向ぼっこ・おやつ作り 等	94
9月	22	DVD鑑賞・魚釣り・風船バレー・かるた・カラオケ	160
10月	13	DVD鑑賞・日向ぼっこ・かるた・風船バレー 等	63
11月	16	DVD鑑賞・ボーリング・日向ぼっこ・けん玉 等	78
12月	22	DVD鑑賞・かるた・風船バレー・日向ぼっこ 等	108
1月	23	DVD鑑賞・塗り絵・魚釣り・かるた・日向ぼっこ 等	93
2月	13	DVD鑑賞・散歩・魚釣り・折り紙・日向ぼっこ 等	68
3月	17	DVD鑑賞・魚釣り・散歩・パズル・風船バレー 等	89
合計	213		1,112

2Bブロック 事業報告

1 活動報告

(1) ブロックの取り組みの総括

① 「事故防止に向けて職員の意識向上を図る」について

毎月のブロック会議で発生した事故についての状況及び対策についての振り返りと、再発防止に向けて統一した対応ができているかの確認を行いました。また、職員の危機管理意識の向上のため、危険予知トレーニングを実施しました。事故発生回数は、前年比 10%減を目標に掲げていましたが、同様の事故発生が多数あり、目標を達成することはできませんでした。

次年度の課題として、ご入居者の状態把握と職員間の情報共有、対応方法の徹底を行い、事故発生件数の減少に取り組んでいきます。

② 「コロナ禍においてもご入居者が不安なく楽しめる余暇活動の提供」について

ご入居者のやりたい事についての聞き取りを居室担当者が中心となり、ブロック会議で聞き取りを行った結果を情報共有しました。手作りおやつの希望が多くあった為、2ヶ月に1度の実施を目標に、季節に合った食材を使用して手作りおやつの提供を行いました。

余暇活動実施回数は、前年度比 10%増の目標には届きませんでした。希望が多くあった手作りおやつは定期的に実施できたため、ご入居者から喜びの声をいただきました。

次年度の課題として、余暇活動への参加者及び実施内容が偏ってしまっている為、バリエーションを増やし、多くのご入居者に参加していただき、楽しんでいただけるように取り組んでいきます。

(2) ブロック会議の開催状況について

ご入居者の支援方法や発生した事故について協議を行いました。発生した事故の内容、原因、対策について職員間で振り返りを行い、統一した対応方法で実施ができているかを確認しました。必要時には他部署への相談もを行い、事故の再発防止に取り組みました。

別紙「ブロック会議開催状況」を参照。

(3) 余暇活動について

今年度もご入居者への希望の聞き取りを実施し、意見の多かった手作りおやつの開催頻度を2か月に1回を目標に業務内容の見直しを行いました。その他、四季を感じていただけるような季節ごとのブロック装飾の作成にも取り組みました。

別紙「レクリエーション実施状況」を参照。

(4) ブロックのルーティンワークの総括について

定期的にルーティンワークの見直しを行いました。今後も、合理化や効率化に向けた見直しを行い、ご入居者への関りを増やせるよう努めていきます。

ブロック会議開催状況

実施日	議 題 内 容
4月28日	ご入居者のADLや支援方法について・事故関係・事業計画について
5月23日	ご入居者のADLや支援方法について・事故関係・ケアパレットについて
6月16日	ご入居者のADLや支援方法について・事故関係・各委員会からの周知事項
7月16日	ご入居者のADLや支援方法について・事故関係・ブロック業務内容について
8月25日	ご入居者のADLや支援方法について・事故関係・各委員会からの周知事項
9月26日	ご入居者のADLや支援方法について・事故関係・危険予知トレーニング
10月31日	ご入居者のADLや支援方法について・事故関係・事業計画内容の再確認
11月23日	ご入居者のADLや支援方法について・事故関係・各委員会からの検討課題
12月19日	ご入居者のADLや支援方法について・事故関係・個別支援について
1月24日	ご入居者のADLや支援方法について・事故関係・各委員会からの周知事項
2月20日	業務都合により中止。
3月26日	ご入居者のADLや支援方法について・事故関係・R6年度事業計画について

レクリエーション実施状況

月	実施回数	実施内容	実施利用者数
4月	18	DVD鑑賞・日向ぼっこ・塗り絵・散歩・手作りおやつ	71
5月	13	新茶の会・ハンドマッサージ・音楽鑑賞・ボール投げ等	79
6月	10	塗り絵・オンラインレク・手作りおやつ・かき氷等	64
7月	7	カラオケ・ハンドマッサージ・音楽鑑賞・塗り絵等	43
8月	20	ボール投げ・DVD鑑賞・シール貼り・かき氷等	96
9月	10	塗り絵・ハンドマッサージ・カラオケ・手作りおやつ	59
10月	13	ハンドマッサージ・塗り絵・日向ぼっこ・音楽鑑賞等	48
11月	24	動画観賞・塗り絵・音楽鑑賞・手作りおやつ・歌等	90
12月	15	DVD鑑賞・カラオケ・塗り絵・手作りおやつ等	58
1月	10	貼り絵・カラオケ・手作りおやつ・ハンドマッサージ	64
2月	10	手作りおやつ・塗り絵・音楽鑑賞・ハンドマッサージ	45
3月	9	塗り絵・手作りおやつ・歌・貼り絵・パズル等	46
合計	159		763

2 Cブロック 事業報告

1 活動報告

(1) ブロックの取り組みの総括

- ① 「事故を未然に防ぐ為、環境面の安全の強化、職員の意識向上に向けた取り組みを行う」について

毎月のブロック会議で当月に発生した事故について、改めて原因と対策についての振り返りと評価を行い、情報共有を図ることで再発防止に努めました。環境面での安全の強化については、ご入居者トラブルが多く発生したため、食事席の変更や物品の配置について見直しを行いました。また、危険予知トレーニングとして、今後起こりうる可能性のある事故や危険なことについての話し合いも行いました。

取り組みの結果、年間の事故発生件数は、前年度に比べて9%減少しました。

今後も、過去に発生した事例や、他施設、他ブロックで発生した事故についても職員で話し合い、同様の事故が起こらないよう取り組んでいきます。

- ② 「ご入居者の残存機能を生かしたレクリエーションや季節に沿った余暇活動の充実」について

今年度の前半では、中庭にある畑を使用し、じゃがいもの植え付けや収穫をご入居者と共にを行いました。また、屋外でシャボン玉や花の鑑賞を楽しんでいただきました。職員間で話し合いを行い、個別に手足を使った体操や、脳トレ等ご入居者それぞれに合わせたレクリエーションを行いました。また、ご入居者と共に季節に沿った作品制作や、夏にはご入居者と一緒にスイカ割りを行い、季節感を感じながら楽しんでいただくことができました。

今後も、ご入居者と共に楽しめるレクリエーションを行っていきます。

(2) ブロック会議の開催状況について

毎月のブロック会議の開催前に各職員が検討用紙に議題や意見を入力することにより、スムーズな会議の開催ができました。会議中は職員が話しやすい雰囲気作りを行うことにより、職員の発言が増え、活発な意見交換を行うことができました。

また、ご入居者の状態に沿った支援方法の見直しや、当月に発生した事故についての原因や対策についてより細かく話し合い、再発防止に努めました。

別紙「ブロック会議開催状況」を参照。

(3) 余暇活動の充実について

ご入居者の意向を伺いながら、身体面や精神面に配慮したレクリエーションを実施しました。ブロック費を活用し、レクリエーションの多様化を図りました。また、個別でのレクリエーションを多く行ったことにより、ご入居者と多く関わりを持つことができました。

別紙「レクリエーション実施状況」を参照。

(4) ブロックのルーティンワークの総括について

定期的にルーティンワークの見直しを行いました。今後も合理化や効率化に向けた見直しを行い、ご入居者への関わりを増やせるよう努めていきます。

ブロック会議開催状況

実施日	議 題 内 容
4月24日	ご入居者のADLについて・各委員会より報告・事故について
5月18日	排泄援助について・周知事項の報告・ご入居者のADLについて
6月29日	ブロック費の活用について・事故について・各委員会より報告
7月19日	ご入居者のADLについて・ケアプランについて・事故について
8月31日	排泄援助について・各委員会より報告・看取り介護について
9月27日	食事席について・ご入居者援助について・事故について
10月19日	10月は都合により中止となりました。
11月29日	ブロック費の活用について・排泄支援について・新型コロナ対応について
12月19日	各委員会より報告・ブロック業務について・事故について・
1月27日	食事支援について・事故について・ご入居者の支援方法について
2月27日	事故について・排泄支援について・ブロック費の活用について
3月27日	ご入居者のADLについて・排泄援助について・各委員会より報告

レクリエーション実施状況

月	実施回数	実施内容	実施利用者数
4月	12	音楽鑑賞・散歩・スクラッチアート 等	34
5月	10	貼り絵・パズル・ハンドマッサージ・塗り絵 等	52
6月	15	七夕飾りつけ・型はめ・音楽鑑賞・散歩 等	51
7月	17	園芸・シャボン玉・ボーリング・貼り絵 等	84
8月	15	すいか割り・魚釣り・パズル・もぐらたたきゲーム 等	70
9月	11	おやつ作り・塗り絵・オセロ・散歩 等	48
10月	16	シャボン玉・おやつ作り・パズル・風船バレー 等	58
11月	15	おやつ作り・音楽鑑賞・風船バレー・貼り絵 等	59
12月	14	音楽鑑賞・魚釣りゲーム・ハンドマッサージ 等	33
1月	14	散歩・塗り絵・型はめ・貼り絵・カラオケ 等	39
2月	15	折り紙・パズル・風船バレー・散歩・塗り絵 等	35
3月	18	おやつ作り・散歩・音楽鑑賞・風船バレー 等	68
合計	172		631

3 Aブロック 事業報告

1 活動報告

(1) ブロックの取り組みの総括

① 「ご入居者一人ひとりのニーズを把握し、個別ケアの提供を行う」について

ご入居者の個別ケアの提供のために、ニーズを把握するアンケートの実施や、24 時間シートの勉強会をブロック会議にて実施しました。ご入居者からのニーズであるオセロ等のレクリエーションの実施はできましたが、24 時間シートの対象ご入居者の選出等、活用まで至らなかったため、今後の課題となりました。

今後は、24 時間シートへの更なる理解や対象ご入居者の選出及び活用の実現に向けて取り組んでいきます。

② 「ご入居者一人ひとりの要望を取り入れた個別余暇活動と季節に合わせたレクリエーションの実施」について

ご入居者からのレクリエーションの希望や嗜好を把握するために、アンケートを実施し、その結果を基に、個別レクリエーションを行いました。また、他ブロックご入居者と仲が良いご入居者から茶話会の希望が聞かれたため、他ブロックご入居者との予定を合わせて実施しました。参加されたご入居者同士で話が弾み、終始笑顔で茶話会をされている様子が伺えました。その他、季節のレクリエーションとして、夏には綿あめのレクリエーションを実施しました。レクリエーション実施回数は、前年度比 11%増加することができました。

今後は業務の見直しとともに、ご入居者の余暇活動増加に向けて取り組んでいきます。

(2) ブロック会議の開催状況について

ブロック会議開催時は、各職員が検討用紙に意見や議題を入力することにより、スムーズな会議の開催ができました。会議では、ご入居者対応について、事故防止策、各委員会、コロナ感染症についての報告を中心に協議を行いました。コロナ感染拡大等で書面開催になってしまった際も、書面を各職員へ配布することで、ご入居者への対応方法の統一化を図り、ご入居者への安心・安全な支援に努めました。

別紙「ブロック会議開催状況」を参照。

(3) 余暇活動について

ご入居者の希望に沿った個別の余暇活動の開催に努め、ご入居者との関わりをより多く持つことができました。また、個別の余暇活動を増やすことで感染防止対策の三密回避も行えました。

今後も、個別での余暇活動の多様化に努め、よりご入居者に楽しんでいただける余暇活動の開催に努めていきます。

別紙「レクリエーション実施状況」を参照。

(4) ブロックのルーティンワークの総括について

定期的にルーティンワークの見直しを行いました。

今後も、合理化や効率化に向けた見直しを行い、ご入居者への関わりを増やせるよう努めていきます。

ブロック会議開催状況

実施日	議 題 内 容
4月20日	ご入居者対応について・各委員会より・事故について・24時間シートについて 他
5月22日	ご入居者対応について・各委員会より・事故について・主任会議より 他
6月19日	ご入居者対応について・各委員会より・事故について・7月の勤務について 他
7月14日	ご入居者対応について・各委員会より・事故について 他（書面開催）
8月16日	ご入居者対応について・各委員会より・事故について 他（書面開催）
9月12日	ご入居者対応について・各委員会より・事故について・他（書面開催）
10月18日	ご入居者対応について・各委員会より・事故について・他（書面開催）
11月22日	ご入居者対応について・各委員会より・主任会議より・24時間シートについて 他
12月18日	ご入居者対応について・各委員会より・主任会議より・24時間シートについて 他
1月15日	ご入居者対応について・各委員会より・事故について・24時間シートについて 他
2月12日	ブロック費について・ご入居者対応について・各委員会より・事故について 他
3月15日	ご入居者対応について・事故について・自動寝返り支援ベッドについて 他

レクリエーション実施状況

月	実施回数	実施内容	実施利用者数
4月	27	パズル・屋外散歩・塗り絵・オセロ 等	95
5月	16	パズル・DVD鑑賞・デザートバイキング・オセロ 等	85
6月	24	パズル・オンラインレク・折り紙・オセロ 等	116
7月	18	パズル・アイスの日・DVD鑑賞・綿あめ 等	109
8月	9	パズル・アイスの日・DVD鑑賞・ネイルケア 等	72
9月	11	DVD鑑賞・ハンドマッサージ・かるた・歌 等	57
10月	6	DVD鑑賞・ジェンガ・音楽鑑賞	30
11月	15	パズル・ハンドマッサージ・ボール投げ・オセロ 等	57
12月	8	DVD鑑賞・塗り絵・型はめ	54
1月	15	パズル・DVD鑑賞・ネイルケア・手作りおやつ 等	106
2月	12	パズル・DVD鑑賞・ハンドマッサージ	57
3月	15	黒ひげ危機一髪・塗り絵・オセロ・茶話会 等	66
合計	176		904

3 Bブロック 事業報告

1 活動報告

(1) ブロックの取り組みの総括

① 「ご入居者に合わせたケアの統一と職員のスキルアップを図る」について

定期的にご入居者の臥床時の安楽な姿勢について、リハビリ職員によるポジショニングを実施し、ブロック会議にて体位変換の実践を行い、各職員の対応方法の統一を行うことで、褥瘡や発赤の再発防止を図りました。実際に各職員が実践することで、体位変換の意識の向上にも繋がりました。また、ブロック会議において、急変時のケーススタディや感染症の対応の実践研修も取り入れることで、職員のスキルアップを図りました。

今後は、臥床時だけではなく、車椅子上でのシーティングや食事時の姿勢についてもご入居者一人ひとりに合った姿勢を保てるよう努めていきます。

② 「職員一人ひとりが全ご入居者のケアプランの内容を把握しケアの統一を図る」について

毎月、ケアプランの期限や長期・短期目標の入った一覧表を更新し、ブロック会議にて、更新するご入居者のケアプラン内容の確認を行い、居室担当以外のご入居者のケアプランも把握することで、ケアプランのサービス内容の提供を積極的に行えるように心掛けました。また、ケアプラン実施のチェック表をご入居者毎に作成し、実施時はチェックを行うことで、更新の際の評価や課題の抽出がしやすくなりました。

こまめなケース入力は十分に実施できなかったため、次年度も引き続き意識して取り組んでいくと共に、ケアプラン更新時は、事前に意向の聴き取りやその方の強みの模索を行い、ブロック全体でケアプランの実施の向上に努めていきます。

(2) ブロック会議の開催状況について

毎月、ご入居者の対応についての検討を中心に行うと共に、毎月の起きた事故の原因と対策の再確認を行い、対策が継続して行えているか、また、追加する対策についても職員間で意見交換を行い、再発防止に努めました。

今年度は、職員の体位変換の対応の統一も意識し、褥瘡や発赤の再発防止にも努めました。後期は事前に検討事項を各職員が入力することで会議の効率化にも繋がりました。

別紙「ブロック会議開催状況」を参照。

(3) 余暇活動について

今年度も、感染症予防に注意を払い、少人数での余暇活動を中心に実施しました。参加人数は前年度よりもやや増えましたが、引き続き、余暇活動の種類や幅を拡げていけるよう、努めていきたいと思っております。

次年度は、個別レクリエーションの充実とご入居者の意向に沿った余暇活動の実施に取り組んでいきます。

別紙「レクリエーション実施状況」を参照。

(4) ブロックのルーティンワークの総括について

定期的にルーティンワークの見直しを行いました。今後も、合理化や効率化に向けた見直しを行い、ご入居者への関わりを増やせるよう努めていきます。

ブロック会議開催状況

実施日	議 題 内 容
4月28日	ご入居者対応について・急変時のケーススタディ・ケアプランの確認 他
5月30日	ご入居者対応について・事故について・体位変換やケアプランの確認 他
6月27日	ご入居者対応について・事故について・ケアプランの確認・業務改善について 他
7月21日	ご入居者対応について・事故について・各委員会より 他（書面開催）
8月22日	ご入居者対応について・事故について・感染症対応の実践・ケアプランの確認 他
9月26日	ご入居者対応について・事故について・業務改善について 他（書面開催）
10月20日	ご入居者対応について・事故について・各委員会より 他（書面開催）
11月28日	ご入居者対応について・事故について・体位変換やケアプランの確認 他
12月19日	ご入居者対応について・業務改善について・ケアプランの確認・各委員会より 他
1月16日	ご入居者対応について・事故について・体位変換やケアプランの確認 他
2月27日	ご入居者対応について・体位変換の確認・ケアプランの内容の確認 他
3月21日	ご入居者対応について・事故について・業務改善について・水分入力について 他

レクリエーション実施状況

月	実施回数	実施内容	実施利用者数
4月	45	同じモノ探し・散歩・計算ドリル・風船バレー 等	198
5月	43	散歩・デザートバイキング・パズル・風船バレー 等	185
6月	32	茶話会・間違い探し・DVD鑑賞・散歩・塗り絵 等	150
7月	34	パズル・カラオケ・同じモノ探し・アイスの日 等	160
8月	50	風船バレー・塗り絵・計算ドリル・クイズ・パズル 等	182
9月	22	ハンドマッサージ・お花作り・散歩・音楽鑑賞 等	75
10月	31	風船バレー・DVD鑑賞・漢字ドリル・間違い探し 等	126
11月	44	散歩・カラオケ・風船バレー・クリスマス飾りつけ 等	168
12月	43	計算ドリル・間違い探し・音楽鑑賞・体操・散歩 等	152
1月	37	ハンドマッサージ・塗り絵・風船バレー・福笑い 等	139
2月	32	タイムクラッシュ・マナー豆・トランプ・歌 等	84
3月	29	漢字ドリル・茶話会・歌・脳トレ・ジェンガ 等	71
合計	442		1,690

3 Cブロック 事業報告

1 活動報告

(1) ブロックの取り組みの総括

- ① 「ケアプランに沿った援助を全職員が実践するため、ブロック業務の見直しを図る」について

前年度から引き続き、毎月のブロック会議において、ご入居者のケアプラン更新前月にケアプラン内容を確認し、変更等について協議を行ったうえで、ケアプラン総括、作成を依頼しました。ケアプラン作成後はブロック会議で内容を確認し、ケアプラン内容に沿った援助がブロック内で実践ができるよう業務内に組み込み対応しましたが、ADLの変化や入院および退院等での支援内容の変更については、円滑には行えませんでした。

今年度の課題を踏まえ、次年度も継続して取り組んでいきます。

- ② 「感染症対策を十分に意識した上で入居者一人ひとりの要望に応じたレクリエーションを開催する」について

前年度に引き続き、ご入居者の要望に応じたサービスの提供を目標に、居室担当者が嗜好や趣味を聴き取り、支援内容を表にまとめることで、一人ひとりの要望に応じたサービスを提供することができました。

感染症を意識したうえで、レクリエーション開催については小規模で実施しました。感染症がブロック内で流行し、実施回数が伸び悩む月がありましたが、ご入居者の要望や職員からの開催時間等の提案をもとに実施し、前年度より3%多くレクリエーションを開催することができました。

(2) ブロック会議の開催状況について

ブロック会議開催時は、事故防止対策や各委員会からの報告を中心に協議を行いました。また、毎月業務の見直しについて、職員からの意見を確認しながら行いました。ケアプラン内容については確認を定期的に行ったうえで、各業務やご入居者対応方法の統一化を図り、ご入居者へ安心・安全な支援が出来るよう努めました。

別紙「ブロック会議開催状況」を参照。

(3) 余暇活動について

ご入居者の体調や意思を尊重したうえで、様々な余暇活動を実施しました。

今年度は感染症対策として少人数でのレクリエーション開催を行うとともに、無理のない範囲で参加するために、開催数を増やして実施しました。ブロック内で感染症が蔓延し対応に苦慮する月がありましたが、前年度より3%多く開催することができました。

今後も、個別での余暇活動の多様化に努め、ご入居者により楽しんでいただける余暇活動の開催に努めていきます。

別紙「レクリエーション実施状況」を参照。

(4) ブロックのルーティンワークの総括について

定期的にルーティンワークの見直しを行いました。今後も、合理化や効率化に向けた見直しを行い、ご入居者への関わりを増やせるよう努めていきます。

ブロック会議開催状況

実施日	議 題 内 容
4月24日	ご入居者対応について・事故について・各委員会より・事業計画について
5月29日	ご入居者対応について・事故について・各委員会より・事業計画について
6月26日	ご入居者対応について・事故について・各委員会より・事業計画について
7月19日	ご入居者対応について・事故について・各委員会より・事業計画について
8月24日	ご入居者対応について・事故について・各委員会より・事業計画について
9月18日	ご入居者対応について・事故について・各委員会より・事業計画について
10月30日	ご入居者対応について・事故について・各委員会より・事業計画について
11月27日	ご入居者対応について・事故について・各委員会より・認知症研修について
12月14日	ご入居者対応について・事故について・各委員会より・事業計画について
1月18日	ご入居者対応について・事故について・事業計画について・個別ケアについて
2月26日	ご入居者対応について・事故について・各委員会より・事業計画について
3月14日	令和6年度事業計画について・事故について・各委員会より・事業計画について

レクリエーション実施状況

月	実施回数	実施内容	実施利用者数
4月	6	屋外散歩・計算遊び・パズル・オンラインレク	20
5月	8	屋外散歩・パズル・手作りおやつ・計算遊び	40
6月	8	茶話会・オンラインレク・カラオケ・DVD観賞	37
7月	7	オセロ・DVD観賞・塗り絵・アイスの日・トランプ	20
8月	22	塗り絵・カラオケ・DVD鑑賞・アイスの日・パズル	87
9月	17	ボーリング・塗り絵・パズル・DVD鑑賞・折り紙	93
10月	9	黒髭危機一発・ハンドマッサージ・塗り絵・将棋	35
11月	7	茶話会・DVD観賞・パズル・計算遊び	16
12月	8	風船バレー・DVD鑑賞・塗り絵・飾りつけ・音楽鑑賞	43
1月	19	ハンドマッサージ・塗り絵・風船バレー・おやつ作り	75
2月	12	ハンドマッサージ・オセロ・風船バレー・DVD観賞	81
3月	11	風船バレー・ハンドマッサージ・塗り絵・DVD観賞	46
合計	134		593

地域密着型特養（全室個室・ユニット型）

1 A Bユニット 事業報告

1 活動報告

(1) ユニットの取り組みの総括

① 「ICT 機器(眠りスキャン)を活用し、根拠に基づいた個別ケアの実践を図る」について

今年度は4名の方を対象に眠りスキャンを使用しました。導入にあたり、使用方法と機能について確認し、職員間で共有を図りました。個々の睡眠のデータや居室内での行動パターンを把握し、日々の記録等も加味しながら、対応方法や居室環境面の見直し、必要に応じて多職種との連携を図りました。

また、変更点については24時間生活シートにも記載し、職員間での情報共有に努めました。

次年度からも眠りスキャンを活用し、根拠に基づいた個別ケアの実践に努めていきます。

② 「ご入居者が過ごしやすく、快適な生活環境を構築する」について

今年度はユニットケアにおける掲示物と排泄環境について勉強会を実施しました。

取り組みを行ううえで、担当者を選定しテーマ設定、課題やご入居者からの意見を確認後に必要な物品の購入やレイアウトの変更を行いました。変更後、ご入居者からは「以前より分かりやすくなった。」等の好評をいただくことができました。

次年度は浴室環境面についての課題確認と、改善に向けた取り組みを行っていく予定です。

(2) ユニット会議の開催状況について

ケアプランや24時間生活シートを用いて協議し、ご入居者の対応方法の見直しや共有を図りました。

事故については再検証と情報共有を行い、必要に応じて居室環境の整備や対策を見直し、再発防止に努めました。

別紙「ユニット会議開催状況」を参照。

(3) 余暇活動について

ご入居者一人ひとりの趣味や嗜好に応じた個別レクリエーションを中心に実施し、感染症対策を意識しながら、季節感を感じられる作品作りにも力を入れて取り組みました。

今後も、ご入居者・職員のさらなる関係構築と、より充実した時間の提供に努めていきます。

別紙「レクリエーション実施状況」を参照。

(4) ユニットのルーティンワークの総括について

職員間で定期的に意見交換を行い、必要に応じてルーティンワークの見直しを行いました。

今後も合理化や効率化に向けた見直しを行い、ご入居者への関わりの時間を増やせるよう努めていきます。

ユニット会議開催状況

実施日	議 題 内 容
4月17日	ご入居者対応について・事故について・余暇活動について
5月18日	ご入居者対応について・事故について・事業計画重点取り組みについて
6月26日	ご入居者対応について・事故について・事業計画重点取り組みについて
7月10日	ご入居者対応について・事故について・事業計画重点取り組みについて
8月14日	ご入居者対応について・事故について・脱水症について
9月14日	ご入居者対応について・事故について・感染症対応について
10月30日	ご入居者対応について・事故について・感染症対策について
11月23日	ご入居者対応について・事故について・事業計画重点取り組みについて
12月28日	ご入居者対応について・事故について・身体拘束防止について
1月25日	ご入居者対応について・事故について・誕生日者について
2月13日	ご入居者対応について・事故について・事業計画重点取り組みについて
3月28日	ご入居者対応について・事故について・事業計画重点取り組みについて

レクリエーション実施状況

月	実施回数	実施内容	実施利用者数
4月	8	歌・散歩・塗り・花見・オンラインレク・作品作り	22
5月	10	歌・散歩・塗り絵・オンラインレク・作品作り 等	33
6月	5	歌・散歩・塗り絵・ハンドマッサージ、風船バレー	11
7月	9	歌・散歩・貼り絵・オンラインレク・飾り付け 等	20
8月	10	歌・散歩・塗り絵・貼り絵・オンラインレク・パズル	22
9月	16	歌・散歩・塗り絵・折り紙・オンラインレク 等	49
10月	15	歌・散歩・塗り絵・オンラインレク・飾り付け 等	43
11月	21	歌・散歩・塗り絵・オンラインレク・折り紙 等	57
12月	14	歌・散歩・塗り絵・オンラインレク・飾り付け 等	47
1月	15	歌・散歩・塗り絵・折り紙・作品作り・貼り絵 等	61
2月	18	歌・散歩・塗り絵・オンラインレク・お手玉 等	40
3月	18	歌・散歩・塗り絵・おやつ作り・風船バレー 等	75
合計	159		480

医務課医務係 事業報告

1 医務課医務係事業計画目標の総括

(1) 自己研鑽に努め、多職種連携によりサービスの質の向上を図る

オンライン研修等を受講し、感染予防や看取り介護、褥瘡ケアについて等、各自が専門的知識の向上を図り、日々のケアや施設内研修に反映させました。今年度は全部署を対象に看取りに関する職員研修も実施し、看取りについての基本的知識の習得を図り、日々の支援に繋げられるように努めました。ご入居者の状態変化時は、他部署と情報を共有し、その人にとってのより良いケアは何か検討しながら、多職種と連携しケアにあたりました。

次年度も専門的知識の向上を図ると共に、その人らしさのある生活が継続できるように他部署と連携・協力し、より良いサービスの提供に努めていきたいと思っております。

(2) 業務の見直しを行い、正確かつ効率的な業務遂行に努める

部署ミーティングで日頃の業務における課題や改善点について話し合い、色んなアイデアを出し合いながら、業務改善に向けて取り組みました。また、介護課に配布されているタブレットを活用し、皮膚トラブル者の皮膚状態を写真で共有することで、情報共有及び処置方法の検討等も効率的に行えるようになりました。ミスが発生した際は、速やかに対策を検討し、業務手順の見直しを行い再発防止に努めました。今後も適宜、業務の見直しを行い、効率的・効果的な業務遂行に努めていきたいと思っております。

(3) コスト意識を持ち、コスト削減に資する取り組みを実施する

衛生材料の価格の変動に応じて、費用対効果を意識しながら衛生材料の選定を行いました。衛生材料の価格も周知することで各自がコストを意識して使用することができました。また、処置方法も部署内で検討し統一することで、無駄なく適正な使用ができるように努めました。

(4) 稼働率確保を常に意識し、ご入居者の健康管理及び適切な感染管理を行う

介護課と連携し、体調不良者の早期発見に努め、体調不良時には早期に嘱託医に上申し、可能な限り施設で療養できるよう努めました。感染予防に関しても職員研修の実施やマニュアルの整備、感染症が疑われる場合は、必要な検査の実施や受診を行い早期発見に努めました。しかし、9月に施設内での新型コロナの感染拡大を認め、複数の居住棟に亘り感染者が発生してしまい、施設内療養と医療支援施設の利用も併用しながら対応にあたりましたが、終息するまでに60日間を要しました。従来型でのゾーニングや隔離対応は、難しい状況も多く、従来型における感染対応の困難さを痛感しました。感染対応後は、振り返りを行い、課題を踏まえたマニュアルの改定とそれに基づく対応により、2月にコロナが発生した際には早期に医療支援施設を利用したことで感染拡大を最小限に抑えることができました。コロナ対応は、次年度から通常医療提供体制に完全移行となり、前回利用した医療支援施設等もなくなるため、今後は入院適応者を除き施設内療養が基本となってきます。そのため、引き続き発生時に備えマニュアルを整備するとともに、必要時の的確な指示出しを行い、感染症の発生防止と発生時の拡大防止に努めていきたいと思っております。

その他の感染症としては、12月に入居者2名のインフルエンザの発生がありましたが、感染拡大防止対応を徹底し、感染の拡大を防ぐことができました。

2 活動報告

(1) 感染対策委員会の開催

年に4回定期開催を行い、感染対策についての情報共有や実施状況の確認を行い、感染対応における課題については解決に向けて協議しました。新型コロナが発生した際には、臨時で感染対策委員会を開催し、発生状況や感染拡大防止対応についての情報共有を図り、感染拡大防止に向けて取り組みました。クラスター発生後は、振り返りを行い、課題を共有し、今後の対応に活かせるように努めました。

(2) 看取り介護

むさしの園版看取り介護指針が策定され、定着に向けた取り組みとして、全職員を対象に看取りに関する動画視聴と資料熟読による職員研修を実施しました。

看取り対応に関しては、状態に応じて関係部署と情報共有を図り、相談しながらその人にあった支援方法を考え対応しました。ご家族には、こまめな説明を心がけ、面会の機会も確保しながら安心と納得のいく看取りケアの提供に努めました。

次年度も他部署と協力し、最期のときまで、その人らしく心安らかに過ごしていただけるよう支援していきたいと思えます。

(3) 褥瘡予防対策委員会の開催

毎月開催し、褥瘡高リスク者や褥瘡発生者を対象に褥瘡予防や早期改善に向けた支援について多職種で協議しました。マットの選定やポジショニング、排泄ケアや栄養状態改善に向けた対応等について話し合い、褥瘡予防や早期治癒に向けて多職種協働で取り組みました。

(4) 各種予防接種の実施

新型コロナの予防接種は、嘱託医の協力のもと6月と10月に入居者と職員の接種を実施しました。また、9月下旬には協力医療機関の協力のもと対象の希望者に対し肺炎球菌の予防接種を行いました。例年実施しているインフルエンザの予防接種は、11月に実施しました。今年度もワクチン接種が多かったですが、嘱託医の協力のもと安全に滞りなく実施することができました。

(5) 法定研修の実施

全職員を対象に5月と10月に感染症予防研修を実施し、5類移行後の新型コロナ感染対策についてやノロウイルス感染症対策についての資料配布及び動画視聴を行い、各自感染予防対策における知識を深めてもらいました。

2月には関係部署を対象に褥瘡予防研修を実施し、褥瘡予防ケアや高齢者に多い皮膚トラブルについての理解を深め、日頃のケアに繋げてもらいました。

(6) ご入居者の健康診断の実施

10月19日に対象ご入居者の定期健康診断を実施しました。検査結果は、嘱託医に確認していただき、必要な方は投薬や経過観察を行い、その後の健康管理に役立てました。

入居者診療状況（実人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科（園内）	168	169	169	166	168	165	162	166	169	169	166	169
精神科（園内）	11	12	12	12	12	12	13	13	12	12	11	11
内科	5	2	5	8	5	3	6	3	2	13	9	5
外科	2	1	3	4	5	3	6	3	5	5	4	5
整形外科	4	4	5	6	5	5	6	5	8	4	5	1
眼科	2	3	3	1	0	1	1	0	0	1	2	0
皮膚科	3	4	5	5	2	4	3	5	4	5	2	5
泌尿器科	1	3	2	2	1	4	1	2	6	3	3	2
糖尿内科	1	1	1	1	1	2	0	1	1	1	1	1
歯科（往診）	96	101	97	92	95	88	92	96	88	87	74	103
耳鼻科	0	1	1	0	0	1	0	2	1	1	0	0
循環器科	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
脳神経外科	2	6	1	2	3	3	3	5	0	4	1	0
神経内科	2	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
口腔外科	0	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
その他	1	3	0	1	1	0	3	1	1	1	1	1

入居者診療状況（延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科（園内）	388	402	392	375	428	402	366	351	429	391	381	408
精神科（園内）	21	24	24	24	24	22	24	25	24	24	22	22
内科	5	2	5	8	5	3	6	3	2	13	9	5
外科	2	1	5	4	5	3	7	3	5	7	4	5
整形外科	5	5	6	8	5	5	7	6	8	5	5	1
眼科	3	3	3	1	0	1	1	2	0	1	2	0
皮膚科	3	6	6	5	2	4	3	6	4	6	2	5
泌尿器科	1	4	2	2	1	4	1	2	7	3	3	2
糖尿内科	1	1	1	1	1	2	0	1	1	1	1	1
歯科（往診）	249	253	252	210	172	152	200	227	173	196	132	191
耳鼻科	0	1	1	0	0	1	0	0	2	1	0	0
循環器科	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
脳神経外科	4	9	1	2	4	3	3	5	0	4	1	0
神経内科	3	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
口腔外科	0	3	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0
その他	1	3	0	1	1	0	3	1	1	1	1	1

入院状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科	1	0	3	4	5	10	16	4	0	5	14	3
整形外科	2	0	0	1	1	2	0	0	1	0	1	0
外科	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0
脳外科	1	2	1	0	1	0	1	2	0	0	0	0
その他	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
合計	4	3	4	5	8	12	18	7	2	5	16	3

園内医療状況（実人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
投薬	163	166	166	165	166	160	158	157	162	168	165	162
点滴	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
インスリン注射	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
採血	16	20	18	21	21	22	0	0	14	19	20	22
血糖検査	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
剥離・褥瘡処置	8	11	12	7	11	6	7	8	13	13	13	12
経管栄養	7	6	6	7	8	8	8	8	8	8	8	7
ストーマ管理	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
膀胱留置カテーテル	2	2	3	3	3	3	2	3	4	4	3	4
在宅酸素	5	5	5	6	6	6	7	8	8	6	9	9
ペースメーカー	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	3	3

※ 投薬と処置に関しては、毎月1日時点での集計結果です。

退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
退所	1	3	4	4	5	1	7	5	4	3	5	4
(内死亡者)	1	2	4	4	5	0	5	2	3	2	4	4

医務課リハビリ係 事業報告

1 医務課リハビリ係事業計画目標の総括

(1) ご入居者一人ひとりがその人らしく生活が送れるよう、QOLの向上を図る

ご入居者の体調や疼痛、機能の変化に柔軟に対応し、必要に応じてプログラムの変更や個別性ある機能訓練を実施しました。また、ご入居者・ご家族の希望を取り入れ日常生活動作に即したプログラムを実施することで、身体的要素の維持・向上を図りました。

他部署からの報告・連絡・相談や機能訓練時にポジショニングや車椅子でのシーティングの姿勢調整を実施することで、ご入居者の安楽かつ易動性が得られる姿勢支援に取り組みました。ご入居者の適正な福祉用具の使用（車椅子・歩行器・杖・靴等）の選定評価を行い、安全な生活環境の提供に努めました。他部署と連携し、ポジショニングクッションの統一やエアーマット、体圧分散マットの経年劣化に伴い、レンタル用品を導入することで褥瘡や拘縮予防、安楽な呼吸を維持する等の支援をすることができました。

作業的療法（アクティビティ）については、趣味や興味・関心のあることに意欲的に取り組んでいただけるよう、風船バレーやパズル、塗り絵、計算ドリル、屋外散歩、歌等のアクティビティを継続して実施しました。更には、ご入居者との交流や社会的参加を目的に共同作品を作成し、1階フロアに飾ることで、ご入居者の意欲向上に繋げる事ができました。ご入居者の身体機能だけでなく、精神機能の安定に繋げ、日々の楽しみを増やし活性化を図りました。

次年度も継続してご入居者のQOLの向上に努めます。

(2) チームケアの向上を図る

リハビリ会議やミーティングを開催し、ご入居者の身体・精神状態の意見交換や情報共有を行いました。通常業務内で他部署からの依頼や相談、ご入居者の状態変化等については、周知ノートを継続して使用することで、リハビリ職員が統一した情報を把握し、連携を図ることができました。

各ブロック・ユニット内でのご入居者の歩行、車椅子自乗動作や姿勢、日常生活やケア方法等についてもリハビリ職員としての助言や介入等を通して、状態把握や他部署との意見交換ができ、協力関係を構築することができました。

また、ポジショニングやシーティングについては、介護職員が統一したケアの提供を実施できるよう注意点等をほのぼのNEXTに添付し、安全で負担の少ない方法や技術の習得と浸透を図りました。

次年度も継続し、チームケアの向上に努めます。

(3) 節電への取り組みや備品の適正使用により、支出削減に努める

リハビリ室の物品については点検を行い、清掃・メンテナンスを実施しました。リハビリ室の節電・節水にも心掛け、ご入居者の体調に配慮しながら冷暖房、換気等の適正使用によるコスト削減に努めました。

次年度もコスト削減に向け取り組んでいきます。

また、3園共通の福祉用具の在庫管理については、部署会議にて検討しましたが、課題が残っているため、次年度も引き続き検討していきたいと思っております。

(4) 転倒・滑落事故防止のため、ご入居者のADL維持・向上に努める

転倒・滑落による骨折や肺炎等の入院による稼働率の影響を抑えるため、ご入居者一人ひとりの ADL や生活環境の改善、福祉用具の選定や調整、ポジショニングやシーティングを行うことでの安楽肢位等の見直しを実施しました。

また、他部署との連携を図ることで体調や精神面を把握し、ご入居者の希望や目標を部署内で共有し、プログラム内容をご本人の意思を尊重しながら実施することで、リハビリ参加率の向上を図り、ADL の維持・向上に努めました。

更に、感染を持ち込まない・発生させないために、職員のマスク着用はもとより、手指衛生や換気の徹底を図るとともに、什器備品の消毒は 1 日 2 回、ホットパック機器の清掃は 2 週間に一度行いました。常に整理整頓を行い、ご入居者にはリハビリ室への入退室時に手指消毒の徹底に継続して協力していただきました。

次年度もご入居者の ADL の維持・向上に努め、感染予防対策を継続して行い、稼働率の維持・向上に寄与するリハビリのサービス提供に努めます。

2 活動報告

(1) 個別機能訓練計画の評価について

個別機能訓練の継続に対して、3 ヶ月以内に一回、新規入居時・退院時に評価を実施し、内容の更新・変更を行い、評価表を作成しました。その内容については、LIFE 運用項目の Barthel Index および Vitality Index の作成・入力を担当として継続しています。また、3 ヶ月に一度は介護課に配布することで、更なる業務効率化や、訓練内容共有を図ることができました。

(2) リハビリ実施内容の統一について

機能訓練指導員の評価実施後、部署内でご入居者の残存機能の状況、可動域制限に伴う行動制限等の情報共有を行い、残存機能の活用、可動域拡大、ADL 向上を目指すプログラム実施時の訓練方法や注意点の指導や動作確認を行い、統一したサービスの提供を行いました。

(3) 生活状況の把握・食事介助の支援

新規入居や退院後に、状態変化時に食事状況をアセスメントし、食事時の姿勢や自己摂取能力、食事環境整備や福祉用具の使用を他部署と連携を図り実施しました。また、昼・夕食時に介護課の応援に入ることで、普段からの食事状況を確認し、ご入居者の食事時の姿勢や、食事環境、嚥下状態を把握することができました。

(4) 車椅子の選定について

今年度も多種類の車椅子を導入し、ご入居者の身体状況に沿った車椅子の選定を実施したことで、安楽な肢位保持や円背や拘縮の進行予防を図るとともに、ご入居者や介護者に負担の少ない移乗方法や車椅子自操動作の安定により行動範囲の拡大も図ることができました。

(5) 部署会議について

法人 3 園において、3 ヶ月に 1 回の部署会議を実施しました。オンラインでの会議や下半期は対面での会議を実施することができ、新人研修や法定研修である褥瘡研修、広報掲載内容、業務内容の確認や書類の確認を検討しました。より密に情報交換ができ、業務の効率化や、共有を図ることができました。

(6) 地域支援について

職場体験の受け入れを再開し、業務内容の経験をしてもらうことで働くことの意味を考え

てもらい、ご入居者との交流を実施することでコミュニケーション能力や人とかかわる魅力のある仕事を理解してもらいました。また、ご入居者にも、職場体験の方と一緒に作品の作成や歌やダンス・クイズを披露してもらうことで楽しんでもらうことができました。

次表の「個別機能訓練計画作成状況（従来型 / 地域密着型）」「リハビリ月別実地状況表（従来型 / 地域密着型）」を参照

個別機能訓練計画作成状況（従来型）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和4年度	151	148	150	152	152	152	154	154	156	151	154	155
令和5年度	154	157	159	157	156	156	156	156	160	157	159	158

個別機能訓練計画作成状況（地域密着型）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和4年度	18	18	18	18	18	18	18	17	18	18	17	18
令和5年度	18	18	18	18	18	18	18	17	18	18	18	18

リハビリ月別実施状況（従来型）

令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
機能訓練	722	1,196	1,202	1,124	1,196	1,174	1,099	1,133	1,131	1,076	1,170	1,299	13,522
物理療法	20	138	152	136	164	154	107	112	172	152	182	186	1,675
アクティビティ	466	809	799	775	859	793	724	801	812	766	813	914	9,331
合計	1,208	2,143	2,153	2,035	2,219	2,121	1,930	2,046	2,115	1,944	2,165	2,399	24,528
令和5年度													
機能訓練	1,178	1,327	1,258	1,203	1,278	1,026	842	1,104	1,015	1,130	1,023	1,238	13,622
物理療法	155	189	171	153	131	137	80	108	112	130	116	138	1,620
アクティビティ	870	978	918	855	922	779	614	824	759	861	778	1006	9,474
合計	2,203	2,494	2,347	2,211	2,331	1,942	1,536	2,036	1,886	2,121	1,917	2,382	24,716

リハビリ月別実施状況（地域密着型）

令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
機能訓練	109	147	136	141	159	154	134	122	131	119	138	155	1,645
物理療法	3	17	21	17	21	18	9	13	16	15	16	14	180
アクティビティ	79	104	99	110	115	96	80	74	77	85	99	98	1,116
合計	191	268	256	268	295	268	223	209	224	219	253	267	2,941
令和5年度													
機能訓練	143	156	152	135	161	144	149	140	119	172	122	124	1,717
物理療法	16	11	18	17	19	17	16	14	17	18	18	14	195
アクティビティ	108	107	112	92	96	103	111	101	89	103	97	98	1,217
合計	267	274	282	244	276	264	276	255	225	293	237	236	3,129

生活課 事業報告

1 生活課事業計画目標の総括

(1) 稼働率の向上と安定化へ向けた取り組みについては、従来型特養は年間平均稼働率が 98.2%、地域密着型では 97.0%と、いずれも前年度を上回る結果となりました。9月～10月と2月～3月に発生した新型コロナウイルスの集団感染が稼働率低下に影響しましたが、昨年度の経験を活かして、新規入居者受け入れをより計画的に行うことで、年間を通しての稼働率の安定につなげることができました。

また、ショートステイの年間平均稼働率は 24.3%と、前年度を下回りました。ショートステイの相談件数も減ってきているため、次年度は近隣の居宅介護支援事業所などへの営業活動をしていきたいと思えます。

2 活動報告

(1) 財務基盤の安定に資する取り組み

女性待機者が減少する一方で、多床室希望の男性待機者が多くなっていったため、そのニーズに応えられるように、男性2人部屋を増やす取り組みを行いました。空床のタイミングを見ての対応になるため、今年度は1部屋の増加に留まりましたが、次年度も引き続き取り組む予定です。また営業活動も取り組みと並行して行うことで、財務基盤の安定に努めました。

(2) サービスの向上に資する取り組み

新型コロナウイルスの5類引き下げに伴って、前年度から続いていた面会制限を、6月から段階的に緩和しました。現在では事前予約なしで、頻度の制限も設けずに面会をしていただくことができおり、ご入居者・ご家族双方から喜びの声が聞かれるとともに、サービスの透明性を向上することができました。

(3) 法人内相談員連絡会の連携強化

毎月1回、3園での相談員連絡会を開催しました。議題内容に合わせて、書面での情報交換や、集合形式、オンライン形式等、開催方法を工夫しました。各園との情報共有を意識的に実施し、3園での入居候補者の受け入れ相談を行うことで、法人全体の稼働率の安定につなげることができました。また、今年度は相談員の異動や新任人事があったため、チームワークの向上をより意識して活動しました。

(4) 人権尊重・権利擁護への取り組み

高齢者虐待防止・身体拘束適正化のための法定研修を、生活相談員が中心になって、それぞれ年2回実施しました。また、前年度から引き続き「虐待の芽チェックリスト」を全職員で実施し、高齢者虐待防止の意識の向上に努めました。対面形式での研修は各課の業務上の都合で難しく、動画視聴や問題形式の開催となりましたが、全職員が権利擁護意識を高められるように内容を工夫して実施しました。

別紙「ベッド稼働状況月間・年間平均集計」「ショートステイ利用状況」「特養入退居状況」「入居者内訳（従来型）」「退居者内訳（従来型）」「入居者内訳（ユニット型）」「退居者内訳（ユニット型）」「保険者別入居者状況（従来型）」「保険者別入居者状況（ユニット型）」「入

居者の日常生活自立度」「入居者性別・年齢別構成状況」「階層別負担者割合一覧（従来型）」「階層別負担者割合一覧（ユニット型）」「要介護度認定結果分布状況（従来型）」「要介護度認定結果分布状況（ユニット型）」を参照

ベッド稼働状況月間・年間平均集計

	A. 特養本体 (%)		B. ショートステイ専用 (%)	備考
	従来型	ユニット型		
令和 5年 4月	98.8	100	30.0	
5月	99.8	99.6	54.8	
6月	99.8	99.4	25.6	
7月	98.1	96.4	21.5	
8月	97.3	100	26.9	
9月	96.3	100	11.1	
10月	94.4	98.0	16.1	
11月	96.6	94.3	25.6	
12月	99.8	97.0	24.7	
令和 6年 1月	99.8	98.6	32.3	
2月	97.8	90.0	16.1	
3月	100.3	90.1	6.5	
年間平均	98.2	97.0	24.3	

A ; 従来型は定員150床、ユニット型は定員18床に対するベッド稼働率

B ; 専用3床に対するベッド稼働率

ショートステイ利用状況

年月	実 人 員			延 日 数			1日当り 平均利用人数
	男性	女性	計	男性	女性	計	
令和5年 4月	1名	3名	4名	4名	23名	27名	0.9名
5月	1	4	5	20	31	51	1.6
6月	1	3	4	3	20	23	0.7
7月	0	3	3	0	20	20	0.6
8月	0	5	5	0	25	25	0.8
9月	0	2	2	0	10	10	0.3
10月	0	3	3	0	15	15	0.4
11月	1	3	4	4	19	23	0.7
12月	0	4	4	0	23	23	0.7
令和6 1月	1	3	4	5	25	30	0.9
2月	0	2	2	0	14	14	0.4
3月	0	1	1	0	6	6	0.1
合 計	5	36	41	36	231	267	0.7

特養入退居状況

年月	前月末 現在	本 月 中 入 退 居														本月末 現在
		入居							退居							
		家庭	介護老人保健施設	病院	有料老人ホーム	サービス付高齢者向け住宅	その他	計	死亡（ 内は園内・再掲	長期入院	介護保険施設	他の介護福祉施設	家族引取	系列施設	計	
令和5年 4月	169	0	2	2	0	0	1	5	1 (1)	0	0	0	0	0	1	173
5月	173	1	1	1	0	0	0	3	2 (2)	1	0	0	0	0	3	173
6月	173	3	0	0	0	0	0	3	4 (3)	0	0	0	0	0	4	172
7月	172	1	1	2	0	0	0	4	6 (3)	0	0	0	0	0	6	170
8月	170	1	3	0	0	0	0	4	5 (3)	0	0	0	0	0	5	169
9月	169	1	3	0	0	0	0	4	1 (1)	1	0	0	0	0	2	171
10月	171	0	0	2	1	1	1	5	5 (2)	2	0	0	0	0	7	169
11月	169	1	2	2	0	0	0	5	2 (2)	2	0	0	0	0	4	170
12月	170	1	3	2	0	0	1	7	3 (2)	1	0	0	0	0	4	173
令和6年 1月	173	0	1	1	0	0	0	2	2 (1)	1	0	0	0	0	3	172
2月	172	2	2	2	1	0	0	7	4 (3)	1	0	0	0	0	5	174
3月	174	0	0	0	0	0	0	0	4 (4)	0	0	0	0	0	4	170
合計		11	18	14	2	1	3	49	39 (27)	9	0	0	0	0	4 8	

入居者内訳（従来型）

男女比			月間受け入れ数		保険者別		
性別	人数	%	月	人数	保険者	人数	%
男	13	27.6	4月	5	羽村市	19	37.9
女	34	72.4	5月	3	青梅市	5	11.1
合計	47	100.0	6月	3	瑞穂町	4	8.9
入居時介護度内訳			7月	4	昭島市	3	6.7
介護度	人数	%	8月	4	福生市	3	6.7
要介護2			9月	4	あきる野市	3	6.7
					武蔵村山市	2	4.4
要介護3	17	36.1	10月	5	東久留米市	1	2.2
要介護4	14	29.8	11月	5	練馬区	1	2.2
要介護5	16	34.0	12月	5	日野市	1	2.2
合計	47	100.0	1月	2	小平市	1	2.2
入居前施設別			2月	7	東大和市	1	2.2
前所	人数	%	3月	0	江戸川区	1	2.2
医療機関	14	31.1	平均	3.9	明石市	1	2.2
在宅	11	17.7			双葉郡檜葉町	1	2.2
老健	18	37.8					
有料	2	6.7					
その他	2	6.7					
合計	47	100.0			合計	47	100.0

退居者内訳（従来型）

男女比			退居者在園期間		退居理由内訳		
性別	人数	%	在園期間	人数	退居理由	人数	%
男	13	31.0	10年以上	4	永眠	36	81.0
女	31	69.0	8～9年	2	長期療養	8	19.0
合計	44	100.0	7～8年	3	ご家族意向		
退居時介護度内訳			6～7年	2	合計	44	100.0
介護度	人数	%	5～6年	1			
要介護1			4～5年	2			
要介護2	1	2.4	3～4年	3			
要介護3	4	9.5	2～3年	6			
要介護4	20	47.6	1～2年	8			
要介護5	19	40.5	1年未満	12			
合計	44	100.0	合計	44			

入居者内訳（ユニット型）

男女比			月間受け入れ数		保険者別		
性別	人数	%	月	人数	保険者	人数	%
男	1	50.0	4月	0	羽村市	2	100.0
女	1	50.0	5月	0			
合計	2	100.0	6月	0	合計	2	100.0
入居時介護度内訳			7月	0			
介護度	人数	%	8月	0			
要介護2	1	50.0	9月	0			
要介護3							
要介護4			10月	0			
要介護5	1	50.0	11月	0			
合計	2	100.0	12月	2			
入居前施設別			1月	0			
前所	人数	%	2月	0			
			3月	0			
医療機関			平均	0.2			
在宅	2	100.0					
有料							
老健							
その他							
合計	2	100.0					

退居者内訳（ユニット型）

男女比			退居者在園期間		退居理由内訳		
性別	人数	%	在園期間	人数	退居理由	人数	%
男	2	50.0	10年以上	0	永眠	3	75.0
女	2	50.0	9～10年	0	長期療養	1	25.0
合計	4	100.0	8～9年	0	ご家族意向		
退居時介護度内訳			7～8年	0	合計	4	100.0
介護度	人数	%	6～7年	0			
要介護2			5～6年	0			
要介護3	1	25.0	4～5年	0			
要介護4	1	25.0	3～4年	2			
要介護5	2	50.0	2～3年	1			
合計	4	100.0	1～2年	0			
			1年未満	1			
			合計	4			

保険者別入居者状況（従来型）

令和6年3月31日現在

保 険 者 名	男性	女性	合計	保 険 者 名	男性	女性	合計
世 田 谷 区	0	1	1	立 川 市	1	2	3
渋 谷 区	0	1	1	三 鷹 市	0	1	1
杉 並 区	0	2	2	青 梅 市	4	7	11
北 区	0	1	1	昭 島 市	2	9	11
新 宿 区	1	0	1	小 平 市	0	2	2
練 馬 区	1	1	2	東 村 山 市	0	1	1
目 黒 区	0	1	1	小 金 井 市	2	0	2
文 京 区	0	1	1	福 生 市	3	14	17
江 戸 川 区	0	1	1	羽 村 市	14	39	53
				瑞 穂 町	1	11	12
				武蔵村山 市	2	5	7
23 区 部 計	2	9	11	東久留米市	0	3	3
埼玉県所沢市	1	1	2	東 大 和 市	0	4	4
埼玉県入間市	1	0	1	府 中 市	0	1	1
埼玉県桶川市	0	1	1	あきる野市	0	5	5
山梨県甲府市	0	1	1	日 野 市	1	0	1
福島県双葉郡檜葉町	0	1	1	新 島 村	1	0	1
他 県 市 部 計	2	4	6	都 内 市 部 計	31	104	135
合 計	男性 35 名		女性 117 名		全体 152 名		

保険者別入居者状況(ユニット型)

令和6年3月31日現在

保険者名	男性	女性	合計
羽村市	4	12	16
瑞穂町	1	1	2
都内市部計	5	13	18
合計	男性5名	女性13名	全体18名

入居者の日常生活自立度

令和6年3月31日現在

障害高齢者の日常生活自立度			認知症老人の日常生活自立度		
	従来	ユニット		従来	ユニット
障害なし	0	0	認知症の症状なし	0	0
生活自立J1	2	0	I	1	1
生活自立J2	0	0	II a	3	0
準寝たきりA1	3	1	II b	20	1
準寝たきりA2	32	5	III a	65	6
寝たきりB1	16	3	III b	50	9
寝たきりB2	80	8	IV	13	1
寝たきりC1	7	0	M	0	0
寝たきりC2	12	1			
合計	152名	18名	合計	152名	18名

入居者性別・年齢別構成状況

令和6年3月31日現在

	男 性	女 性	計
100歳以上	0	5	5
95歳以上 ～ 100歳未満	2	19 (3)	21 (3)
90歳以上 ～ 95歳未満	7	24 (4)	31 (4)
85歳以上 ～ 90歳未満	10(2)	37 (4)	47 (6)
80歳以上 ～ 85歳未満	5	20 (1)	25 (1)
75歳以上 ～ 80歳未満	7(1)	8 (1)	15 (2)
70歳以上 ～ 75歳未満	2(2)	3	5 (2)
65歳以上 ～ 70歳未満	0	1	1
60歳以上 ～ 65歳未満	1	0	1
55歳以上 ～ 60歳未満	1	0	1
計	35 (5)	117 (13)	152 (18)
最 高 年 齢	99.9歳	104.4歳	
最 少 年 齢	56.2歳	68.5歳	
男 性 平 均 年 齢	83.9歳		
女 性 平 均 年 齢	88.5歳		
全 体 平 均 年 齢	87.6歳		

ユニット入居者は（ ）で記載

階層別負担者割合一覧（従来型）

令和6年3月31日現在

	第1段階		第2段階		第3段階①		第3段階②		第4段階	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
食費	300円		390円		650円		1,360円		食費 1,500円	
居住費(個/多)	320/0円		420円/370円		820円/370円		820円/370円		1,171円/855円	
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
要介護2	0	0	1	0	0	1	0	4	2	1
要介護3	0	4	0	3	2	4	3	7	9	14
要介護4	1	2	1	7	0	6	4	12	8	29
要介護5	0	1	0	1	0	3	1	5	3	12
合計	1	7	2	11	2	14	8	29	22	56
各階層比率	5.3%		9.3%		10.5%		24.3%		50.6%	

国が示す「基準となる費用額」は、食費は日額1,445円、居住費は、従来型個室が日額1,171円。多床室が日額320円であり、第1段階から第3段階までの方は、補足給付がある。

階層別負担者割合一覧(ユニット型)

令和6年3月31日現在

	第1段階		第2段階		第3段階		第3段階②		第4段階	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
食費	300円		390円		650円		1,360円		1,500円	
居住費	820円		820円		1,310円		1,310円		2,006円	
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	0	0	1	0	0	0	1	2	1	3
要介護4	0	0	0	0	0	0	0	3	1	1
要介護5	0	0	0	3	0	0	0	0	1	1
合計	0	0	1	3	0	0	1	5	3	5
各階層比率	0%		22.2%		0%		33.3%		44.5%	

要介護度認定結果分布状況（従来型）

令和6年3月31日現在

	要介護1			要介護2			要介護3			要介護4			要介護5		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
契約入居者	0	0	0	3	6	9	14	33	47	14	54	68	4	24	28
旧被措置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	3	6	9	14	33	47	14	54	68	4	24	28
各要介護度比率	0%			5.9%			30.9%			45.0%			18.4%		
従来型平均要介護度	3.79														
全体平均要介護度	平均要介護度 3.79														
居住棟別	2A:3.84 2B:3.70 2C:3.81 3A:3.96 3B:3.48 3C:4.00														

要介護度認定結果分布状況（ユニット型）

令和6年3月31日現在

	要介護1			要介護2			要介護3			要介護4			要介護5		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
契約入居者	0	0	0	0	0	0	1	5	6	4	3	7	1	4	5
旧被措置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	1	5	6	4	3	7	1	4	5
各要介護度比率	0%			0%			33.3%			38.9%			27.8%		
ユニット平均介護度	4.00														
全体平均要介護度	平均要介護度 3.79														
居住棟別	1A:3.56 1B:4.00														

栄養課 事業報告

1 栄養課事業計画目標の総括

(1) 食生活の充実と満足度の向上を図る。

① 郷土料理や新メニューを提供した際はミールラウンドを行い、ご入居者から味の感想やご意見を伺い、職員からはご入居者の反応を聞き取り調査しながら、給食ソフト内掲示板にて3園栄養課内で情報共有しました。食事満足度調査では、1年を振り返りアンケートを実施してもらいましたが、「覚えていない」「忘れた」などのご意見も多くありました。一方、海外の郷土料理で特にパン食は好評で記憶に残っている方も多くおられました。今後は日々ご入居者のご意見を参考に栄養課一同、食事サービスの満足度向上を図っていきます。

次年度は、前年から直営へと転籍となった調理職員と共に栄養課全体で取り組み、食事満足度向上に努めたいと思います。

(2) 共通献立の安定供給に努める。

① 各園での計画生産品の2次加熱環境の見直しを行いました。

3園共通の献立は一部むさしの園（センター）で計画生産調理され、各園（サテライト）に配送し提供されます。これまで園によって味に差があることが問題視されていました。献立兼調理指示書であるマニュアルの不具合も有りますが、調べていくうちに各園で加熱温度や時間に大きく違いがあることがわかりました。そこで、2次加熱をするための温度や時間などをマニュアル化する事で、均一した味の提供ができる様取り組みました。ユニットケアのけやき園・もみの樹園（サテライト）の食事準備時間や人員配置などの違いもあり、2次加熱の温度に40℃近く差があり、加熱の条件にも少しずつ違いがあることがわかりました。しかし、いずれもその施設ごとに必要なことであり、調理する環境が違う為、共通にすることは困難であるとの結果になりました。今後は計画生産されるものは誰が作っても均一した味となるように、献立兼調理指示書であるマニュアルの更なる見直しと、各園での再加熱後の味は、検食簿やご入居者のご意見を参考に各園で調整し、より満足していただける食事提供につなげられるよう取り組んでいきます。

② 過剰な作業の見直しを行いました。

「とにかく柔らかく」と、時間をかけて（10～20分）下茹でしたところで、下茹でする前と硬さにあまり変化のない食材や、「そのまま使える〇〇」シリーズであえて茹でているなど、作業時間や光熱費の無駄だと思うものを見直しを行いました。食材の大きさが刻み程度の物は色留め（青みを綺麗に仕上げる）やえぐみを取る程度の下茹時間に変更。「そのまま使える〇〇」シリーズは、一般ではそのままでも高齢者向けなのかも試食検証しました。現在の冷凍・加工技術の発展もあり、以前よりえぐみも少なく、そのまま使用できるものは、あえて手を加えないことにより衛生的にも安心・安全に使用できるとの結果になりました。

今後は、各園の調理環境に合わせ共有し、更に検証食材を検討しながら作業効率や光熱費のコスト削減に努めたいと思います。

(3) 労働人口減少に向け費用対効果を意識した食材の検討を図る。

① むさしの園（センター）で行われている計画生産品の見直しを行いました。

現在は2回加熱（1次加熱と2次加熱）しても美味しく提供できる料理に限っていましたが、もみの樹園の長期にわたる人員不足が蔓延化し、1日の必要人員確保が困難な為、むさしの園での計画生産品の対象献立拡大の検討を行いました。計画生産品を増産することになると、今まで1人で行っていた計画生産者が最低2人は必要な事。むさしの園では計画生産ラインと当日の3食（朝・昼・夕食）の提供ライン2つが存在し、限られた機械数の中でどのように行っていくのか検証を行いました。

次年度は、むさしの園でも欠員があることや職員の募集をかけても人材が集まらない事、むさしの園（センター）でもこれから先、人材確保が困難になるであろう事も考慮しながら、1週間ほど計画生産の増産を行い、むさしの園（センター）とけやき園・もみの樹園（サテライト）での検証を行い、3食の安定供給に努めていきたいと思えます。

② 完全調理済食品取扱業者の見積もり比較検討を行いました。

むさしの園で計画生産品の増産をしたところで、一番手間のかかる極刻み・ペースト食の加工時間の削減につながらない事は検証済みの為、すべての食材・料理に関して完全調理されている食材・献立の導入を検討し、試食会や見学会を行いました。

次年度は、現在のもみの樹園の残業時間や今使用している給食ソフトの維持費、極刻み・ペースト食に加工する光熱費や機械の修理費などを含め、費用対効果を考えながら、これからも安心・安全に食事が提供し続けられる職場環境の見直しを図っていきます。

(4) ベッド稼働を意識した食数管理を行い、安定した食材管理を行う。

① 入院や退所、職員出勤人数の増減により食数の乖離が大きい月もありましたが、小まめに食数変動の調整を行うことで予定食数と実施食数の乖離を抑えるよう取り組みました。また、余分な食材を持たないよう可能な限り当月内で処理を行い、月末在庫の削減に努めました。引き続き食材管理の徹底を図ってきたいと思えます。

② 今年は、2022年に発生した鶏インフルエンザの影響により、卵や卵製品が入荷されない状況が続き、卵の価格上昇がありました。その他にも、人件費や材料コストの高騰や円安・気候変動の影響に伴い食材の高騰がありました。そのような状況下で、少しでも安価な商品への切り替えを実施しましたが、給食材料費は前年比3.3%増となりました。

今後は納品業者の物流2024年問題による取り扱い食品の縮小や、更なる物価高の影響が考えられます。こうした影響を踏まえ、給食単価適正価格に見合った食糧構成の見直しを行い、ご入居者の栄養管理と共に安定を図っていきます。

2 活動報告

(1) 栄養ケアマネジメントの実施

6月・9月・12月・3月の年4回実施しました。各部署との連携を図り、ご入居者の身体計測・臨床検査等の情報をオンラインで収集し、食事摂取状況を比較しながら栄養状態のスクリーニングを行い、そのデータを参考に嘱託医による低栄養のリスクレベル判定を実施しました。

このスクリーニングと各部署からのご入居者の一人ひとりの情報をもとにアセスメントを実施し、栄養ケア計画書の作成を行いました。モニタリングは高リスクについては2週間ごと、低・中リスクは月に一度行い、体重測定の後に行いました。

表—1「スクリーニング実施状況表」参照

表—1 「スクリーニング実施状況表」

頻度 リスク別	66 回目 6 月	67 回目 9 月	68 回目 12 月	69 回目 3 月
低リスク	122 名	126 名	130 名	126 名
中リスク	29 名	33 名	33 名	34 名
高リスク	9 名	6 名	7 名	7 名

※リスクとは、低栄養の状態が低い、高いかで、高リスクとは低栄養のリスクが高い事を示します。

(2) 食事サービスの向上のための会議実施

① 食事サービス委員会

偶数月第1水曜日の14:00~14:30の時間帯で開催しました。

業務都合により書面開催もありました。

管理栄養士が司会進行を行い、議事録作成は各部署で持ち回りにて行いました。介護課の各ブロック・ユニット及び各部署の食事サービス委員が出席し、より良い食事サービス提供を目的として話し合い、食事サービスの向上につながるよう努めました。

② 厨房会議

毎月第1木曜日14:00~14:45の時間帯で開催しました(行事のある月は行事の日)開催。施設栄養士と給食委託調理職員が出席して、より良い食事サービス提供を行い、食事サービスの向上につながるよう努めました。

(3) 非常食の管理

非常食用食材の管理と賞味期限の維持に努めました。

賞味期限が切れる商品から順次、新メニューへの商品と切り替えていきました。次年度も継続して行っていききたいと思います。

(4) 年間行事食の実施

年4回、季節の旬の食材を使用した松花堂弁当の提供と、3施設で郷土料理の月を同じ地域にし、園盛会共通のサービスの提供を実施しました。

表—2 「令和5年度 むさしの園栄養課行事食実施表」参照

表—2 「令和5年度 むさしの園栄養課行事食実施表」

月	郷土料理実施地域	松花堂テーマ
4月	アメリカ合衆国	晩春
5月	福井県	
6月	新潟県	梅雨
7月	愛知県	
8月	スペイン王国	
9月	佐賀県	
10月	東京都	
11月	茨城県	晩秋

1 2月	岡山県	
1月	徳島県	
2月	神奈川県	初春
3月	大韓民国（韓国）	

(5) デザートバイキング

5月の第3水曜日 14:00~15:00の時間帯で実施いたしました。

(6) アイスクリームバイキングの実施

7月と8月に手作りおやつ代わりに実施しました。アイスクリームの種類とトッピングはご入居者に選んでいただき、目の前で盛り付け提供しました。盛り付け台には装飾を施し、雰囲気も一緒に味わっていただきました。

(7) 選択食の提供

毎週金曜日を原則として、2種類の主菜からご入居者に選んでいただき、選ぶ楽しさを感じていただき、より一層楽しい食生活の充実を図りました。また、主菜に限らずデザートなども実施しました。

(8) 嗜好調査・食事満足度調査の実施

① 嗜好調査

食事摂取状況や選択食のアンケート集計により、ご入居者の嗜好の把握に努めました。

② 食事満足度調査

食事満足度調査期間：令和5年12月1日（金）～令和5年12月10日（金）

（ショートステイを除く）

ご入居者へ毎日の食事や、国外を対象とした行事食についての感想やご意見等をアンケート調査しました。今後の食事サービスの向上につなげていきたいと思っております。

(9) 衛生管理

以下の衛生管理項目について、その確実な実施に努めました。

- ・ 毎朝・夕残留塩素の測定の実施（記録あり）
- ・ 寿司の日に実施する年3回の大掃除と掃除当番表の活用
- ・ 毎日終業時、手の触れる部分の次亜塩素酸消毒
- ・ 衛生管理マニュアルに沿った衛生管理の徹底
- ・ 健康管理に留意（チェックリスト記録）
- ・ 毎月の検便検査
- ・ 食器消毒保管庫による食器の温度消毒の実施（90度以上・30分以上）
- ・ 中心温度の測定（加熱食品の中心温度85度以上・1分）

Ⅲ デイサービスセンター多摩の里むさしの園 事業報告

1 事業計画目標の総括

(1) 「安心してご利用いただける事業所づくり」について

ご利用者が落ち着き過ごせる環境作りに努めました。ダイルールの装飾は季節感を感じる事が出来る明るい雰囲気を意識した室内装飾を施しました。ご利用者同士の関係性にも気を配り、座席の位置や機能訓練を兼ねた活動においても気の合う方同士、そうでない方の関係性等に配慮しました。ご家族に対しては、ご利用者自身がお利用時の様子を伝える事は難しいことから、日頃の活動を写真等を用いてこまめに発信したことで、ご家族の安心に繋がり信頼関係を築くなかで、利用継続を図ることができました。

(2) 「余裕を持てる業務遂行を図る」について

送迎では、ご利用者の人数や、福生市、瑞穂町在住のご利用者等により時間が掛かる場合があります。追加の臨時利用の対応等では、臨機応変に効率よくスムーズに行える様にこまめな送迎ルートの見直しや、2台の送迎車で連携を密に行う等、時間短縮に努めました。午前中は入浴対応の時間となり、職員2人対応を要するため、午後の時間を有効活用する様に業務の見直しを行いました。当然、ご利用者の状態によってはマンツーマン対応を強いられる状況等もあり、予定通りに進まない事もありました。職員それぞれが時間の有効活用の意識を持つ事で効率良く業務を行えたのではないかと思います。

(3) 「ランニングコストの無理のない運用を行う」について

空調管理についてはコロナ対応もあり、ダイルールの喚起を行う為に2方向の窓の開放を常時行いました。冬季など冷気が入る状況では、カーテン等を使用して、冷気を遮断しながら換気を行いました。ご利用者の声にも配慮したうえで室内温度が適温になるよう、無駄のない暖房に心掛けました。夏季においても電気代の高騰を踏まえ、日の射す場所はカーテンで遮光する等して、節約の意識を持ち冷暖房を使用しました。

(4) 「通年の安定した稼働率を保つ」について

今年度はコロナ感染症に関わる休業日が4日間、コロナに感染して欠席となったご利用者は延べ3人となりました。年間を通して新規登録者は7名のうち、3名が福生市在住でした。営業活動は、市内の他、瑞穂町、福生市の居宅介護支援事業所を重点的に行いました。当事業所の特色である「少人数でお一人おひとりに寄り添った手厚い対応」を前面に打ち出したパンフレットを作成して実施しました。営業活動における反省点は、特色を十分にアピール出来なかった点です。新規登録者数は一昨年の11名から7名に減少し、年間稼働率は60.8%から55%への落ち込みとなりました。原因としては、入院や施設入所等による登録抹消者に対して新規登録者が思う様に獲得できなかった点にあります。本部営業担当者との連携、相談等を行いながら、次年度は安定した新規登録者の獲得が必須と捉え、営業活動や日頃の対応に危機感を持って稼働率回復に取り組んでいきます。

別紙「令和5年度月別通所利用実績表」を参照

2 活動報告

(1) 下肢運動の充実

日常的に機能訓練を行うにあたり、下肢運動の取り組みを重点的に行いました。在宅生活を継続する上で下肢筋力を維持する事は欠かせません。利用日の午前は、健康チェック後に座ったままで足先の運動を日課的に行いました。午後は数種類購入した器具等を使い、幅広く認知症のご利用者でも簡単に出来る運動を取り入れて実施しました。ご利用者によっては職員が個別対応を行い、全員の方が下肢運動を行える様にしました。安全面に配慮をしながら出来るだけ歩行する機会を設けて園庭の散歩も通年で行いました。

(2) 防災の備え

昨今の災害は地震、風水害等いつどこで起きてもおかしくない状況です。防災に対する意識を日頃の活動の中で自然に感じていただけるような取り組みを行いました。具体的には、災害時に必要不可欠となる水をリュックサックで背負う、非常食のパンを試食、新聞紙を使ってスリッパを作る等の体験をしていただきました。また、映像を交えながら、各地で起きている災害についてご利用者への説明を行うなかで、備えの大切さ等を共有しました。ご家族へも出来あがったスリッパを持ち帰ってもらい、地震のデータのチラシを配布する等した所、「備えに対する意識が高まった」とのお声をいただきました。ご利用者からは「地震が多いから怖い」「何も準備していない」等と真剣に受け止めているご様子が伺えました。

令和5年度月別通所利用実績表

令和5年4月～令和6年3月

月別 項目別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年比
通 所	月初 登録者数	18	18	18	18	18	19	19	18	18	17	17	17		
	通所者数	170	157	138	143	165	154	108	139	125	127	123	119	1,668	89.3%
	稼働日数	21	23	21	22	23	21	18	22	21	20	21	21	254	98.8%
	昼食	170	157	138	143	165	154	108	139	125	127	123	119	1,668	89.3%
	健康 チェック	170	157	138	143	165	154	108	139	125	127	123	119	1,668	89.3%
	入浴者数	81	83	68	74	82	76	66	83	77	77	74	73	914	97.8%
	1日平均 利用者	8.1	6.8	6.6	6.5	7.2	7.3	6.0	6.3	6.0	6.4	5.9	5.7	6.6	135.1%
新 登 録	新規	1	0	1	1	1	0	0	0	1	1	1	0	7	63.6%
抹 消	死亡	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	他施設 入所	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	3	
	長期入院	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	当園入所	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	3	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	月末 登録者数	18	18	18	18	19	18	18	18	18	17	17	17	17	213

令和5年度 デイサービス行事・祭事、主な活動実施状況

実施月	活動内容
4月	桜の花見 根がらみ水田チューリップ見学 オンライン音楽レク オンライン体操レク
5月	よもぎ団子作り 秋留台公園バラ見学 防災の備え オンライン体操レク オンラインレク トマト、スイカの苗植え
6月	夏越の祓い オンラインコンサート バラのポプリ作り 五ノ神神社まいまいず井戸見学
7月	オンライン音楽レク 納涼祭（施設行事）
8月	オンライン音楽レク オンライン体操レク お楽しみ会 防災の備え
9月	非常食体験会 デイ敬老の会 敬老の会（施設行事） オンライン音楽レク
10月	オンラインツアー オンライン音楽レク
11月	オンライン体操レク 餅つき（施設行事） だるま作り ボランティア「劇団よしよし」 オンラインコンサート 焼き芋大会（施設行事）
12月	デイクリスマス会 クリスマス会（施設行事） オンラインレク オンラインツアー ボランティア「ケムバンド」演奏会
1月	初詣青 梅新町御嶽神社外出援助 オンラインレク ボランティア「ケムバンド」演奏会 防災の備え
2月	節分豆まき（施設行事） ひな人形展映像紹介 ひな人形作り オンラインレク
3月	お彼岸ぼた餅作り オンラインレク ボランティア「ケムバンド」演奏会 米国音楽隊演奏会（施設行事）
通年	散歩 体操 上下肢運動 足温浴
毎月	カレンダー作り 誕生日会

IV 特別養護老人ホーム 多摩の里けやき園

施設の概要

1 利用定員 特別養護老人ホーム 多摩の里けやき園 (ユニット型) 111 名
 老人短期入所事業(ショートステイ多摩の里けやき園) 併設 3 名
 空床利用 9 名

2 事業開始 平成 17 年 4 月 1 日

3 所在地 〒203-0034 東京都東久留米市弥生 2 丁目 1 番 18 号
 T E L 042-460-8151 F A X 042-460-8152

4 職員体制

(令和 6 年 3 月 31 日現在)

部 署	職 名	常 勤	非常勤	合 計	備 考
管理者	施設長	1		1	
総務課	事務長	1		1	
	事務員	1	1	2	
	営繕		1	1	
	宿直員		3	3	
介護課	介護職員	37	12	49	介護支援専門員兼務 3 名
医務課	嘱託医師(内科・精神科)		3	3	委託契約
	看護職員	3	1	4	
	機能訓練 理学療法士	1	1	2	
栄養課	管理栄養士	1		1	
	調理師		6	6	
生活課	生活相談員	2		2	介護支援専門員兼務 2 名
経営企画室	教育企画担当				
介護支援専門員		兼務 5		兼務 5	
合 計		47	28	75	

他 産業医 (1 名) 委託契約

多摩の里けやき園 事業報告

1 感染症の関連事項

(1) ご入居者の感染状況

令和5年度は、入院先でご入居者1名の新型コロナウイルス陽性が確認されましたが、園内での感染者はいませんでした。

例年、高齢者施設に発生しやすい、インフルエンザやノロウイルス等の感染症の発生は、0名とこれまでの感染対策の有効性が現れた結果になりました。

(2) 職員の感染状況

東京都や日本財団によるPCR検査の結果、新型コロナウイルス陽性疑い者については、嘱託医と連携し、即日再検査を行い、感染者の早期発見に努めました。結果、陽性疑い者となった職員3名の内、1名が陽性と診断されました。年間の陽性者は、職員19名、職員の家族12名でした。令和4年度は、ご入居者6名、職員21名、職員の家族21名の為、第5類に移行後は感染者の減少がみられました。

インフルエンザの陽性者は、職員8名、職員の家族6名と、11月から2月の流行期での感染がありましたが、ご入居者への感染には至らず防ぐことができました。

(3) ご家族との面会状況

厚生労働省の通知により、令和2年2月26日から面会制限を開始し、現在までの感染状況により、令和5年度内での面会制限の解除には至っておりません。

7月からは、週ごとに2ユニットでの居室面会を実施しております。看取りの方には、別途、居室面会にて対応しました。

(4) ワクチン接種状況

嘱託医2名の協力のもと、施設内にて希望者を対象に2回のワクチン接種を行いました。

4回目以降は、接種を希望する職員は6割程度でしたが、副反応を考慮して、接種日を分散することで業務への影響を抑えました。

・6回目：6月21日-7月12日 5回実施 ご入居者91名、職員33名 合計124名

・7回目：11月15日-11月28日 4回実施 ご入居者91名、職員27名 合計118名

2 ICT導入に関する活動報告

第三者評価の改善計画に基づき、令和4年2月にICT検討委員会を立ち上げ、東京都の補助金決定の通知を受け、3月には全部署に向けた職員説明会を開催し、5月より見守り機器の眠りスキャンと記録システムと連動したiPadの導入を開始しました。令和5年度からの第6次中期経営計画により、ICT化に関しては、3園合同による園盛会DX会議に移行になり、園内の導入後の検証に関しては、介護課役職者会議及びフロア会議に移行しました。12月には、職員アンケートを実施して、検証結果の共有や今後の運用について協議しました。

総務課 事業報告

1 総務課事業計画目標の総括

- (1) 5月8日からの新型コロナウイルス5類への移行後も、職員の毎週のPCR検査の実施及び施設に入館する職員、ご家族、業者、他来園者全員の手指消毒励行、体温測定・体調確認を行い、施設への感染症の進入防止に成果を上げました。
- (2) けやき園は開設以来19年が経過し、建物、機械・電気設備に老朽化が目立って来ましたが、日常の保守・点検の実施により大きなトラブルなく稼働してきました。
しかし、今後は経年劣化がより進行することが予想され、ご入居者へのサービス・保安に影響する設備機器の交換が必要になることが予想されますが、費用対効果も考慮し対応します。
- (3) 保険請求については、年度内に2件の返戻再請求が発生しましたが、いずれも保険者による新規入所者の情報入力遅延が原因でした。今後も、保険請求ミスの無いよう入力チェックをしっかりと行います。

2 活動報告

- (1) 新型コロナウイルスなどの感染症の予防策として、施設を出入りする全員を対象とした体調確認と記録表への記入を徹底し、感染症の進入・まん延防止に効果を上げつつ、4月から6月まではパーティション面会だった面会を7月からは居室面会に切替え、ご入居者とご家族のコミュニケーションの機会を多く取れるように配慮しました。
一方で、感染防止のための換気・空調設備などを活用し、コロナの影響で業務に支障が出ないよう職場環境の維持に努めました。
- (2) スタンダードマニュアルを活用した業務の効率化を図り、ムダの無い業務に努めました。
- (3) 介護保険給付費の請求と国保連の支払通知の照合、個人利用料の請求と引落とし結果の照合を徹底し、請求業務をミスなく遂行しました。
- (4) 令和5年度の光熱水費については、使用量は電気が-1.5%、ガスが+5.4%、上下水道が+3.5%でした。一方、使用料金は電気が+2.6%、ガスが-23.9%、上下水道が+3.8%の結果でした。特に、昨年度高騰したガス料金については、単価が落ち着いてきたこともあり料金が抑えられましたが、今後も気を緩めず光熱水の適切な利用を目指します。
- (5) 今年度は、自衛消防審査会にけやき園も参加し優秀賞を受賞しました。これからも、万一の災害時には速やかに対応出来るよう全職員が訓練を重ね、ご入居者の安心・安全な居住環境を維持するよう努めます。
これらの取組みが評価され、防災業務関係で後述するように施設の防火管理者に東京消防庁予防本部より表彰状が授与されました。
- (6) 事業継続計画(BCP)については、ご入居者、職員の安全・安心を目的にした取組みの必要性を周知し、訓練を実施しました。

《安全衛生関係》

(1) 今年度は、全職員を対象にした定期健康診断を4月6日に実施し、特定業務従事者の健康診断とインフルエンザワクチン接種を11月2日同時に実施しました。健康診断結果については、報告書を作成し管轄の三鷹労働基準監督署に提出しています。

産業医による健康診断結果の精査を行い、必要な職員には産業医との面談を実施しました。

(2) ストレスチェックの実施については、対象職員76名中53名から得た回答をまとめた報告書を作成し、三鷹労働基準監督署に提出しました。

(3) 毎月開催する安全衛生委員会では、感染症の動向資料を基に職員への注意喚起を行い、職員の感染症への注意意識の維持に努めました。

また、産業医による職場巡視・指導及び健康診断結果から必要な職員との面談を通じ、職場環境・個々の健康維持への意識を高めるよう指導しました。

(4) 環境衛生については、後ページの「主な消毒・清掃実施状況」及び「主な点検・検査実施状況」を参照。

安全衛生会議開催状況

開催日	議題
令和5年4月20日	①産業医巡視報告(3月31日実施) ②安全衛生管理・防災管理 ③新入社員の健康管理 ④職場環境・衛生について意見交換
令和5年5月18日	①産業医巡視報告(4月28日実施) ②「新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後の対応について」 ③「無意識の思い込み」のある組織で従業員のモチベーションをあげるポイント ④職場環境・衛生について意見交換
令和5年6月15日	①産業医の巡視は有りませんでした ②産業医より夏の健康管理熱中症予防 ③働く女性の健康 ④職場環境・衛生について意見交換
令和5年7月20日	①産業医巡視報告(6月23日実施) ②食中毒の予防 ③ゼロから学ぼう！男性育休制度について ④職場環境・衛生について意見交換
令和5年8月17日	①産業医巡視報告(7月28日実施) ②季節の変わり目の体調不良に注意！秋の健康管理 ③運動の秋です 秋の健康管理 ④職場環境・衛生について意見交換

開催日	議題
令和 5 年 9 月 21 日	①産業医巡視報告(8月26日実施) ②コロナとインフルエンザ、東京都感染症情報センター報告資料 ③職場環境・衛生について意見交換
令和 5 年 10 月 19 日	①産業医巡視報告(9月22日実施) ②コロナとインフルエンザ、東京都感染症情報センター報告資料 ③職場巡視から見えてくる防災対策 ④職場環境・衛生について意見交換
令和 5 年 11 月 24 日	①産業医巡視報告(10月27日・11月18日実施) ②冬場の健康管理について ③ガン健診について知ろう ④職場環境・衛生について意見交換
令和 5 年 12 月 21 日	①産業医巡視報告(12月16日実施) ②感染症の動向について ③仕事の生産性を上げる睡眠管理術 ④職場環境・衛生について意見交換
令和 6 年 1 月 18 日	①産業医の巡視は有りませんでした ②ストレスチェック結果について ③感染症の動向について ④腰痛予防について ⑤職場環境・衛生について意見交換
令和 6 年 2 月 15 日	①産業医の巡視報告(1月20日実施) ②感染症の動向について ③花粉症について ④衛生管理者より
令和 6 年 3 月 15 日	①委員紹介 ②産業医の巡視報告(2月17日実施) ③インフル・コロナ(2024年8週) ④地震 その時10のポイント ⑤職場環境・衛生について意見交換

職員健康診断実施状況

実施日	実施機関	対象者	受診者数
令和 5 年 4 月 6 日	医)和風会 所沢中央病院	全職員	70名
令和 5 年 12 月 7 日	医)和風会 所沢中央病院	介護従事職員・夜勤従事職員	62名

産業医巡視報告

実施頻度	担当医	内容	実施日
毎月1回	八十川医師	職場環境巡視・職員保健指導	4月28日、6月23日、7月28日、8月26日、 9月22日、10月27日、11月18日、 12月16日、1月20日、2月17日、3月15日

主な消毒・清掃実施状況

実施頻度	業者名	内容	実施日
年4回	サンキ(株)	グリストラップ清掃	6月15日、9月19日、12月19日、3月12日
年2回	サンキ(株)	排水管清掃(超高压ジェットによる洗浄)	6月15日、12月19日
年1回	サンキ(株)	汚水槽雑排槽清掃	9月19日
年1回	(有)ザ・クリーン	貯湯槽清掃	9月17日
年1回	サンキ(株)	貯水槽(受水槽)清掃点検	3月8日
週5日	サクセスプランニング(株) (有)ザ・クリーン	日常清掃	清掃員2名で週5日居住棟共有部清掃
年3回	サクセスプランニング(株) (有)ザ・クリーン	定期清掃 (ワックス清掃・ガラス壁面清掃)	ワックス清掃 6月2日・7日・26日、10月 13日・27日・30日、2月13日・15日・3月6 日 ガラス清掃 7月26日、1月30日
年1回	(株)トーヨー	害虫駆除(残留処理、毒餌処理、 捕獲処理)	全館(厨房含む):5月18日 厨房:7月19日、10月25日、3月15日

主な点検・検査実施状況

実施頻度	業者名	内容	実施日
毎月1回	(株)エムビックらいふ	細菌検査(調理従事職員)	
年6回	関東電気保安協会	自家用電気工作物定期点検	4月17日、6月19日、8月22日、 10月19日、12月19日、2月19日
毎月1回	(株)日立ビルシステム	エレベータ定期点検	毎月の定例点検保守
年1回の法令点検報告	(株)日立ビルシステム	エレベータ定期検査	2月6日
年6回	(株)クマリテコーポレーション	小荷物専用昇降機(ダムウエータ)点検	4月20日、6月14日、8月26日、 10月23日、12月28日、2月7日
年1回の法令点検報告	(株)クマリテコーポレーション	同上定期検査	6月14日
年1回の定例検査	(株)日本分析	水質検査	3月8日
年1回の法令点検報告	社)東京都食品衛生協会	簡易専用水道検査	4月19日
年1回の定例検査	(株)エムビックらいふ	レジオネラ属菌検査(浴槽水質検査)	3月14日
年2回	テクノ矢崎(株)	空調冷温水機冷房(暖房)切替点検	5月13日、10月26日
年4回	日本デオドール(株)	消臭器保守点検	4月20日、7月12日、10月4日、1月17日

《防災業務関係》

(1) 日常防災管理の適切な実施

防火・防災の管理については、全職員が予防意識を持ち、消防計画に定めた予防区域ごとの「日常点検チェック表」を使用して確認を行うとともに、防火管理者による建物及び防火施設、設備の定期的な点検も確実に実施しました。各部署の火元責任者が、毎日の確認を適切に実施し、「自主検査チェック表」に記録しました。

(2) 防災訓練の実施

今年度は、7月14日に東久留米消防署による応急救護講習、11月2日及び3月28日に昼間の火災想定消防訓練、3月11日に東日本大震災の記憶を風化させないようシェイクアウト訓練を実施し、災害への対応強化を図りました。

(3) 防災管理委員会は年4回開催し、毎回自衛消防隊組織編成の確認を行い、全職員の役割の再認識による防災意識の向上を図りました。また、高齢者施設におけるご入居者のケアの継続を目的に事業継続計画(BCP)の重要性を周知し、計画の見直しも行いました。

別紙「防災管理委員会開催状況」を参照

(4) 消防用設備の適正な保守管理

消防用設備の保守管理は、消防設備士を有する設備業者により4月5日及び10月3日に点検を行い、消防法の規定に基づき、東京消防庁東久留米消防署に「消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果報告書」を提出しました。

10月3日の点検では非常用発電設備の蓄電池が期限切れを指摘されたため、整備・交換を実施しました。

(5) 東京消防庁よりの表彰

今年度は、当施設の防火管理者が積極的に業務の推進に努め災害の発生防止に寄与したとして、東京消防庁予防部長より表彰状が授与されました。

(6) 自衛消防審査会について

今年度は東久留米消防署による自衛消防隊の審査会が実施され、けやき園からは2号消火栓（二人操法）に参加し、優秀賞を受賞しました。

防災訓練実施状況

実施日	訓練種別	訓練内容	参加人数
令和 5 年 7 月 14 日	応急救護 訓練	園盛会新入職員 3 名及びけやき園中途 入職者 10 名を対象に、東久留米消防署 による応急救護の基礎知識及び技術の 講習を受けました。	職 員 13 名
令和 5 年 11 月 2 日	総合訓練 (火災想定)	昼間体制時における自衛消防活動要領 を再確認するとともにチームワークの 向上をはかる事を目的に訓練を実施し た。	入居者 107 名 職 員 46 名
令和 6 年 3 月 11 日	総合訓練 (避難訓練)	東日本大震災の教訓を生かすため一斉 防災訓練実施。(シェイクアウト訓練)	入居者 109 名 職 員 49 名
令和 6 年 3 月 28 日	総合訓練 (火災想定)	全館を対象とした昼間の火災想定の消 防訓練を実施しました。 消火器・消火栓による消火訓練を未経 験の職員が体験しました。	入居者 107 名 職 員 41 名

防災管理委員会開催状況

回	開催日	議 題
1	令和 5 年 5 月 18 日	○ 令和 4 年度防火管理について ○ 自衛消防隊組織編成の改定について ○ 自衛消防審査会について ○ 自衛消防訓練について
2	令和 5 年 8 月 17 日	○ 自衛消防審査会について ○ 事業継続計画(BCP)訓練の実施について ○ 大規模災害における地域住民との協力関係について
3	令和 5 年 11 月 24 日	○ 東久留米消防署管内の災害発生状況について ○ 自衛消防訓練について ○ 事業継続計画(BCP)について
4	令和 6 年 2 月 16 日	○ 自衛消防訓練について ○ 事業継続計画(BCP)について

【地域貢献】

(1) 新型コロナウイルス予防を徹底しつつ、地域交流スペースを貸し出し、地域との交流に貢献しました。

主に、社会福祉協議会・地域の自治会、市民への貸し出しを実施しました。

下記「地域還元における施設設備の貸出（地域交流スペース）」を参照

地域還元における施設設備の貸出（地域交流スペース）

主催者名 (講座名・使用目的)	開催日(参加人数)			参加総数
柳自治会 (定例会)	7月30日(9名) 8月27日(10名) 9月17日(47名)	10月8日(8名) 12月10日(8名) 2月4日(7名)	3月17日(8名)	97名
新弥生自治会	3月30日(10名)			10名
東久留米市社会福祉協議会 (住みよいまち弥生)	8月13日(16名) 10月8日(8名)	12月10日(15名)	2月11日(14名)	53名
東久留米市社会福祉協議会 (弥生まつり)	11月12日(55名)			55名

主催者名 (講座名・使用目的)	開催日(参加人数)			参加総数
東久留米市 弥生台自治会 (健笑会、健康体操)	6月24日(19名) 7月8日(18名) 8月12日(22名) 9月9日(20名) 9月23日(17名)	10月14日(20名) 10月28日(19名) 11月11日(22名) 11月25日(23名) 12月9日(20名)	12月23日(22名) 1月27日(23名) 2月10日(19名) 3月9日(25名) 3月23日(20名)	309名
地域交流イベント (歌おう会)	8月22日(9名) 9月26日(11名) 10月24日(11名)	11月28日(11名) 12月26日(11名) 1月23日(6名)	2月27日(12名) 3月5日(7名) 3月26日(7名)	85名
地域交流イベント (サロンやよい)	7月13日(18名) 8月10日(16名) 10月12日(17名)	11月9日(15名) 12月14日(21名) 1月11日(17名)	2月8日(18名) 3月14日(21名)	143名
地域交流イベント (健康年令をのぼそう 会)	1月30日(2名) 2月21日(2名)			4名
合 計				756名

(2) 地域の避難所としての機能強化

けやき園と東久留米市とは、協定を結び大規模災害時の二次避難所としての機能強化に努めてきました。

今回更に、施設近隣の東久留米市柳自治会との協議の結果、「災害時における地域の避難所の開設等に関する協定書」を締結し、二次避難所の機能を妨げない条件のもと地域交流スペースを避難所として提供することとしました。

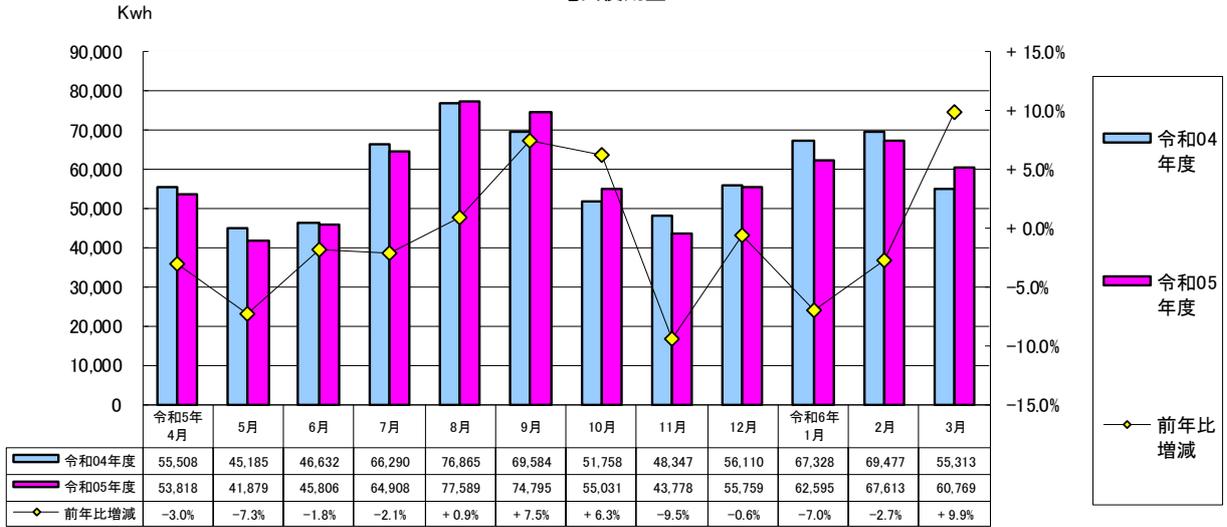
《福祉サービス第三者評価の受審と公表》

評価機関は経営創研㈱を選択し、契約締結のうえで次のとおり福祉サービス第三者評価の過程を踏まえ、令和6年4月に「とうきょう福祉ナビゲーション」に公表しています。

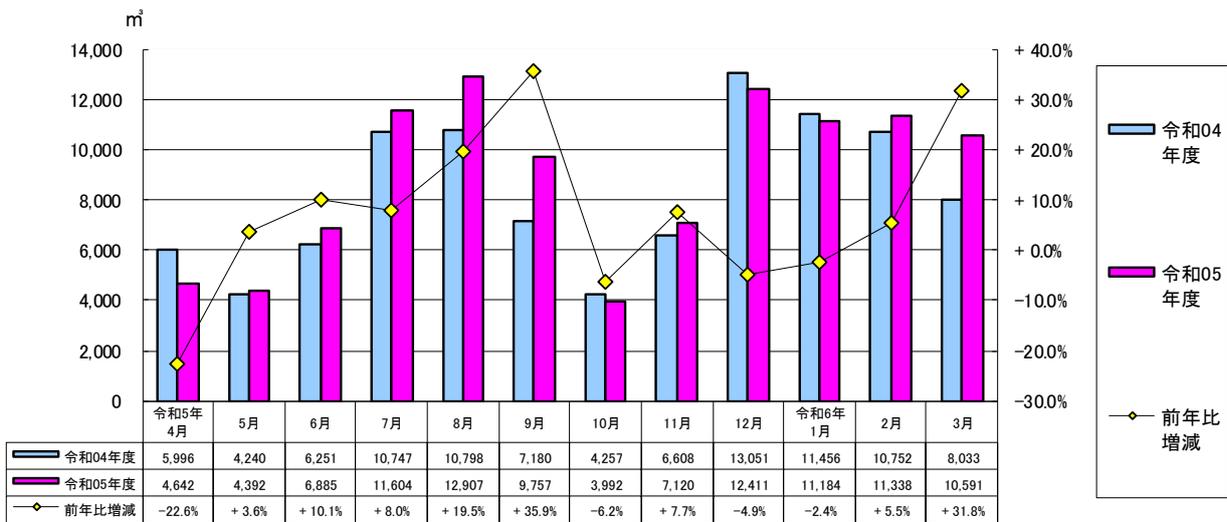
評価過程	実施日	対象人数
契約日	令和5年8月2日	—
利用者調査（面接聴き取り）	令和5年12月14日	14人
利用者調査結果報告日	令和6年2月2日	—
職員自己評価結果報告日	令和6年2月2日	50人
訪問調査日	令和6年2月8日	—
評価合議日	令和6年2月29日	—

令和5年度 けやき園 光熱水使用量

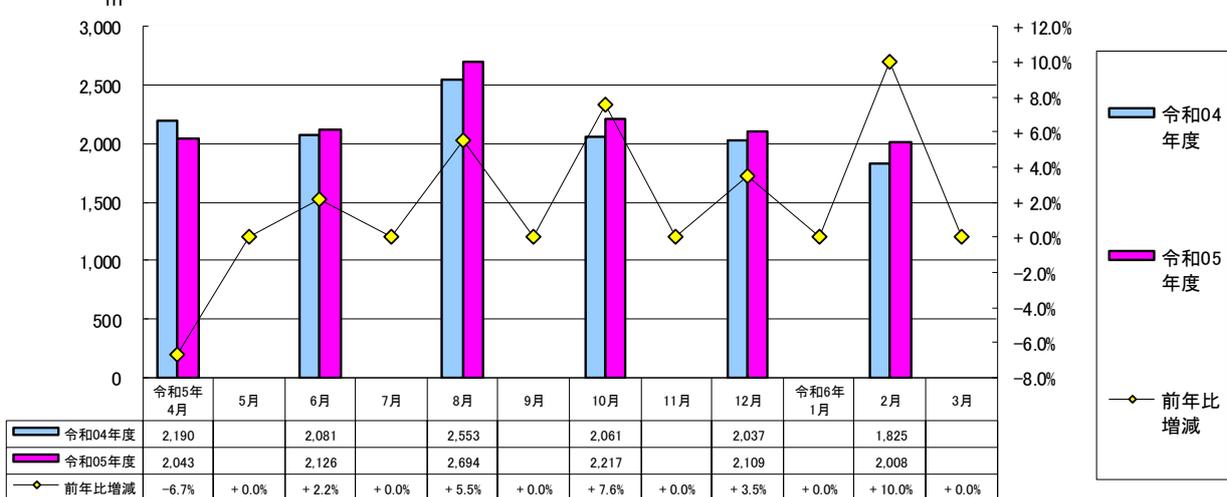
電気使用量



ガス使用量



上下水道使用量



経営企画室 教育・企画担当 事業報告

1 経営企画室 教育・企画担当 事業計画目標の総括

(1) 職員一人ひとりが自己研鑽できる環境の構築を図り、サービスの質の向上を目指す

年間の経営企画室『人材育成計画表』、『職員研修・OJT年間計画表』に沿って、滞りなく実施しました。外部研修では、コロナ禍によりユニットリーダー実地研修が延期されていましたが、今年度は開催された為、計画的に受講することができました。

外国人労働者の採用に伴い、認知症介護基礎研修の受講対象者が増加した為、順次、受講支援を行いました。今後も入職者の取得資格の確認や受講支援を行っていきます。

次年度も各施設、各部署と連携し、職員が自己研鑽できる環境の構築を目指していきます。

また、コロナ禍においても職員一人ひとりが自己研鑽できる環境の構築を目指し、昨年度、むさしの園において試験的導入を行ったネット配信研修サービスを、けやき園でも導入しました。その結果、個人視聴以外にも、新入職員研修や法定研修、部署会議等に活用され「専門家による研修動画が業務の参考になった」「講師の負担軽減に繋がった」との声がありました。

次年度も各部署と連携し、サービスの質の向上を目指していきます。

(2) 担当業務の改善を図り、効率的な業務遂行を目指す

担当者の打合せによる情報共有の他、必要に応じてミーティングを実施し、業務の振り返りや見直し・改善を行い業務の効率化を図りました。9月からは、担当者が産休・育休を取得していますが、各部署にて分担することで滞りなく遂行しています。

(3) 各種業務遂行時にコスト意識を持ち、経費節減に努める

各種の担当業務の遂行において、経費節減と費用対効果の意識を持ち、対応を行いました。

各種の研修や会議等においては、運営上、印刷して保管する必要のない書類のデータ管理の実施や、事前の調整による講師や受講者の移動に係る削減等を実施しました。

また、広報誌においては、各部署からの意見をもとに、広報誌の発行枚数や発送先の見直しを行い、印刷代の低減と担当部署の負担軽減を図りました。

(4) 稼働率の安定に向けて、自法人の認知度向上を図る

広報誌については、3園担当者にて委員会毎に事前の確認や振り返りを行い、改善点について協議を重ねて対応しました。また、昨年度に収集した全部署からの意見をもとに、紙面内容の改善に取り組み、より良い紙面作りに励んでいきます。

ホームページについては、トピックスや広報紙の定期更新、感染症の発生報告等、必要に応じた情報発信を行いました。

2 活動報告

(1) 職員教育に資する研修事業の取り組み

福祉サービスの質の向上を図るため、新入職員および現任職員への施設内研修の実施と行政機関や民間事業者からの研修案内を精査し、各職種にわたり、感染対策を図った上での外部研修の受講にも力を入れました。

・別紙「研修関係の開催・参加状況」参照

(2) EPA 介護福祉士候補者の受入れについて

法人本部と3園担当で連絡調整や情報交換を行いながら、生活支援（在留手続き、住環境整備）、学習支援（事業団テキストの学習補助、日本語講師を活用した日本語学習）、精神面の支援（ストレスチェック、生活相談）等、様々な場面での支援を行いました。また、介護職員として現場で活躍できるよう介護課とともに育成に努めました。

・別紙『EPA 介護福祉士候補生の支援・育成の実施内容』参照

(3) ボランティアの活動状況・受け入れ

新型コロナウイルス感染症の流行状況により、適宜協議を行いながら、オンラインを活用して受け入れ調整をしました。8月からは感染予防対策を踏まえた対面でのボランティア活動を再開し、今年度のボランティア活動人数（延人数）は86名と、昨年度より13名増加しました。

東久留米市、小平市の社会福祉協議会との連携も継続的に図り、連絡会の出席や書面開催時のアンケート回答を行いました。小平市からの要請により、新任のボランティア担当者向けの講座を担当し、後輩の育成支援を行いました。

また、昨年度に引き続き、近隣住民のボランティアグループによる作品の寄贈も定期的に受け入れ、施設内に展示しました。ご入居者の感想を集約し、ボランティアセンター担当者を通すことで、地域住民とご入居者の橋渡しを行うことができました。

次年度も、ご入居者の安全を最優先としながら、余暇活動の楽しみや地域住民との交流の支援ができるよう取り組んでいきます。

・別紙『ボランティア活動実績』参照

研修関係の開催・参加状況（施設内研修）

研修内容		開催日	参加人数								
			管理者	総務課	教育企画	生活課	医務係	リハビリ係	栄養課	介護課	合計
○経営本部主催研修											
階層別 研修	人事考課者	7/17、2/26					1				1
	中堅職員	8/7、10/16、12/18 2/19				1				2	3
	一般・若手職員	7/24、9/18、11/20 1/15、3/18								4	4
新入職員 研修	入職時研修	3/27~31、4/4、5/26								1	1
	1.3.6ヶ月研修	5/24、7/14、10/6								1	1
エルダー職員研修		3/30								1	1
エルダー職員意見交換会		6/16			1					2	3
◇法令研修											
食中毒予防研修		5/10~5/25	1	4	1	2	6	2	講師	50	66
感染症予防研修	前期 5/15~6/5		1	4	1	2	講師	2	1	48	59
	訓練 10/12		1			1	2	1	1	4	10
	後期 10/18~11/5		1	3	0	2	講師	2	8	51	67
高齢者虐待防止・身体拘束 適正化に関する研修	前期 7/11~7/31		1	2	1	講師	6	2	7	51	70
	後期 1/10~1/31		1	2	0	講師	4	2	7	52	68
事故防止に関する研修	前期 6/16~6/30				1	2	6	1	1	47	58
	後期 12/1~12/15		1	4		2	5	2	7	51	72
褥瘡予防研修	8/31 Nick・CAPE		1	4		2	5	2	7	52	73
	2/22~3/20								7	48	55
□その他											
中途入職者入職時研修		4/1~3/31						1		9	10
看取り介護研修	前期 8/8~8/31		0	0	0	0	講師	2	7	47	56
	後期 12/11~12/31					講師	5	2	1	48	56
合 計			8	23	5	14	40	21	54	569	734

研修関係の開催・参加状況（施設外研修）

研修内容	開催日	参加人数								
		管理者	総務課	教育企画	生活課	医務課	栄養課	介護課	合計	参加者
◇東京都										
ユニットリーダー研修・実地研修	①8/22~8/25							1	3	木原
	②2/13~2/16							1		梅津
	③2/27~3/1							1		豊福
◇東京都社会福祉協議会										
東京都認知症介護実践者研修 第1回・第17回	3/7~5/16							2	2	佐藤
	12/15~2/16									川曲
介護職員スキルアップ研修 (医療的知識編)	7/25~9/12							2	2	田端 ゴボン
栄養士のための情報交換会	7/11							1	1	森本
福祉用具の使い方	9/19-10/3							2	2	町田 越知
生活相談員リスクマネジメント研修会	2/6				1				1	瀧澤
栄養ケアマネジメント研修会	2/6~2/29							1	1	森本
利用者の暮らしを支える食事支援 ～食べる機能解剖と食事介助の基本～	3/8							1	1	岸
◇東京都福祉保健局										
感染症対策リーダー研修	9/4、10/12	1			1	3	1	4	10	感染 委員
メンタルヘルスケア研修	11/1							2	2	宍戸 花岡
BCP講座総集編	1/11		1						1	立川
◇東京都福祉保健財団										
高齢者虐待防止研修	11/28				1				1	瀧澤
ヒヤリハット事例を交えたリスク管理の重要性と福祉用具を使った質の高いケア	2/7							1	1	村越
◇その他主催										
完全調理品試食会	6/27						1		1	森本
TENA×ネスレ日本 WEB 共催セミナー	6/27							4	4	排泄委員
施設職員向け福祉用具講習会	7/11							1	1	金子
介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	7/14~9/4							1	1	金子
住まい×介護×医療展 2023 in 東京	7/19~7/20				1	1			2	松崎小森

研修内容	開催日	参加人数								
		管理者	総務課	教育企画	生活課	医務課	栄養課	介護課	合計	参加者
TENA 首都圏セミナー2023	10/27							2	2	金子常盤
介護福祉士実務者研修	10/31~1/12							1	1	椎名
H. C. R. 2023 第 50 回国債福祉機器展&フォーラム	9/29				1	1		1	3	小森 松崎 木原
CareTEX 東京 '24 第10回 国際介護用品展/介護施設産業展/介護施設ソリューション展	3/12、3/14				1	1		1	3	小森 松崎 木原
そんぼの家 上北台厨房見学会	11/14						1		1	森本
労務管理士資格認定講座	1/26		1						1	高野
東久留米市内高齢者施設職員意見交換会 (市内6施設参加)	ケアマネ	3/20						1	1	金子
	介護職	1/22						1	1	金子
	リハビリ	3/23				1			1	工藤
	看護師	3/26				1			1	松崎
	相談員	2/15				1			1	瀧澤
合計			1	2	0	7	8	5	30	53

EPA 介護福祉士候補生の支援・育成の実施内容

実施内容	主催者・対応部署	2022年度	2023年度	実施日	対応・参加者	
					職員	候補生
日本語講師の学習（通信）	Bima CONC 島田様	○	○	毎週月曜日	—	4名
日本語ボランティア教室	国際友好クラブ 田淵様	○	○	毎週木曜日	—	4名
健康診断	所沢中央病院	○	○	4/6、11/2	—	4名
在留期間更新申請	総務課	○	○	5月中	1名	4名
巡回訪問	JICWELS	○	○	6/21	4名	4名
国際厚生事業団への定期報告	経営企画室・総務課・介護課	○	○	1/18	3名	4名
延べ人数					8名	24名

ボランティア活動実績

	活動内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
対面	クラブ活動	3	3	3	3	3	2	3	2	3	3	2	3	33
施設内 (リモート含む)	ギターハーモニカ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	大正琴	1		1		中止		中止		中止		中止		2
	紙芝居	1		1		1		1		1			1	6
	傾聴ボランティア	-					1	1	2	2	2	4	4	16
施設外 (リモート含む)	カラオケ		1		1		1		1		1		1	6
	音楽療法	1		1		中止	中止	1	1	1	1	1	1	8
	話し相手	1	1			1	9月より施設内に切替え						3	
	(団体数)	(2)	(0)	(2)	(0)	(1)	(0)	(1)	(1)	(1)	(1)	(2)	(2)	(3)
月別合計		8	6	7	5	6	5	7	7	8	8	8	11	86

社会福祉協議会ボランティア担当者会議開催数（書面開催含む）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
小平市主催	-	0	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	2

※ 東久留米市は、開催なし。

社会福祉協議会・地域会議への職員派遣

主催者名	会議・講座名	開催日	延べ人数
東京都高齢者福祉施設協議会	区市町村代表者会議	4/20、7/6、11/10、1/25	4名
	ケアマネージャー研修会 アクティブ福祉	9/15、9/26、12/25	3名
東久留米市	介護保険運営協議会	5/16、8/22、10/24 11/14、1/16	5名
	在宅医療・介護連携推進協議会	5/31、9/25、2/1	3名
住みよいまち弥生 (地域住民会議)	定例会議・催し	4/16、6/11、8/13、 10/8、12/10、2/11	7名

介護課 事業報告

1 介護課事業計画目標の総括

- (1) 多様化するニーズに応えるため、ご入居者やご家族の声に耳を傾けサービスの向上を図り、知識、技術の向上に努める。

多様化するニーズに応えるため、介護課全体で職員一人ひとりが、知識・技術の向上に努め、役職者を中心にフロア会議等でご入居者の希望や要望をできる限り実現できるように、支援内容や方法についての協議を行い、希望や要望についてはケアプランにも反映させサービスの向上に努めました。

また、昨年度まではコロナ禍の影響で外部研修に参加する機会が減少していましたが、今年度は、介護に関する知識・技術の習熟度を上げるために、施設外研修にも目を向け、職員がスキルアップできる環境を整備し、研修に参加した職員は学んだことをフロア会議などで伝え、情報の共有を図りました。

次年度も引き続き、知識・技術の向上とご入居者に安心して生活をして頂く環境の構築に努め、よりよいサービスの提供が図れるように介護課全体で取り組んでいきます。

- (2) 業務の見直し、改善を行い、業務の効率化を図ることで、ゆとりある介護の提供に努める。

役職者会議にて業務の見直しや人員配置の検討を行い、直接業務と間接業務の役割を明確化し間接業務専門の職員（シルバー人材、外国人労働者、障がい者雇用）を受け入れることで、間接介助（シーツ交換・居室清掃・ゴミ捨て）と業務分担ができ、介護職員は直接業務に専念ができたことにより心にも余裕が生まれ、職員一人ひとりが、ご入居者と関わる時間が増え余暇活動の充実が図れました。

また、ICT 機器（眠りスキャン）を導入する事で、日々の体調や夜間の様子などを観察し密に情報の共有を図った事で事故を未然に防ぐことができました。

次年度は ICT 機器を今まで以上に活用し、業務の見直し、改善に努めていきます。

- (3) 施設内備品を適正に使用し物品を管理することで、コスト削減に努める。

施設内物品が適正に使用されているか定期的に見直し、使用物品や備品の管理と点検をフロアごとに行い、無駄使いを削減し適正に使用することに努めました。毎月のフロア会議や排泄ケア向上委員会での勉強会などを通じて排泄ケア用品の適正管理にも取り組むことで、職員一人ひとりがコストについて意識し業務を遂行することで排泄ケア用品のコスト削減に努めることができました。

次年度も職員一人ひとりがコスト意識を常に持ち適正使用に努めたいと思います。

- (4) 他部署と連携を図り、稼働率維持・向上の意識を持ち、スムーズにご入居者の受け入れ態勢を整える。

ご入居者の体調面や現在の入居状況などの情報は各階役職者を中心に他部署（生活課、医務課、栄養課）などと情報共有及び連携を図り、ご入居者の体調管理は日々の生活を観察し、食事量や体重の増減などにも注意を払うことにより、ご入居者の体調変化時には早期発見につなげることができました。

また、新規入居に関しては円滑な受け入れ態勢を整えることができましたが、施設が目指す稼働率の達成には至りませんでした。

次年度は生活課と協力し稼働率向上に一層力を入れ、稼働率目標の達成に向けて施設に貢献ができる様に取り組んでいきます。

2 活動報告

(1) 役職者会議の定期開催

今年度の役職者会議は、介護課全体の運営と円滑にサービス提供ができるようにフロア間の意見交換や業務調整を行い、他部署との連携や相談が必要な内容については、役職者会議に他部署の職員にも参加してもらうことで、率直な意見交換を行うことができました。

また、問題点や課題点について、その解決策及び部署としての意思決定を速やかに行えるよう、協議・改善を行えることができました。

次年度に向けては、ユニットリーダー及び役職者を中心に後進の指導や育成にも力を入れ、ご入居者に安全、安心な施設生活を送って頂けるサービスの提供を心掛けたいと思います。

別紙「介護課役職者会議開催状況」を参照。

(2) 事故防止検討委員会の定期開催

今年度は毎月の単独開催と随時、安全対策担当者による三園合同会議を開催しました。単独開催時は、けやき園内で発生した事故や対応に苦慮している事案の検討を行い、再発防止策の検討や他部署職員と意見交換をすることにより多職種の視点からの意見を交え分析・協議し事故が再度起きない様に取り組みを行い翌月の会議では、実際に振り返りを行い、事故が再度起きない様に取り組みました。

また、三園合同会議では、各施設で起きてしまった事故などの意見交換を行うことで各施設相互の情報の共有が図れる機会となりました。

今後も会議内で活発な意見交換を行い、事故なくご入居者が安全に生活できる環境を構築できるように取り組んでいきます。

活動の詳細については、別紙「事故防止検討委員会開催状況表」を参照。

(3) 排泄ケア向上委員会の定期開催

今年度の委員会のテーマとして「排便サポート」を念頭にアドバイザーの助言を基にフロアにて取り組みを行いました。

また、委員会の中で排便サポートに関する勉強会の実施や事例検討会などを実施することで、新たな気付きや学びも生まれ知識を深めることができ、他部署とも連携をすることで少しずつではありますが、薬に頼らない排便サポートの実践ができました。

また、令和5年10月にはTENA主催のセミナーに参加し、けやき園の取り組み事例「何気ない一言に隠されている職員の心の声」を発表しました。

今後ともご入居者一人ひとりの尊厳を大切にケアの実践に取り組んでいきます。

委員会の活動状況については、別紙「排泄ケア向上委員会開催状況」を参照。

(4) 余暇活動の支援

今年度も感染症の対応や制限がある中でも、各フロアにて余暇活動の充実に向けた取り組みを行いました。フロアごとに独自のレクリエーションの企画、運営をはじめ、多数で行う余暇活動から個別でも楽しめるレクリエーションまで幅広く実施することでご入居者、職員とも交流が図れ、楽しめました。

また、クラブ活動についてはボランティアの協力も得て、参加された皆様が熱心に活動さ

れ完成した作品は居室や多目的ホールなどに展示し、ご入居者の目に触れる機会を多く設けました。

次年度もレクリエーションの幅を増やし、創意工夫して取り組んでいきたいと思いをします。

各クラブ参加状況については、別紙「クラブ（フラワーアレンジメント・書道・絵手紙）実施状況」を参照。

レクリエーション参加状況については、各階事業報告の「レクリエーション実施状況」を参照。

（5）行事の実施

昨年度同様に、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながらも、ご入居者の皆様に楽しんでいただく工夫を行事企画委員会で検討し、他部署の協力を仰ぎながら各種の行事を無事に実施することができ、ご入居者の皆様には楽しんでいただくことができました。

また、9月の敬老会では対象ご入居者のご家族を招待しての式典や1月の外出援助（初詣）など、ご家族が参加されての行事や外出援助も感染症に注意を払いながら少しずつではありますが増やすことができました。次年度は感染拡大防止を図ると共に、新たな行事の企画・立案に向けてご入居者の希望や以前に実施していた外出援助の実現に向けて取り組みます。

（6）家族交流の活性化への支援

新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、パーティー面会及び通信面会での対応となっておりましたが、令和5年7月より、全面的な解除ではありませんが居室面会が可能となりました。

面会時には、居室担当者を中心に積極的にご面会のご家族にお声掛けをして、日々のご利用者の近況やご様子をお伝えすることで、ご家族に安心して頂ける様に努め、居室面会が再開されたことで以前の環境に戻りつつあるのはご入居者の皆様にとって喜ばしいことでした。

次年度もご家族様と信頼関係が構築できるように日々、努力します。

別紙「面会・外出・外泊状況表」を参照。

（7）整容支援

整容については、ご入居者の生活歴に留意しながら行き毎日を気持ちよく過ごせるように、季節に合わせた衣類の調整に力を入れて取り組みました。

また、定期的な爪切りや耳掃除等を医務課と協力して行い、ご入居者が快適に気持ちよく生活していただけるように努めました。

理美容についてはご入居者・ご家族の要望や希望を募り、ご入居者一人ひとりに合わせた援助を行いました。

別紙「理美容利用状況表」を参照。

役職者会議開催状況

月	議 題 内 容
4 月	令和 5 年度の役職者会議について・月次総括表について・介護課内の業務について・職員の人員について・各フロアより
5 月	職員関係について・ご入居者対応について・各フロアより
6 月	間接業務担当の職員の業務について・TENA マイスター検定について・各委員会より・各フロアより
7 月	EPA 候補生について・医務課より・ケアプラン関係について・各フロアより
8 月	介護用品、福祉用具について・眠りスキャンについて・職員の人員について・各フロアより
9 月	夜間帯の対応について・ショートステイについて・各フロアより
10 月	各フロア上半期の事業計画の振り返りについて・介護課内の業務について・職員の接遇について
11 月	福祉用具について（車椅子、福祉用具）・第三者評価について・還元面談について・居室面会について
12 月	施設長より・フロア異動についての意見交換について・各フロアより
1 月	ユニットリーダーの業務について・第三者評価について・各フロアより・EPA 候補生について
2 月	新入職員について・来年度の委員会、クラブ活動について・中途職員について TENA オムツについて
3 月	令和 5 年度の振り返り・各フロアより

排泄ケア向上委員会開催状況

	議 題 内 容
5月	今年度の排泄員会について・3月、4月発注量の確認・排便サポートの勉強会
7月	5月、6月発注量の確認・アドバイザーとの情報共有・TENA インデックスについて
9月	けやき園の事例発表について・7月、8月発注量の確認
11月	9月、10月発注量の確認・排便サポートについて
1月	11月、12月発注量の確認・令和6年度の排泄委員年間計画について ・排便サポート勉強会
3月	TENAアドバイザーより・令和5年度の排泄委員会の振り返り

ホーム喫茶・ギターハーモニカ参加人数実績表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ホーム喫茶	55	76	55	58	49	53	43	62	107	43	42	52	695
ギターハーモニカ	18	18	17	19	18	19	14	21	22	16	16	17	215

令和5年度 施設行事・ボランティア行事参加人数実績表
(外出援助は実施無し、ホーム喫茶・ギターハーモニカは上記に記載)

月	日	実 施 内 容	参加人数
4月	3日	リモート紙芝居	14名
	10日	リモート音楽療法	12名
	19日	大正琴演奏会	19名
	24日	リモートカラオケ	18名
5月	2日	リモートカラオケ	22名
	19日	寿司の日	103名
	19日	衣料品販売会	66名
6月	3日	リモート紙芝居	17名
	9日	運動会	93名
	12日	リモート音楽療法	20名
	21日	大正琴演奏会	20名
7月	3日	リモートカラオケ	17名

月	日	実 施 内 容	参加人数
8月	7日	リモート紙芝居 20名	20名
9月	6日 15日 28-29日	リモートカラオケ 敬老会 花火大会	23名 100名 56名
10月	3日 17日 20日	紙芝居 リモート音楽療法 寿司の日	12名 20名 94名
11月	6日 10日 14日 17日	衣料品販売 リモートカラオケ リモート音楽療法 秋祭り	62名 23名 16名 104名
12月	4日 11日 15日 19日	紙芝居 リモート音楽療法 クリスマス会 もちつき	16名 18名 105名 107名
1月	4-12日 6日 16日	初詣 リモートカラオケ リモート音楽療法	10名 18名 19名
2月	3日 19日	節分 リモート音楽療法	94名 21名
3月	4日 11日 15日 24-27日	リモート紙芝居 リモート音楽療法 寿司の日 花見	19名 17名 83名 17名
合 計			1,495名

書道クラブ実施状況報告

クラブ活動総括		担当講師	担当者名
<p>書道クラブは、毎月第1火曜日に開催されており、皆様書道を楽しみにしております。担当職員が準備したお題を参考にして一生懸命書かれており、ご自身で書けない方は担当講師や職員が補助をしながら書かれておりました。</p> <p>文字にして書く事で季節も感じられ、ご入居者同士過去の話などして楽しめる様子も見られました。</p> <p>半紙に書いた物は施設入り口に飾り、家族の方もご覧になっておりました。</p>		柴先生	宍戸 梨沙 梶野 衣津美 堀越 智仁
開催日	実 施 内 容	参加人数	
4月4日	「四月」、「卯の花」、「昭和の日」	9名	
5月2日	「五月」、「子供の日」、「菖蒲」	9名	
6月6日	「六月」、「梅雨走る」、「雨蛙」、「紫陽花」	9名	
7月4日	「七月」「海水浴」、「金魚」、「鬼灯市」、「天の川」	8名	
8月1日	「八月」、「散水栓」、「あさがお」、「梅雨明け」、「残暑」	7名	
9月5日	「九月」、「秋の七草」	9名	
10月3日	「十月」、「金木犀」、「味覚の秋」	10名	
11月7日	「十一月」、「文化の日」、「暮秋」	11名	
12月5日	「十二月」、「年越しそば」、「除夜の鐘」、「大晦日」、「お年玉」	9名	
1月9日	「初詣」、「お正月」、「初夢」、「辰年」、「成人の日」、「賀正」、「睦月」	9名	
2月6日	「残雪」、「立春」、「福豆」、「雪まつり」、「観梅」	11名	
3月5日	「春分」、「桃の節句」、「卒業式」	9名	
合 計		110名	

フラワーアレンジメントクラブ実施状況報告

クラブ活動総括		担当講師	担当者名
<p>フラワーアレンジメントクラブは、毎月第2火曜日に開催されており、参加のご入居者様はお花が大好きでとても楽しみにされています。季節の花を使い、ボランティアの先生ご指導のもと、熱心に花の名前を聞きながら、感じるままに花を生けて作品を作られています。完成した作品は居室に持ち帰り、鑑賞され楽しんでおられます。</p>		柴先生	三井 綾子 花岡 優里弥 長嶋 益子
開催日	実施内容	参加人数	
4月11日	シンビジュウム、ミニバラ、スプレーカーネー、オンシジュウム、スターチス、ゴット	13名	
5月9日	トルコキキョウ、バラ、アンスリュウム、スターチス、スプレーカーネーション、ルスカス	13名	
6月13日	バラ、スプレーバラ、トルコ桔梗、ガーベラ、ぎぼし	14名	
7月11日	バラ、ガーベラ、スプレーバラ、エレンジュウム	14名	
8月8日	ひまわり、トルコ桔梗、レインボーカーネーション、干日紅、サンデリアーナ	14名	
9月12日	ピンクッション、りんどう、バラ、スプレーカーネーション、アンスリュウム、ゴッド、ルスカス、	14名	
10月10日	ピンクッション、トルコキキョウ、バラ、レンファレー、ユウカリ	14名	
11月14日	ピンクッション、トルコキキョウ、バラ、カーネーション、スプレーション、スターチス	14名	
12月14日	シンビジュウム、デンファレ、スプレーカーネーション、ウインターベリー、スギ、ゴット。	14名	
1月16日	シンビジュウム、オンジュウム、バラ、スプレーカーネーション、ゴットルスカス、スターチス。	14名	
2月13日	シンビジュウム、デンファレ、アルスト、カーネーション、レザーファンゴット、スターチス。	15名	
3月12日	スプレーカーネーション、ガーベラ、カーネーション、フリージア、ゴット、スターチス、ユウカリ。	15名	
合計		168名	

絵手紙クラブ実施状況報告

クラブ活動総括		担当講師	担当者名
<p>絵手紙クラブは、毎月第3火曜日に開催されており、参加されるご入居者は毎月楽しみにされています。担当講師や職員が用意した絵手紙作品や季節の花、装飾を題材にハガキに絵を描いています。講師のアドバイスや加筆により素敵な作品が出来上がり、入居者同士で見せ合い喜ばれる様子が見られています。</p> <p>完成した作品はご本人の居室や多目的ホールに飾ったり、ご友人やご家族に郵送したりされています。</p>		柴先生	川曲 瞳 バイサロヴァ アジャル 中井川 紫音
開催日	実施内容	参加人数	
4月19日	蟹、鯉のぼり、スズラン、カーネーション	7名	
4月18日	ブドウ、猫、オレンジ、サクランボ、つばめ、いちご	8名	
5月16日	紫陽花、風鈴、海と空、かき氷、さくらんぼ	7名	
6月20日	紫陽花、風鈴、海と空、さくらんぼ	2名	
7月18日	紫陽花、風鈴、海と空、かき氷、さくらんぼ	8名	
8月15日	風鈴、海、金魚、ふぐ、ペンギン、鯨、蟹	8名	
9月19日	栗、マスカット、コスモス	7名	
10月17日	カボチャ、コスモス、どんぐり	9名	
11月21日	柿、サンタクロース	4名	
12月26日	辰、賀正、餅、富士山、正月	6名	
1月23日	梅、辰、シクラメン	5名	
2月20日	桜、ツバキ、タケノコ、水仙	5名	
3月19日	いちご、タケノコ、花	5名	
合 計		81名	

面会・外出・外泊状況表
(パーティー面会・通信面会・看取り面会含む)

	面 会		外 出		外 泊		備考
	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	
4月	50	92	7	10	0	0	・延べ人数については、当該月の面会回数(1名につき複数回の面会も含まれる)を表記したものです。
5月	72	160	7	9	0	0	
6月	51	133	9	6	0	0	
7月	49	139	10	12	0	0	
8月	73	220	9	8	0	0	
9月	55	155	11	12	0	0	
10月	57	165	12	11	0	0	
11月	62	141	11	14	0	0	
12月	54	132	15	16	0	0	
1月	52	114	13	16	0	0	
2月	73	226	11	12	0	0	
3月	72	265	10	6	0	0	
計	720	1.942	125	132	0	0	

理美容利用状況表

	カット	ひげそり	パーマ	毛染め	利用人数	備考	
4月	41	3	0	5	43	・カット、髭剃り等の各項目については、当該月の利用回数(1名につき複数項目利用も含まれる)を表記しています。	
5月	35	1	0	3	36		
6月	37	4	0	4	38		
7月	28	2	0	2	28		
8月	44	2	0	5	44		
9月	38	0	0	2	38		
10月	33	2	0	0	34		・利用人数については、当該月の実人数を表記しています。
11月	41	2	0	4	41		
12月	56	4	0	3	57		
1月	20	0	0	2	20		
2月	17	1	1	2	18		
3月	58	1	0	0	58		
計	448	22	1	32	455		

介護課 1 階 事業報告

1 介護課 1 階業計画目標の総括

今年度は、日程や時間の制限はありますが、居室面会も徐々に緩和され、少しずつ以前に戻りつつありました。感染症に関しては、職員に感染症が確認されたので、今後も気を緩めることのないように、感染症対応を行っていききたいと思います。

外部研修に参加する機会も増え、職員の知識の向上やスキルアップを目指し、また、フロア内に周知し統一したケアを行うことで、ご入居者により良いサービスの提供ができるように努めました。

次年度は、ユニットリーダーを中心に、ユニットとしての環境づくりをはじめとして、個別ケアを目標に 24 時間シートの作成にも取り組んでいききたいと思います。

2 活動報告

(1) フロア独自の取り組み事項

今年度は、ご入居者と一緒に、野菜作りを行いました。収穫できた野菜をジュースにし、ご入居者に喜んで飲んでいただくことができました。毎日のミーティング時には、ご入居者おひとりずつに関して話し合いを行い、ご入居者の抱える問題点に、迅速に対応することができました。

(2) フロア会議の開催状況

今年度は毎月開催することができました。ご入居者の対応だけではなく、日々行っている業務の改善点を職員間で話合いました。参加できない職員に関しては、事前に意見を提出してもらい、職員全員の意見を反映できるようにしました。

今後は、フロア内だけではなく他部署にも参加して頂き、意見を交換できる機会ができるようにしていきたいと思います。

別紙「フロア会議開催状況」を参照。

(3) 余暇活動の開催

今年度は、野菜作りを含め、かき氷づくりやカラオケ、職員による楽器の演奏会などを開催することができました。また、運動会の前には玉入れの練習を行い、ご入居者と職員が一緒になり楽しむことができました。

今年度は、ユニット内でのレクリエーションや、1 階全体で行う大きなイベントを計画し担当職員中心に開催したいと思います。

別紙「レクリエーション実施状況」を参照。

フロア会議開催状況

実施日	議 題 内 容
4月25日	ご入居者援助について・業務について・副主任より
5月22日	ご入居者援助について・業務について・副主任より
6月26日	ご入居者の対応について・業務について・副主任より
7月31日	ご入居者の対応について・業務について・副主任より
8月28日	ご入居者の対応について・業務について・副主任より
9月29日	前回の議題の評価、業務に関すること・ご入居者に関すること・その他
10月30日	前回の議題の評価、業務に関すること・ご入居者に関すること・その他
11月29日	先月の振り返り・ご入居者の対応について・その他
12月29日	ご入居者の対応について・業務について
1月22日	ご入居者の対応について・業務について・その他
2月19日	ご入居者の対応について・業務について・その他
3月19日	ご入居者の対応について・業務について・その他

レクリエーション実施状況

月	実施回数	実 施 内 容	参加人数
4月	11回	カラオケ・風船バレー・囲碁・折り紙・塗り絵・トランプ遊び等	53名
5月	6回	玉入れ・カラオケ・折り紙等	38名
6月	8回	おやつ作り・カラオケ・折り紙・シャボン玉・音楽鑑賞等	41名
7月	6回	お茶会・七夕の飾りつけ・かき氷作り・おやつ作り等	97名
8月	3回	かき氷づくり・折り紙・風船バレー・ラジオ体操等	41名
9月	3回	塗り絵・おやつ作り・カラオケ・歌等	53名
10月	4回	塗り絵・風船バレー・楽器演奏・折り紙等	29名
11月	3回	カラオケ・パズル等	35名
12月	5回	音楽療法・トランプ遊び・散歩・楽器演奏・ビンゴ大会等	58名
1月	4回	カラオケ・音楽療法等	55名
2月	6回	風船バレー・カラオケ・歌・楽器演奏・折り紙・塗り絵等	60名
3月	4回	カラオケ・ラジオ体操・折り紙・風船バレー等	52名
合 計			612名

介護課 2 階 事業報告

1 介護課 2 階業計画目標の総括

今年度はコロナウイルスが 5 類に移行され、居室面会も時間や日程の調整はありますが少しずつコロナ前に戻りつつありました。個別のレクリエーションだけではなくカラオケなども密にならないように行い、感染症に注意しながら余暇活動の充実を図りました。

また、ご入居者の生活の安定の為、フロア会議やミーティング時に転倒や滑落の発生原因などの対策を行い、転倒や滑落による事故の発生防止に努めました。

今年度はコロナ陽性者も発生せず、その他の感染症も発生しませんでした。

次年度はさらにコロナ対策の緩和により、職員が少ない中でも集団レクリエーションや外出する機会を増やせるよう業務改善やルーティンワークを検討及び 24 時間シートを作成し、活用していきます。

2 活動報告

(1) フロア独自の取り組み事項

ご入居者の誕生日には、今年度も居室担当者が事前に色紙や写真を用意し、当日に職員とご入居者で誕生日の歌を歌い・色紙を差し上げ、ご家族様面会時に誕生日会を行ったことを報告しました。

他には、フロアの取り組みとして昨年度から排泄委員会を中心に排便コントロールに力をいれ成果が出ました。

ご入居者数名をピックアップして排便のデータを取り、それをもとに医務課に確認し、下剤ではなくオリゴ糖を使用した自然な排便を目指しました。次年度以降継続し、対象者を増やしてまいります。

(2) フロア会議の開催状況

今期は毎月開催することができ、さらに毎日の申し送り時に入居者や業務内容についての話し合いの場を設け、事故などの再発防止策や業務改善について検討しました。次年度は、各職員、他部署にも参加してもらい意見や要望にも耳を向けていきたいと思えます。

別紙「フロア会議開催状況」を参照。

(3) 余暇活動の開催

今年度はコロナ対策が緩和され、昨年度よりも余暇活動参加者が多くなり、少しずつ集団でのレクリエーションの開催を増やすことができました。その中でもカラオケ機を使用し、少人数でカラオケを楽しむほか、職員と一緒にラジオ体操などを行い余暇活動の活性化を図りました。

また、ユニットごとに担当職員を決め、ご入居者と一緒に装飾やユニットごとの余暇活動を行い、充実を図ることができました。

別紙「レクリエーション実施状況」を参照。

フロア会議開催状況

実施日	議 題 内 容
4月26日	連絡事項・業務に関することについて・入居者に関することについて
5月31日	連絡事項・業務に関することについて・入居者に関することについて
6月22日	連絡事項・業務に関することについて・入居者に関することについて
7月28日	業務に関することについて・副主任により
8月24日	前回の振り返り・業務に関することについて・副主任より
9月28日	前回の振り返り・業務に関することについて・入居者に関することについて
10月20日	施設内発表について・業務に関することについて・入居者に関することについて
11月22日	業務に関することについて・入居者に関することについて・副主任より
12月28日	前回の振り返り・業務に関することについて・入居者に関わりことについて
1月31日	施設内発表について・業務に関することについて・入居者に関することについて
2月26日	前回の振り返り・業務に関することについて・入居者に関することについて
3月27日	業務に関することについて・入居者に関することについて

レクリエーション実施状況

月	実施回数	実 施 内 容	参加人数
4月	7回	脳トレゲーム、かるた、音楽鑑賞、装飾、ラジオ体操等	52名
5月	20回	おやつ作り、かるた、輪投げ、玉入れ、テニス等	201名
6月	21回	風船バレー、歌、漢字あそび、カラオケ	97名
7月	7回	カラオケ、装飾、パズル、玉入れ、カードゲーム等	47名
8月	10回	ボール投げ、脳トレゲーム、ペーパーフラワー	118名
9月	9回	風船バレー、シャボン玉、カードゲーム、輪投げ等	101名
10月	10回	トランプ遊び、ボーリング、パズル、ボール投げ等	123名
11月	6回	風船バレー、カラオケ、的当てゲーム、かるた等	55名
12月	15回	風船バレー、パズル、百人一首、ボール投げ、塗り絵等	189名
1月	10回	百人一首、折り紙、カラオケ、かるた、風船バレー	67名
2月	12回	パズル、塗り絵	86名
3月	15回	パズル、カラオケ、塗り絵、シャボン玉、輪投げ等	99名
合 計			1,235名

介護課3階 事業報告

1 介護課3階事業計画目標の総括

今年度は居室面会が緩和され、以前の様にとはいかなくてもフロアでご家族と接する機会が多くなりました。その中で、コロナ禍以前では当たり前だった接遇や環境整備などの面で注意が必要な場面が所々に見られました。次年度では接遇や環境整備などの面で指摘が無いように引き締めていきます。

重点的な取り組みについては、福祉用具を使った職員に負担の少ない移乗やベッド上での上方移動のやり方を外部研修に参加してフロア会議の際に職員に向けて研修報告を行いました。また、リフトを使った持ち上げないケアを行う勉強を通し、移乗介助が困難なご入居者に安全に移乗して頂けるような取り組みの準備を行いました。

次年度は、今年度に引き続きリフトを使った移乗介助の定着、褥瘡予防や拘縮予防など職員のスキルアップに継続して取り組んでいきます。

2 活動報告

(1) フロア独自の取り組み

全体総括でも触れましたが、移乗ボード、移乗シート、挙上時の背抜き、床走行リフト活用のための準備など、福祉用具を活用し職員の腰痛予防や安全なケアに重点を置いて取り組みました。床走行リフトは今後、使い方と注意事項等を写真撮影し全体へ周知を行っていきます。3月に移乗介助のミスによりご入居者を転落させ、骨折、入院、手術という事故が発生してしまいました。早期にリフトなどの導入をしていれば防止できた可能性もあり、今後同様の事故を起こさないために、迅速・且つ安全に介助できるよう、業務改善に取り組みます。

(2) フロア会議の開催状況

今年度は毎月開催することができました。以前から継続している通りフロア所属職員全員から事前に意見を集約し、実際の会議にて集約した意見を中心に一人一人のご入居者の対応方法を話し合いました。

また、各委員会からの報告により、行事の日のスケジュールや担当の周知及び他フロアで起こった事故の詳細を報告し、3階で同じような事故が起こらないような対策を検討しました。

別紙「フロア会議開催状況」を参照。

(3) 余暇活動の開催

今年度はビデオ鑑賞を出来る機器を揃え、ビデオのラインナップを充実させたことでビデオ鑑賞をする機会が増加しました。昨年度までと同様に軽作業が出来る方には手伝っていただきましたが、ご本人の体調や気分などでなかなか行う機会が少なかったです。

フロア全体のレクリエーションでは多目的ホールで風船バレーやカラオケなどを行い楽しまれていた様子でした。

別紙「レクリエーション実施状況」を参照。

フロア会議開催状況

実施日	議 題 内 容
4月29日	連絡、通達事項・業務に関することについて・入居者に関することについて
5月26日	連絡、通達事項・業務に関することについて・入居者に関することについて
6月26日	連絡、通達事項・業務に関することについて・入居者に関することについて
7月29日	連絡、通達事項・業務に関することについて・入居者に関することについて
8月30日	連絡、通達事項・業務に関することについて・入居者に関することについて
9月30日	連絡、通達事項・業務に関することについて・入居者に関することについて
10月26日	連絡、通達事項・業務に関することについて・入居者に関することについて
11月27日	連絡、通達事項・業務に関することについて・入居者に関することについて
12月27日	連絡、通達事項・業務に関することについて・入居者に関することについて
1月21日	連絡、通達事項・業務に関することについて・入居者に関することについて
2月28日	連絡、通達事項・業務に関することについて・入居者に関することについて
3月30日	連絡、通達事項・業務に関することについて・入居者に関することについて

レクリエーション実施状況

月	実施回数	実 施 内 容	参加人数
4月	30回	屋内散歩、屋外散歩、読書、おやつ作り等	100名
5月	3回	あやとり、屋外散歩、軽作業	15名
6月	3回	トランプ、塗り絵、カラオケ	16名
7月	5回	カラオケ、ボール投げ、おやつ作り、風船バレー	79名
8月	4回	歌、体操、散歩	28名
9月	3回	ラジオ体操、ビデオ鑑賞、おやつ作り	59名
10月	4回	散歩、お月見、ビデオ鑑賞、おやつ作り	51名
11月	3回	ビデオ鑑賞	20名
12月	3回	ビデオ鑑賞、ボール投げ、黒ひげ危機一髪、ボール投げ	31名
1月	4回	おやつ作り、ビデオ鑑賞、散歩、ボール投げ、脳トレ	66名
2月	6回	ボール投げ、脳トレ、ビデオ鑑賞	19名
3月	7回	トランプ、貼り絵、ビデオ鑑賞、脳トレ、計算遊び	29名
合 計			513名

医務課医務係 事業報告

1 医務課医務係事業計画目標の総括

(1) 健康面での安心・安楽を常に提供できるようにする

コロナ対応時より継続して、毎日の体温測定を実施しました。状態が不安定な方のバイタル測定や健康観察を実施し、異常の早期発見に努めました。また、前年同様医療的サポートを必要とすご入居者が多く、新規の胃瘻の方の受け入れなども積極的に行いました。バルーンや在宅酸素の管理、血糖測定やインスリン注射なども適切に実施し、必要時嘱託医の指示を仰ぎました。面会が少しずつ再開し、面会に来たご家族へ状態報告を行うことで、ご家族の安心にも繋がるよう心掛けました。

(2) 業務見直しを行い、業務内容の改善に努める。ほのぼのを有効に活用する

感染症対応についてはコロナが5類に移行したことも踏まえ、適切な処置ができるように見直し、マニュアルにも反映させました。重複記録はやや削減でき、業務負担も減りましたが、ほのぼのの有効活用についてはまだ不十分であり、来年度も継続して実施していきたいと考えています。

(3) 収支の把握とコスト削減に努め、在庫管理を徹底する

消耗品の把握はこまめに行い、感染症が発生しても困ることがないように必要最小限のものを揃えました。しかしコロナが5類に移行したことでN95マスクやガウンを使用する機会は以前と比べ減少したため、今後の在庫の管理については再度計画を立てて実施していきたいと思えます。

(4) ご入居者の健康管理を十分に行い、稼働率の安定・向上に繋げる

嘱託医への相談や外部受診を早期に行うことで入院期間が長期化することを防ぐように努めました。また、医療依存度の高い方や基礎疾患が多い方でも受け入れを柔軟にしていこう心掛けました。

2 活動報告

(1) 感染症対策委員会開催

今年度も年4回開催の定期感染症対策委員会では、新型コロナウイルスについての話し合いが主となりました。東京都保健医療局即応支援チームに標準予防策を含む感染症対応をレクチャーしていただき、その内容を他部署（介護課やリハビリ、栄養課など）に実践で指導するという実施しました。感染症対応については、きちんと行っているつもりでも間違っている部分もあったため、振り返りの良い機会となりました。

また8月に受診されたご入居者1名が新型コロナウイルス陽性と診断され、臨時感染症委員会を開催しました。感染者は入院されたため、施設内で感染対策を行うことで、拡大することはありませんでした。

(2) 褥瘡予防対策委員会の開催

毎月第3木曜日に開催しました。前年度同様、定期的に褥瘡の状態を写真に残し、前回との比較や経過を追えるようにしました。褥瘡が早く改善するように、他部署と意見交換を行いながらケアの実施をしていくことで、早期治癒に繋げることができました。

(3) インフルエンザ予防接種実施

10月から11月にかけて嘱託医協力の元で希望する入居者に実施し、大きな問題もなく終了しています。昨年度同様に職員の予防接種については、秋の健康診断に合わせて所沢中央病院健診クリニックに実施していただきました。

(4) 新型コロナ予防接種実施

ワクチン接種は嘱託医協力の元、希望するご入居者と職員に6回目を6～7月に、7回目を11月に実施しています。ご入居者の中には熱発などの副反応が出る方もいましたが重篤な副反応なく終了しています。

(5) 健康診断実施

例年と同時期の10月23日に心電図・採血・胸部レントゲン検査及び尿検査を実施しました。検査結果は医務課や嘱託医による今後の健康管理に役立てています。

(6) 法定研修の実施

年2回の感染予防、年1度の褥瘡予防の法定研修は、今年度も全て書面開催にて実施しました。感染予防研修では標準感染症予防策の動画視聴や資料配布を行うことで、いつでも見直せるようにしました。褥瘡予防研修ではスキンケアについても学ぶことで、日常ケアに活用できるように努めました。

また、看取りの研修を年2回開催し、生活課と医務課で分けて担当して実施しました。施設でも看取りが増加しているため、より良いケアが実施できるよう来年度以降の研修内容も色々と検討していきたいと考えています。

入居者診療状況（実人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科（往診）	111	112	107	100	112	111	114	112	111	111	109	110
精神（往診）	2	5	4	4	4	4	5	5	4	4	3	3
内科	1	1	3	2	3	1	2	4	2	3	2	4
消化器科	0	0	0	0	0	3	4	1	0	0	0	0
循環器科	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	2	0
内分泌科	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	0	0	0	0	0	2	1	2	1	3	0	1
整形外科	2	3	3	3	2	2	4	4	3	5	6	6
脳外科	1	2	0	4	3	1	0	2	3	1	1	1
精神科	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0
皮膚科	1	2	0	2	2	2	1	1	2	3	3	3
眼科	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
耳鼻科	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
歯科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	2	1	3	0	1	4	1	1	2	1	3
救急外来	3	3	4	1	4	6	1	2	4	5	0	1
歯科（往診）	79	67	80	81	80	80	82	86	75	85	80	75
合 計	201	198	203	201	210	214	220	221	209	222	208	207

入居者診療状況（延人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科（往診）	187	209	188	200	138	143	170	188	155	139	134	133
精神（往診）	4	8	8	8	7	8	9	10	8	8	6	4
内科	1	1	3	2	3	1	2	4	2	3	2	4
消化器科	0	0	0	0	0	3	5	2	0	0	0	0
循環器科	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	2	0
内分泌科	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	0	0	0	0	0	3	2	4	1	3	0	1
整形外科	2	4	3	3	2	2	4	6	5	5	8	6
脳外科	1	2	0	5	3	1	0	2	3	1	1	1
精神科	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0
皮膚科	1	4	0	5	2	4	2	1	3	4	4	3
眼科	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
耳鼻科	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
歯科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	4	5	1	3	0	1	4	1	1	2	1	4
救急外来	3	3	4	1	5	6	1	2	4	5	0	1
歯科（往診）	154	107	155	146	148	148	153	187	150	145	140	96
合計	359	344	363	374	308	321	354	408	335	315	299	253

入院状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科	1	3	4	2	2	6	1	2	2	4	3	3
脳外科	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
整形外科	0	0	0	1	0	0	2	2	1	0	0	1
精神科	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
その他	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0
合計	2	4	5	4	2	7	4	5	4	4	3	4

退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
退所	1	2	3	0	3	5	4	5	1	1	0	6
（内死亡者）	1	1	2	0	2	4	3	5	1	1	0	5

医務課リハビリ係 事業報告

1 医務課リハビリ係事業計画目標の総括

(1) ご入居者の機能訓練に対する意欲を高められるよう、常に工夫を模索する

マンネリ化や機械的な業務になると、ご入居者のリハビリに対する意欲が減退してしまうため、リハビリ内容の振り返りや改善を行いました。

QOL を重要視し、従来のご入居者に平均的な内容ではなく、個々の気持ちを特に大切にしたりリハビリ内容に変更しました。

- ・リハビリ意欲の高い方・・・回数を増やす、リハビリ体操と個別リハビリを行う等
 - ・リハビリ意欲の低い方・・・回数は最低限で、体を動かすよりも作業的活動中心等
- 結果、ご入居者の笑顔が多くみられるようになり参加意欲の向上につながりました。

しかし、拒否の強いご入居者は依然として意欲が向上しないため、その対策が課題です。

(2) 業務の問題点に対し、都度速やかに改善を図る

問題点や他部署からの相談等があった際に、時間をおかず速やかに対応するように意識して行動する事を職員間で周知、共有しました。

分からない事等はすぐに精査し、他部署の専門家に聞く等連携し協力して解決しました。

3 園合同リハビリ会議が対面で開催可能になり、特に細かい問題点等についても意見交換ができるので、問題解決に役立っています。

(3) 節電への取り組みや備品の適正使用により、支出削減に繋げる

使用しない時の電源は切る習慣づけをし、エアコンの温度管理の徹底、適宜備品の整理等を行い、「浪費」をしない業務に努めました。

(4) ご入居者の体調変化に気づけるよう、意識的に観察を行う

リハビリ実施時は勿論のこと、ラウンド時にもご入居者の様子を窺うことを意識し、業務を行いました。

業務開始時には医務課と連携し、ご入居者のその日の体調を共有するようにしました。

少しでも気になることがあった際には速やかに医務課に報告を義務づけています。

2 活動報告

(1) 機能訓練について

ご入居者の個別機能訓練計画をもとに、週 1～2 回の機能訓練を実施しました。上述の通り、リハビリへの意欲が高いご入居者には 2 回以上、意欲が低いご入居者には最低限の回数で実施し（リハビリに対しての好き嫌いや向き不向きもある為）、ご入居者の QOL を念頭に、従来の数をこなす業務からリハビリ内容の質の見直しを行いました。

その結果、ご入居者一人に対して集中してリハビリを実施でき、リハビリの質も向上し、職員の負担も軽減することが出来ました。

また、ご入居者の外出機会が少ない為、ご入居者に声掛けをし、希望者は屋上や中庭にお連れして気分転換をして喜んで頂きました。

(2) 個別機能訓練計画について

ご入居者の ADL の評価を新規入所時、3 ヶ月毎、入院や認知の進行等による身体機能の変

化が見られた際に行い、ケアプランをもとに個別機能訓練計画を作成しました。令和5年度も継続して評価時期を統一しているため、個別機能訓練計画作成漏れ等のチェックがしやすくミスの軽減に繋がっています。

同意率については、特筆すべき増減などは見られませんでした。

下表「個別機能訓練計画の同意数」を参照

(3) 参加人数について

令和5年度より1週間の1人に係るリハビリ回数が1~2回になったこと、常勤理学療法士職員が7月で退社したこと、ご入居者全員に同じ回数を無理やり行うのではなく、ご入居者のQOLを重要視し、満足度に繋げる為にリハビリの質の改善を行ったこと等により、参加延べ人数は減少していますが、ご入居者との信頼関係はますます良好になっており、ご入居者やご家族からの苦情は出ておりません。

今後は後任の職員も業務に慣れてきているので、ご入居者がリハビリに参加できる機会を増やしていく方針です。

下表「個別機能訓練参加延べ人数」を参照

(4) 研修について

2月に医務課と合同で褥瘡研修を行いました。3園のリハビリ係で内容を話し合い、現在の職員不足な状況から職員への負担軽減を考慮し、実技指導の為に集まる時間を省略し、動画視聴と報告書提出での実施としました。

職員不足が解消され、しっかりと時間が確保できる状況になれば、実技指導を交えた褥瘡研修を行っていきたいと考えています。

個別機能訓練計画の同意数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
同意数(件)	111	111	111	111	114	114	112	112	109	110	109	113
在籍者数(人)	112	112	113	113	116	116	115	114	111	111	113	115
同意率(%)	99.1	99.1	98.2	98.2	98.3	98.3	97.4	98.2	98.2	99.1	96.5	98.3

個別機能訓練参加延べ人数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
811	949	658	534	586	541	527	484	484	525	433	432	6964

生活課 事業報告

1 生活課事業計画目標の総括

令和5年度年間特養単体稼働率は97.0%となり、前年度より3.4%稼働を上げることができましたが、法人目標稼働率を1.0%下回る結果となりました。要因として定員111床に対し、平均入院者数が2.98人/日でした。また、入院時のユニット居室費用負担もあり、入院空床を新規入居に移行できなかった点、待機者数の減少により新規入居に移行できず空床期間の短縮ができなかった点が挙げられます。この2点が次年度の改善点と捉えて取り組んで参りたいと考えます。ショートステイの年間稼働率は30.1%と目標数値を大きく下回りましたが、ショートステイのニーズも低い傾向があり、今後の課題として取り組みます。

2 活動報告

(1) 財務基盤の安定化に資する取り組み

ショート専用3床と特養空床を効率的に運用することにより、特養稼働率の向上を図りました。待機者数の確保については、本部営業担当課長と連携した営業活動のほか、令和5年12月より、施設紹介のポータルサイト『LIFULL介護』に掲載を開始しました。12月掲載から3月末までに、PV数5,567件、問い合わせ数185件(※)となり、見学や待機者獲得の一助となりました。

※令和6年3月度、東京都PV数施設ランキング第4位

(2) 自己研鑽に資する取り組み

令和6年2月外部のリスクマネジメント研修に参加し生活課内で情報の共有を図ることができました。令和5年度より、東京都社会福祉協議会ケアマネージャー研修委員会の委員となり、研修立案に参加しました。又、アクティブ福祉in東京23のスタッフメンバーにも参加し対外的な関係構築にも資する取り組みとなりました。

(3) 法人内相談員連絡会の連携強化

相談員連絡会では研修立案などを輪番制にすることにより、多角的な意見集約を経た研修を行うことができました。又、適宜、各園で情報共有を行い法人内相談員の連携を強化することができました。

(4) 人権尊重・権利擁護の取り組み

令和5年4月東久留米市市議会議員選挙不在者投票を実施しました。8名のご利用者が投票、市内の選挙管理委員会より立会人2名が同席され、公正かつ適正な不在者投票を行うことができました。高齢者虐待防止・身体拘束適正化研修を年2回、看取りケア研修を医務課と協力し、年2回実施することができました。また、高齢者虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会を年4回行いました。

別紙「入居者入居退居状況票」「居室稼働状況月間・年間平均集計表(%)」「ショートステイ利用状況票」「入居内訳」「退所内訳」「保険者別入居者入居状況票」「入居者性別・年齢別構成状況票」「要介護度認定状況表」「階層別負担者割合一覧表」「日常生活自立度一覧表」を参照

入居者入居退居状況表

		入 居							退 居							
		家庭	介護老人保健施設	他の介護老人福祉施設	病院	その他介護保険施設	介護保険施設以外	計	死亡(園内)	長期入院	介護老人保健施設	他の介護老人福祉施設	その他介護保険施設	介護保険施設以外	計	
4月	109	2	1	0	0	0	0	3	1(1)	0	0	0	0	0	1	111
5月	111	0	0	0	0	1	0	1	1(1)	1	0	0	0	0	2	110
6月	110	1	1	0	0	1	0	3	1(1)	2	0	0	0	0	3	110
7月	110	1	1	0	0	1	0	3	0(0)	0	0	0	0	0	0	113
8月	113	2	0	0	1	0	0	3	2(1)	1	0	0	0	0	3	113
9月	113	2	0	0	0	1	0	3	3(0)	2	0	0	0	0	5	111
10月	111	4	0	0	0	0	0	4	3(3)	0	0	1	0	0	4	111
11月	111	1	0	0	0	2	0	3	4(2)	1	0	0	0	0	5	109
12月	109	2	0	0	0	0	0	2	1(1)	0	0	0	0	0	1	110
1月	110	0	0	0	1	0	0	1	1(1)	0	0	0	0	0	1	110
2月	110	1	1	0	1	0	0	3	0(0)	0	0	0	0	0	0	113
3月	113	0	1	0	1	0	0	2	5(1)	1	0	0	0	0	6	109
合 計		16	5	0	4	6	0	31	22(12)	8	0	1	0	0	31	

居室稼働状況月間・年間平均集計表(%)

	A:特養本体 111床	B:ショートステイ 3床	C:全体 114床
4月	98.0	45.6	96.6
5月	98.3	45.2	96.9
6月	95.7	52.2	94.6
7月	97.7	36.6	96.1
8月	98.1	40.9	96.6
9月	97.6	30.0	95.8
10月	96.3	22.6	94.3
11月	96.1	23.3	94.2
12月	95.8	19.4	93.7
1月	97.8	18.3	95.7
2月	96.0	13.8	93.8
3月	96.9	12.9	94.7
上半期	97.6	41.7	96.1
下半期	96.5	18.4	94.4
年間平均	97.0	30.1	95.3

ショートステイ利用状況表

年月	実 人 員			延 日 数			平均利用人数 (1日/名)
	男性	女性	計	男性	女性	計	
4月	2	2	4	19	22	41	1.4
5月	4	3	7	26	22	48	1.5
6月	3	2	5	34	13	47	1.6
7月	6	2	8	19	15	34	1.1
8月	2	5	7	8	30	38	1.2
9月	4	2	6	13	14	27	0.9
10月	3	1	4	12	9	21	0.7
11月	4	1	5	13	8	21	0.7
12月	4	1	5	13	5	18	0.6
1月	4	2	6	13	4	17	0.5
2月	4	0	4	12	0	12	0.4
3月	2	1	3	18	2	20	0.6
合 計	42	22	64	200	144	344	0.9

入居内訳

男女比			月間受け入れ数		保険者別		
男	人数	%	月	人数	保険者	人数	%
女	18人	58.1%	4月	3	東久留米市	12	38.8
合計	31人	100%	5月	1	西東京市	6	19.4
入居時介護度内訳			6月	3	小平市	5	16.2
要介護3	19人	61.3%	7月	3	東村山市	1	3.2
要介護4	8人	25.8%	8月	3	昭島市	1	3.2
要介護5	4人	12.9%	9月	3	武蔵野市	1	3.2
合計	31人	100%	10月	4	多摩市	1	3.2
入居前施設別			11月	3	練馬区	1	3.2
在宅	17人	54.8%	12月	2	目黒区	1	3.2
有料・中高住	6人	19.4%	1月	1	中野区	1	3.2
医療機関	3人	9.7%	2月	3	新宿区	1	3.2
老健	5人	16.1%	3月	2			
合計	31人	100%	平均	2.6	合計	31	100

退居内訳

男女比			退居者在園期間		退居理由内訳		
男	人数	%	在園期間	人数	退居理由	人数	%
女	18人	58.1%	8年以上	4	永眠	22	71.0
合計	31人	100%	6～7年	2	長期療養	8	25.8
退居時介護度内訳			5～6年	1	家族意向	1	3.2
要介護1	0人	0%	4～5年	2	合計	31	100
要介護2	0人	0%	3～4年	1	/		
要介護3	5人	16.1%	2～3年	5			
要介護4	14人	45.2%	1～2年	3			
要介護5	12人	38.7%	1年未満	13			
合計	31人	100%	合計	31			

保険者別入居者入居状況表

令和6年3月31日現在

保険者名	男性	女性	合計	保険者名	男性	女性	合計
杉並区	0	2	2	国立市	0	1	1
世田谷区	0	1	1	小金井市	0	4	4
豊島区	0	1	1	小平市	3	11	14
中野区	0	3	3	立川市	0	1	1
練馬区	1	3	4	多摩市	0	2	2
板橋区	0	1	1	西東京市	2	12	14
23区合計	1	11	12	八王子市	0	1	1
埼玉県久喜市	0	1	1	東久留米市	5	37	42
埼玉県新座市	0	1	1	東村山市	6	2	8
神奈川県相模原市	0	1	1	東大和市	0	1	1
/	/	/	/	府中市	0	1	1
/	/	/	/	武蔵野市	0	3	3
				清瀬市	0	1	1
				昭島市	1	0	1
他県市部計	0	3	3	都内市部計	17	77	94
合計	男性 18名			女性 91名			全体 109名

入居者性別・年齢別構成状況表

令和6年3月31日現在

年齢	男 性	女 性	計
100 歳以上	0	7	7
95 歳以上 ～100 歳未満	1	26	27
90 歳以上 ～ 95 歳未満	4	28	32
85 歳以上 ～ 90 歳未満	7	17	24
80 歳以上 ～ 85 歳未満	5	4	9
75 歳以上 ～ 80 歳未満	1	4	5
70 歳以上 ～ 75 歳未満	0	3	3
65 歳以上 ～ 70 歳未満	1	0	1
60 歳以上 ～ 65 歳未満	0	1	1
55 歳以上 ～ 60 歳未満	0	0	0
計	19	90	109
最 高 年 齡	99.0 歳	102.0 歳	
最 少 年 齡	68.8 歳	60.1 歳	
平均年齢	86.5 歳	91.4 歳	全体 90.6 歳

要介護度認定状況表

令和6年3月31日現在

要介護1			要介護2			要介護3			要介護4			要介護5			平均		
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
0	1	1	1	0	1	5	31	36	6	32	38	7	26	33	4.0	3.9	4.0

階層別負担者割合一覧表

令和6年3月31日現在

	第1段階		第2段階		第3段階①		第3段階②		第4段階	
	食費 居住費	300円 820円	食費 居住費	390円 820円	食費 居住費	650円 1310円	食費 居住費	1360円 1310円	食費 居住費	1650円 2600円
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
要介護1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
要介護3	0	0	0	3	0	3	0	11	1	14
要介護4	0	0	1	3	0	4	0	9	5	22
要介護5	0	0	0	1	0	1	2	11	7	11
計	0	0	1	8	0	8	2	31	16	43
合計	0		9		8		33		59	
比率	0%		8.3%		7.3%		30.3%		54.1%	

日常生活自立度一覧表

令和6年3月31日現在

障害老人の日常生活自立度		認知症老人の日常生活自立度	
障害なし	0	認知症の症状なし	0
生活自立 J1	0	I	1
生活自立 J2	0	II a	4
準寝たきり A1	2	II b	10
準寝たきり A2	26	III a	76
寝たきり B1	19	III b	11
寝たきり B2	55	IV	7
寝たきり C1	3	M	0
寝たきり C2	4		
合計(人)	109	合計(人)	109

栄養課 事業報告

1 栄養課事業計画目標の総括

(1) 食生活の充実と満足度の向上を図る。

郷土料理や新メニューを提供した際はミールラウンドを行い、ご入居者から味の感想やご意見を伺い、職員からはご入居者の反応を聞き取り調査しながら、栄養・給食管理ソフト内掲示板にて3園栄養課内で情報共有しました。各園の意見を基に反響が良かった献立は次年度も引き続き提供し、今後の満足度向上に繋げられるよう取り組みました。

次年度は、管理栄養士と調理職員の栄養課全体で取り組みます。

毎年実施している食事満足度調査では令和5年度は回答率が56%であり、前年度より13%の減少でした。毎月1フロアずつ実施しているおやつレクについては「楽しい」、「分からない」と回答した方が同率でしたが、「今後も継続して欲しい」、「どちらでも良い」と回答した方は90%以上でした。園での食事や行事の食べ物に対する満足度は56%の方が満足との回答でした。次年度も引き続き「満足」と回答していただけるよう取り組みます。

(2) 現行の栄養ソフトの見直しを行い、共通献立の安定供給に努める。

3園共通の献立は一部むさしの園（センター）で計画生産調理され、各園（サテライト）に配送し提供されます。これまで園によって味に差があることが問題視されてきました。栄養・給食管理ソフトで作成する献立兼調理指示書であるマニュアルの不具合も有りますが、調査するとユニットケアのけやき園・もみの樹園（サテライト）の食事準備時間や人員配置などの違いにより2次加熱の温度に40℃近く差があり、加熱の条件にも少しずつ違いがあることがわかりました。2次加熱をする際の温度や時間などをマニュアル化する事で均一した味の提供ができるよう取り組みましたが、施設ごとに調理する環境が違う為、共通にすることは困難であるとの結果になりました。今後は計画生産されるものは誰が調理しても均一した味になるよう栄養・給食管理ソフト内の献立兼調理指示書であるマニュアルの更なる見直しと、各園で再加熱後の味は検食簿やご入居者の意見を参考に調整し、より満足していただける食事提供につなげられるよう取り組みます。

(3) 労働人口減少に向け費用対効果を意識した食材の検討を図る。

むさしの園（センター）で行われている計画生産品は2回加熱（1次加熱と2次加熱）しても美味しく提供できる料理に限定していました。しかし、もみの樹園の長期にわたる人員不足が常態化し1日の必要人員の確保が困難な為むさしの園での計画生産品の対象献立拡大の検討を行いました。計画生産品を増産することになると今まで1人で行っていた計画生産担当者が最低2人必要になり、けやき園でも人員の派遣が必要になる事等の問題点の今後の方向性について話し合いました。

次年度はむさしの園でも欠員があることや職員の募集をかけても人材が集まらない事、人材確保が困難になるであろう事も考慮しながら1週間ほど計画生産の増産を行い、むさしの園（センター）とけやき園・もみの樹園（サテライト）での検証を行い、3食の安定供給に努めていきたいと思えます。

むさしの園で計画生産品を増産したところで一番手間がかかる極刻み・ペースト食の加工時間削減につながらない事は検証済みの為、すべての食材・料理に関して完全調理されている食材・献立の導入を検討し、試食会や見学会を行いました。

次年度は、現在もみの樹園の残業時間や栄養・給食管理ソフトの維持費、極刻み・ペースト食を加工する光熱費や機械の修理費などを含め費用対効果を考えながら、これからも安心・安全な食事が提供できる業務内容の見直しを図っていきます。

(4) ベッド稼働を意識した食数管理を行い安定した食材管理を行う。

入院や退所、職員出勤人数の増減により食数の乖離が大きい月もありましたが、小まめに食数変動の調整を行うことで予定食数と実施食数の乖離を抑えるよう取り組みました。また、余分な食材を持たないよう可能な限り当月内で処理を行い月末在庫の削減に努めました。引き続き食材管理の徹底を図っていきたいと思います。

昨年は、2022年に発生した鶏インフルエンザの影響により卵や卵製品が入荷されない状況が続き、卵の価格上昇もありました。その他にも人件費や材料コストの高騰や円安・気候変動の影響に伴い食材の高騰がありました。そのような状況下でも少しでも安価な商品への切り替えを実施することで、前年比給食材料費を2.1%増に抑えることができました。今後は納品業者の物流2024年問題による取り扱い食品の削減や更なる物価高の影響が考えられます。今後も食材の見直しを随時行い給食材料費の安定に取り組んでいきたいと思います。

2 活動報告

(1) 栄養ケアマネジメントの実施

4月・7月・10月・1月の年4回実施しました。各部署との連携を図り、ご入居者の身体測定・臨床検査等の情報をオンラインで収集し、食事摂取状況を比較しながら栄養状態のスクリーニングを行い、そのデータを参考に嘱託医による低栄養のリスクレベル判定を実施しました。

本スクリーニングと各部署からのご入居者の一人ひとりの情報を基にアセスメントを実施し、栄養ケア計画書の作成を行いました。モニタリングは高リスクについて2週間ごと、低・中リスクは月に一度行い、体重測定の後に行いました。

表-1「スクリーニング実施状況表」参照

表-1「スクリーニング実施状況表」

頻度 リスク別	71回目 4月	72回目 7月	73回目 10月	74回目 1月
低リスク	70名	64名	56名	58名
中リスク	35名	41名	50名	47名
高リスク	6名	5名	4名	5名

※リスクとは、低栄養の状態が低い、高いかで、高リスクとは低栄養のリスクが高い事を示します。

(2) 食事サービスの向上のための会議実施

① 食事サービス委員会

偶数月第3木曜日の14:00～14:30の時間帯で開催しました。

管理栄養士が司会進行を行い、議事録作成は各部署で持ち回りにて行いました。介護課の各フロア及び各部署の食事サービス委員が出席し、より良い食事サービス提供を目的とし

て話し合い、食事サービスの向上につながるよう努めました。

② 厨房会議

毎月第4水曜日 13:00～14:00 の時間帯で開催しました。

管理栄養士と調理職員が出席して、より良い食事サービス提供を行い、食事サービスの向上につながるよう努めました。

(3) おにぎりバイキング・デザートバイキング・おやつレクの実施

奇数月はデザートバイキングを実施し、季節を意識したデザートを取り揃え、ユニットごとにメニューを配布し、介護職員が提供しました。

偶数月は、おにぎりバイキングを実施し、フロアごとに年2回ずつ行い、4種類のおにぎりの具の中から2種類選択していただき、ご入居者の目の前で握り提供しました。お粥を召し上がっているご入居者にもご飯のお供を4種類の中から2種類選択していただきました。

また、おやつレクを月1回フロアごとに実施し、各フロア年4回ずつ行いました。ご入居者と一緒におやつを作り、出来立てを召し上がっていただきました。

表-2「5年度 おやつレク実施表」参照

表-2 「5年度 おやつレク実施表」

月	内容
4～6月	クリームどら焼き
7～9月	あんみつ
10月～12月	焼きりんご
1～3月	桜餅

(4) 年間郷土料理の実施

3園で郷土料理の月を同じ地域にし、園盛会共通でサービスの提供を実施しました。

表-3「5年度 けやき園栄養課郷土料理年間実施表」参照

表-3 「5年度 けやき園栄養課郷土料理実施表」

月	郷土料理実施地域	月	郷土料理実施地域
4月	アメリカ	10月	東京都
5月	福井県	11月	茨城県
6月	新潟県	12月	岡山県
7月	愛知県	1月	徳島県
8月	スペイン	2月	神奈川県
9月	佐賀県	3月	韓国

(5) 選択食の提供

毎週金曜日を原則として、2種類の主菜からご入居者に選んでいただき、選ぶ楽しさを感じ

じてもらい、より一層楽しい食生活の提供を図りました。また、主菜に限らずデザート等選択してもらうようにしました。

(6) 非常食の管理

非常食用食材の管理と賞味期限の維持に努めました。

賞味期限が切れる商品から順次、新メニューへの商品と切り替えていきました。次年度も継続して行っていきたいと思います。

(7) 衛生管理

以下の衛生管理項目について、その確実な実施に努めました。

- ・ 毎朝・夕残留塩素の測定の実施（記録あり）
- ・ 寿司の日に実施する年3回の大掃除と掃除当番表の活用
- ・ 毎日終業時、手の触れる部分の次亜塩素酸消毒
- ・ 衛生管理マニュアルに沿った衛生管理の徹底
- ・ 健康管理に留意（チェックリスト記録）
- ・ 毎月の検便検査
- ・ 食器消毒保管庫による食器の温度消毒の実施（90度以上・30分以上）
- ・ 中心温度の測定（加熱食品の中心温度85度以上・1分）

(8) 嗜好調査・食事満足度調査の実施

① 嗜好調査

食事摂取状況や選択食のアンケート集計により、ご入居者の嗜好の把握に努めました。

② 食事満足度調査

食事満足度調査期間：令和5年12月11日（月）～令和5年12月18日（月）（ショートステイを除く）

ご入居者へ毎日の食事や行事食に対する感想やご意見等をアンケート調査しました。概ね、食事に満足しているとの回答を得られましたが、食事に係るご要望に応えながら引き続きサービスの向上につなげていきます。

V 特別養護老人ホーム もみの樹園

施設の概要

- 1 定員 介護老人福祉施設 もみの樹園 (ユニット型) 130名
 老人短期入所事業 (ショートステイ もみの樹園) 20名
- 2 事業開始 ユニット型 平成27年6月1日
- 3 所在地 〒161-0034 東京都新宿区上落合 1-17-8
 TEL 03-6915-3001 FAX 03-6915-3002

4 職員体制

(令和6年3月31日現在)

部署	職名	常勤	非常勤	合計	備考	
管理者	施設長	1		1		
総務課	事務長	1		1		
	事務員	2		2		
	宿直員		3	3		
	営繕職員		1	1		
介護課	介護職員	65	9	74	内2名は介護支援専門員兼務	
医務課	嘱託医師 (内科・精神科)		2	2	委託契約	
	看護職員	3	7	10		
	機能訓練	理学療法士	2		2	
		看護師	0		0	
		音楽療法士	0	2	2	
生活課	生活相談員	3		3		
栄養課	管理栄養士	1		1		
	栄養課職員	4	3	4		
介護支援専門員		専従1・兼務3		4 (3)	()は兼務再掲	
保育課	保育士	9	4	13		
	管理栄養士	1		1		
	事務員					
地域事業課	管理者	(1)		(1)	施設長兼務	
	相談員・介護職員	7		7		
	看護師	2	0	1 (1)	()は兼務再掲	
	事務員	0		0		
合計		102	31	133		

他 産業医 (1名) 委託契約

総務課 事業報告

1 総務課事業計画目標の総括

- (1) コロナの影響により、ご入居者やご家族に対して、長きに渡って、ご不便をかせてまいりましたが、常に笑顔を絶やさず、職場環境も常に清潔に保つと共に、ご入居者やご家族の立場に立った目線で、窓口対応や電話対応を実施したことにより、ご入居者やご家族から、応援の言葉を頂くと共に、御礼の言葉を頂きました。
- (2) 業務に優先順位を付けたり、現在、行っている業務はどんな役割があるのかを常に念頭に置いて業務遂行する事により、無駄な業務を排除し、時間の有効活用により、残業時間の短縮が図れました。
また、お互いの業務内容を理解することにより、担当以外の業務についても補完できるようになり、サービスの質を落とすことなく効率化が図れました。
今後、担当業務の割振りの変更についても実施していく予定です。
- (3) 町内会や落合第二小学校との合同での祭りや餅つきを、感染防止対策の徹底により開催する事ができました。また、季節に応じたイベント（節分・ひな祭り・初詣等）を実施すると共に、各ユニットでのケーキバイキングやおやつ作り等、少しでもご入居者に楽しんでいただけるよう努めました。

2 活動報告

- (1) 職員 1 人ひとりが、介護従事者であると自覚を持った行動を心がけ、コロナ感染を極力防止できる対応がとれました。また、職員についても、退職職員から退職理由を聴き取り、園全体で対応したことにより離職率の低下が図れました。
- (2) 各課の担当業務をお互いが理解することにより、部署間の連携を図ることが出来ました。また、自由発想によるコスト削減案の意見交換を日常的に実施した事により、個々がコスト意識を自覚すると共に、業務の優先順位付が個々で判断できるようになりました。
- (3) 社外研修については、オンライン形式にて積極的に参加させ、個々のレベルアップを図りました。また、コスト意識についても、無駄な物品と必要な物品の判断ができるようになり、コスト意識の認識が浸透し、コスト削減につながりました。
- (4) コロナ禍であったため、ご入居者の家族とのコミュニケーション時間が増え、家族の立場に立った窓口・電話対応を心がけた事で、ご家族の不安な気持ちを少しでも和らげる事ができ、ご家族より感謝の言葉が頂けるようになりました。

《安全衛生関係》

- (1) 労働安全衛生法に基づき、職員の安全衛生に資する取り組みについては、労働環境の特質として入居者居住環境にも配慮して、労働災害防止と環境衛生設備の適正な管理に努めました。また、産業医の施設内巡視による指導・助言により、適切な職場環境の構築を図りました。

安全衛生委員会の開催及び健康診断については、次表の「安全衛生委員会開催状況」、「職員健康診断実施状況」を参照。環境衛生については、後ページ「主な点検・検査実施状況」を参照。

安全衛生委員会開催状況

No	開催日	議 題
1	令和5年4月19日	① 産業医巡視報告について ② 職員による館内巡回について ③ モチベーションを上げるポイントについて ④ 職員健康診断について
2	令和5年5月17日	① 産業医巡視報告について ② 職員による館内巡回について ③ 価値ある雑談について
3	令和5年6月21日	① 健康診断結果報告について ② 職員による館内巡回について ③ 職場におけるハラスメントについて
4	令和5年7月19日	① 産業医巡視報告について ② 職員による館内巡回について ③ スタミナ・疲労回復する食事について
5	令和5年8月16日	① 産業医巡視報告について ② 職員による館内巡回について ③ 熱中症
6	令和5年9月27日	① 産業医巡視報告について ② 職員による館内巡回について ③ インフルエンザ予防接種について
7	令和5年10月18日	① ストレスチェック実施について ② 職員による館内巡回について ③ 定期健康診断実施について
8	令和5年11月（書面）	① 産業医巡視報告について ② 職員による館内巡回について ③ 職場巡視から見えてくる防災対策 ④ 冬に流行する感染症について
9	令和5年12月20日	① 職員による館内巡回について ② ストレスチェック実施報告 ③ 救急処置～心肺蘇生について
10	令和6年1月17日	① 産業医巡視報告について ② 職員による館内巡回について ③ 定期健康診断の結果について ④ 仕事の生産性を上げる睡眠管理術について ⑤ フロアーの救急箱の確認について
11	令和6年2月（書面）	① 感染症について ② 職員による館内巡回について

12	令和6年3月15日	① 産業医巡視報告について ② 職員による館内巡回について ③ 花粉症の予防と対策について
----	-----------	---

職員健康診断実施状況

実施日	対象者	受診者数
令和5年5月	全職員対象	102名
令和5年10月	介護従事職員、夜勤従事職員	67名

主な消毒・清掃実施状況

No	実施日	業者名	内容	備考
1	年3回	エクレ(株)	グリストラップ清掃	7/31、11/13、3/12
2	年2回	エクレ(株)	害虫駆除	7/18、1/31
3	年2回	エクレ(株)	受水槽・井水槽清掃	8/9、3/5
4	年1回	エクレ(株)	雑排水槽清掃	7/21
5	週5日	サクセス [®] ランニング(株)	定期清掃	

主な点検・検査実施状況

No	実施日	業者名	内容	備考
1	年2回	(株)東新商会	消防設備点検	動作確認
2	毎月	(株)エムビックらいふ	細菌検査	保育士・調理従事者
3	年2回(2月・8月)	エクレ(株)	水質検査	ビオ [®] 細菌含む
4	年6回	関東電気保安協会	自家用電気工作物的点検	
5	毎月	(株)日立ビルシステム	エレベーター点検	
6	年4回	(株)マリフトコーポレーション	ダムウェーター点検	
7	年4回	(株)アプラス	機械式立体駐車場点検	
8	年3回	(株)安藤ハザマ	空調設備点検清掃	
9	年2回	(株)ザイマックス	建築設備点検	

《防災業務関係》

(1) 日常防災管理の適切な実施

当園のご入居者・ご利用者は、火災・地震発生時に自力での身体の安全確保や、自力での避難が困難な障害を持つ方が多いため、日頃より、防災訓練を通じて、全職員に施設の安全対策及び災害対策知識を持たせるとともに、自主点検により適切な管理を実施してきました。

また、防火管理者による建物及び防災設備の定期点検はもとより、職員一人ひとりに対

し、防災意識向上の啓発に努めました。

※中途入職に関しては、オリエンテーション時に教育を実施。

(2) 防災訓練の実施

本年は、地震及び火災発生を想定した全体の防災訓練、夜間時の防火訓練及び洪水訓練を3回実施しました。(コロナまん延によるユニット閉鎖等により、予定していた、2回の訓練は実施できず)

次年度は、事業計画に沿った防災訓練を実施します。

*別掲「防災訓練実施状況」を参照

(3) 防災管理委員会の開催

本年は、防災管理委員会を年4回開催しました。委員の職員を通して、全職員への防災意識の向上が図れました。

*別掲「防災管理委員会開催状況」を参照

(4) 消防用設備の適正な保守管理

消防用設備の保守管理は、消防設備士を有する設備業者により、6月13日及び12月1日に点検を行い、消防法の規定に基づき、消防署への「消防用設備等(特殊消防用設備等)点検結果報告書」を提出しました。

また、当該点検で不具合が認められた設備等については、速やかな交換修理を行い、正常監視、正常作動を確保しています。

(5) 自衛消防訓練審査会への参加

火災発生時の行動力向上に前向きに取り組み、短期での集中訓練成果が得られるねらいと併せ、消防機関との連携強化も踏まえて、新宿消防署が主催する自衛消防訓練審査会に出場する予定でしたが、参加予定職員の突然の退職により中止となりました。

防災訓練実施状況

実施日	訓練種別	訓練内容	参加人数
9月1日	総合訓練 (激震災害 想定)	激震想定 of 総合訓練。地震発生 of 初動措置、 災害救助活動、火災発生も想定した訓練を 実施。	入居者 8 職員 42 (保育2名含む)
10月6日	夜間訓練 (激震災害 想定)	激震想定 of 夜間訓練。地震発生 of 初動措置、 災害救助活動、火災発生も想定した訓練を 実施。	入居者 2 職員 12 (保育2名含む)
10月6日	洪水時の 避難確保	神田川が洪水した想定で訓練を実施	入居者 4名 職員 34名 園児 2名

防災管理委員会開催状況

回	開催日	議 題
1	4月21日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ○ もみの樹園消防計画について ○ 自衛消防隊組織再編成について ○ 自衛消防審査会中止について ○ 備蓄品の確認について
2	7月21日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 夜間想定防災訓練実施について(未実施) ○ 消防設備点検(6/13)の報告
3	10月27日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総合防災訓練実施について ○ 9/1 総合訓練の報告
4	1月26日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和5年度総合訓練について ○ 消防設備点検(12/6)の報告 ○ 夜間・洪水訓練(10/6)の報告

《連絡調整会議の開催》

お互いの仕事への理解と情報共有の為、毎月1回、開催しています。

連絡調整会議開催状況

開催日	議 題 内 容
4月19日	<ul style="list-style-type: none"> ○ コロナ予防対応及びPCR検査について ○ 面会・外出の再開について ○ コロナワクチン接種について ○ 令和4年度年度事業報告について ○ 東京都からのパルスオキシメータ無償譲渡について ○ 各種処遇改善について ○ 部署間の役割分担の明確について
5月17日	<ul style="list-style-type: none"> ○ コロナ予防対応及びPCR検査について ○ 面会・外出・外泊再開について ○ 令和5年度施設調査書について ○ コロナワクチン接種について
6月21日	<ul style="list-style-type: none"> ○ コロナ予防対応及びPCR検査について ○ 自然災害時の対応について ○ EPA職員受入れについて ○ サーティスホテルマネジメント撤退について ○ 光熱費の高騰について

7月19日	<ul style="list-style-type: none"> ○ コロナ予防対策及び PCR 検査について ○ 災害対策について ○ 東京都実地検査準備について ○ 理事長交代について ○ 納涼祭開催方法について ○ 職場体験再開について
8月16日	<ul style="list-style-type: none"> ○ コロナ予防対策及び PCR 検査について ○ 熱中症予防について ○ EPA 職員配属について ○ 町内会・小学校合同夏祭りについて（神輿・山車） ○ 敬老会開催方法について
9月27日	<ul style="list-style-type: none"> ○ コロナ予防対策及び PCR 検査について ○ コロナ・インフルエンザ予防接種について ○ 防災・減災について ○ アルツハイマー治療薬実用化について ○ 新宿区秋会議室の登録について
10月19日	<ul style="list-style-type: none"> ○ コロナ予防対策及び PCR 検査について ○ 東京都実地検査について ○ 介護保険最新情報について ○ パンフレット改定について ○ ストレスチェックについて ○ 令和5年度上期の人事考課について ○ フロア一等のワックス清掃について ○ 健康診断について ○ 第三者評価について
11月15日	<ul style="list-style-type: none"> ○ コロナ予防対策及び PCR 検査について ○ 合同餅つき大会について ○ ストレスチェックについて ○ クリスマス会開催方法について ○ 東京都の実地検査について ○ 年末年始の面会中止について
12月19日	<ul style="list-style-type: none"> ○ コロナ予防対策及び PCR 検査について ○ コロナワクチン接種（入居者）について ○ 年末年始の行動様式について ○ 初詣について ○ ストレスチェック結果について ○ 還元面談について ○ 理事長変更について

1月17日	<ul style="list-style-type: none"> ○ コロナ予防対策及びPCR検査について ○ 令和6年度介護報酬改定について ○ 全館停電について
2月21日	<ul style="list-style-type: none"> ○ コロナ予防対策及びPCR検査について ○ 令和6年度年度事業計画について ○ 東京都の実地検査について（本部のみ） ○ BCPの作成について
3月20日	<ul style="list-style-type: none"> ○ コロナ予防対策及びPCR検査について ○ 令和6年度年度事業計画について ○ 入社式について ○ BCPの各課回覧（修正・追記）について ○ バカンス休暇について ○ デイサービス運営推進会議開催（対面）について

《福祉サービス第三者評価の受審と公表》

経営創研㈱による第三者評価を受審しました。評価の結果は、「とうきょう福祉ナビゲーション」に公表されます。

評価過程	実施日	対象人数
契約日	令和5年 8月 2日	—
利用者調査（面接聴き取り）	令和5年 12月 12日	15人
利用者調査結果報告日	令和6年 2月 7日	—
職員自己評価結果報告日	令和6年 2月 7日	78人
訪問調査日	令和6年 2月 13日	—
評価合議日	令和6年 3月 5日	—

《福祉避難施設意見交換会》

新宿区及び新宿区の幾つかの施設において、年3回（例年は4回）福祉施設避難所としての意見交換会を実施しました。（開催は対面式で3回）

《落合第二小学校の仕事体験受入れ》

コロナの影響により中止となりました。次年度は、受け入れを予定しています。

《EPA職員》

今年度は介護福祉士試験に3名全員が合格し、内3名が継続して当園にて従事する事になりました。（1名産休取得予定）尚、当年度の受け入れ3名を受入れています。

《地域との交流》

今年度は、コロナ対策を踏まえ、合同餅つき大会（町内会・落合第二小学校合同）、お神輿

を感染対策の徹底により実施する事が出来ました。また、昨年まで中止していました、町内会のお祭りや盆踊り等の地域との交流行事についても、感染対策の徹底を図り参加する事が出来ました。

令和 5 年度 多目的ホール利用記録

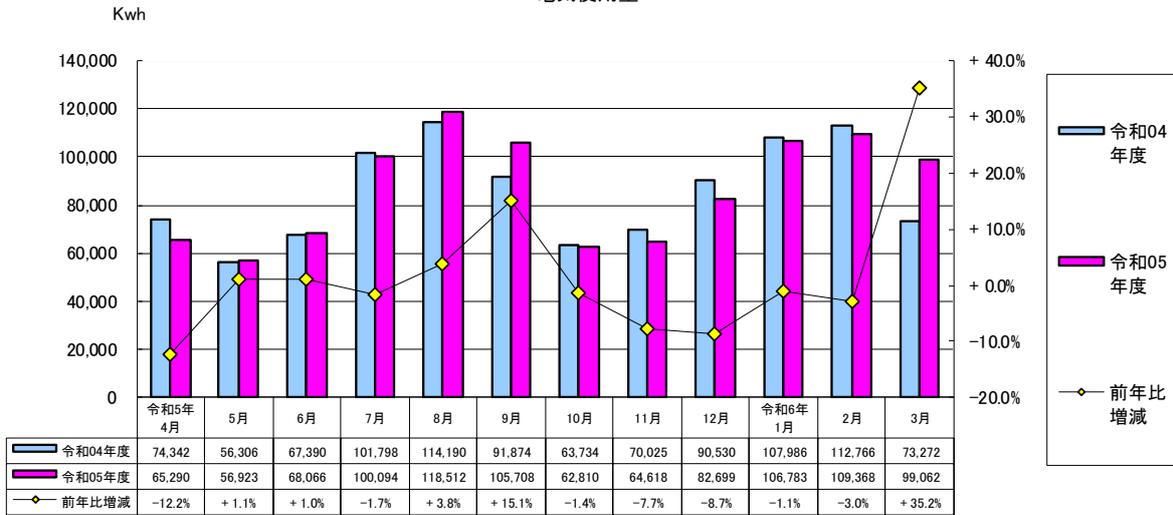
今年度は、2月より外部への貸出を再開しました。

令和 5 年 12 月 9 日 社会福祉協議会へ貸出し（フードパントリー）

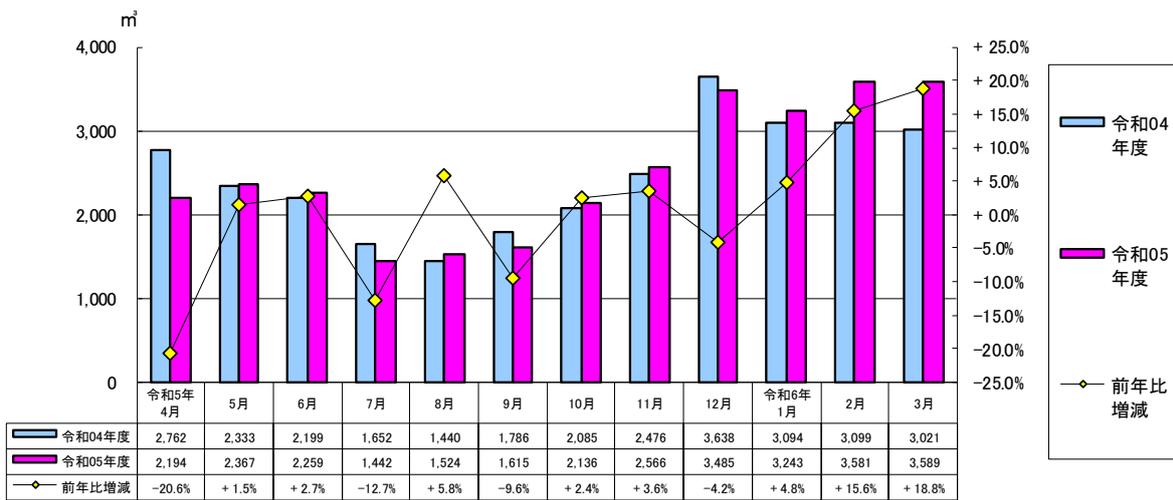
令和 6 年 1 月 31 日 社会福祉協議会へ貸出し（車椅子の講習会）

令和5年度 もみの樹園 光熱水使用量

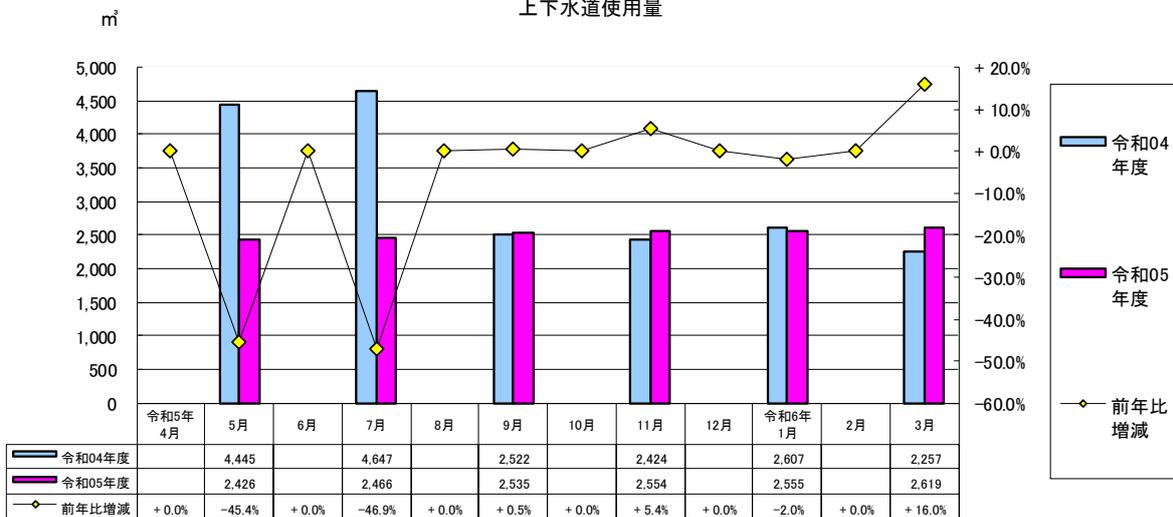
電気使用量



ガス使用量



上下水道使用量



《広報活動》

広報紙の作成では、3園合同テレビ会議にて広報委員会を開催し、【園盛会だより】を発行しました。感染症の影響もありましたが、ユニット毎に行った施設行事やレクリエーションの様子を掲載し、ご入居者が楽しまれている様子をご家族に見て頂けるよう工夫しました。

ホームページトピックスは、ご家族が面会に来られない日々が続いている為、イベントやユニットレクリエーション、散歩、体操、など、ご入居者が過ごされている日常の様子を掲載しました。月末に更新できるように準備を進め、定期的に掲載することを委員内で周知しました。

《ボランティア活動》

感染症対策によるボランティア活動受け入れ自粛を受け、ご自宅での活動が可能な方のみ継続して頂きました。余暇活動では、書道クラブ講師1名の活動をしました。

まず『書道クラブ講師』の方には毎月のお手本を作成頂き、郵送にてやり取りをしました。感染症対策によりクラブが開催できない日もありましたが、その場合は翌月に繰り越して使用しました。

社会福祉協議会との連携については、ボランティアの受け入れを実施できませんでした。

別紙「令和5年度ボランティア活動実績表」を参照

令和5年度ボランティア活動実績

	活動内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	書道クラブ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	作品作り													
	しめ縄作り													
	拡大写本・歌詞本作成													
	(団体数)													
	月別合計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

※特記事項：感染症対策の為、ご自宅での活動（書道お手本作成）及び材料のやり取りを行う

介護課 事業報告

1 介護課事業計画目標の総括

(1) 「知識・技術の向上と信頼関係を深めより良いサービスの提供に努める」について

5月に新型コロナウイルスが感染症5類に移行したことにともない、7月にご家族の面会時間拡大や面会人数制限、外出・外泊制限の撤廃等、約4年ぶりのほぼ通常の施設運営に戻りました。当初は感染症の持ち込みの懸念もありましたが、ご家族のコロナ感染による施設内感染は年間をとおして1件だけに留まりました。

面会の制限がなくなったことで、日頃の様子やご入居者に関する相談を直接できるようになったことから、ご家族の不安軽減と関係構築がより円滑に行えるようになりました。

この関係構築により、ご入居者の支援方法をご家族と一緒に考えたり、協力をいただきながら、一緒に介助を行う場面も増えてきており、日頃の施設生活への理解と協力体制の強化にもつながっています。

職員においては、職員自身もご入居者の生活空間における「環境」であることを意識して、「自分の家族がされたら」、「あなたの大切な人に置き換えてご入居者と関わる」等を考えながら、日々の支援に努めました。

意識はしながらも、認知症への理解不足による対応の間違いや、業務で忙しい最中での落ち着いた対応ができない場面なども散見される現状がみられたため、次年度はご入居者理解を深める勉強会の実施や接遇面の強化に取り組み、より良い環境・より良いサービスの提供に努めていきます。

感染症の対応については、今年度も年間をとおして、全館の換気や定期消毒を実施し、感染症予防対応の徹底を図りました。また、万一の施設内発生に備え、防護服の着用や発生時の動線確認等のシミュレーションを行いました。

今年度の感染症の施設内発生の内訳としては、新型コロナウイルスは5回（ご入居者感染は計35名）、インフルエンザは2回（ご入居者感染は計4名）、ノロウイルスの発生はありませんでした。

それぞれの対応時には、職員も感染してしまい、対応に苦慮する場面もありましたが、該当フロア職員の頑張りや多職種との連携・協力によって、収束することができました。

次年度も季節に関わらず感染症発生が予想されますが、予防対応と発生時の適切な対応に努め、ご入居者が安心して生活できる環境づくりに取り組んでいきます。

(2) 「業務の見直しを図り、効率化やメリハリのある仕事をする」について

今年度は、介護課のみならず施設全体の連携強化・業務効率化を目的として、医務課・生活課・介護課の3部署間での業務棲み分けを明確化しました。

今までは発生した事案に対して、「どこの部署が対応するのか」「どの部署がご家族に連絡するのか」等、曖昧になっていた部署間の役割を明確にしたことで、発生した事案によって該当部署が主体的かつ責任を持って対応でき、ご入居者に体調変化があった際も以前より迅速に対応できる体制が整いました。また、職員も不安なく対応できるようになりました。

また、夜勤帯でのご入居者の急変時の連携・連絡体制やルールの再設定、書類提出期限の再設定を行い、統一したルールの元、円滑・効率的に業務遂行できる環境を整えました。

各ユニットでも業務改善については毎日のミーティングから話し合わせ、少しでも業務効

率を図り、生まれた時間をご入居者支援に還元する等、有効活用する動きが見られています。

(3)「あらゆるコストを意識し、節約に努める」について

水道光熱費はもちろんのこと、可能な限り紙ではなく、PC 上での伝達や社内メールの活用によるペーパーレス化に努めました。業務効率化の検討・取り組みによる残業時間の削減にも取り組みました。

次年度もコスト（コストパフォーマンスとタイムパフォーマンス）への意識と適正な業務運営の両方を意識しながら、部署運営に努めていきます。

(4)「稼働率の安定と向上にむけ、やるべきことを遅滞なく行う」について

主に生活課と日頃から連携をとりながら、新規入居者の受け入れ予定や現在の待機者状況を把握し、介護課内では常に居室内の環境整備を整え、円滑な受け入れに努めました。結果として、施設の高稼働率確保に貢献できました。

2 介護課主要行動施策の総括

(1)「充実した生活支援と実践したサービスが見える取り組みの実施」について

安心・安全な生活環境の提供と少しでもお一人おひとりの個別性に配慮した支援を行うため、会議・委員会を有効活用しながら、実践しました。

具体的には、排泄委員会でのケア困難事例の検討～実践。事故防止検討委員会では、大きな事故には至っていないものの、転倒や滑落が多い方がこの先、骨折等につながらないよう環境整備や支援方法の検討～実践を行いました。

また、強い認知症状等で対応に苦慮している場面においては、毎月の主任会議で情報共有し、意見交換した内容を参考に実践することで、少しでも円滑な支援が行えるよう取り組みました。

サービスが見える取り組みとしては、ケース記録の充実に取り組みました。

今までは、提供している支援やご入居者の細かな変化まで記録を見ただけでは十分に把握しきれないという課題が少なからずありましたが、部署全体で意識的に取り組んだことで、より詳細な記録が入るようになり、ご家族への情報提供の場面や病院受診時に大いに役立てることができました。また当然のことながら、ご入居者に携わる職員もより共通理解を持って、ご入居者お一人おひとりに適した支援の提供にも役立てられました。

(2)「一人ひとり～部署全体のレベルアップを目指した育成体制の構築」について

今年度も引き続き、新入職員に対してのエルダー制度を活用しての育成、EPA 候補者の学習・就労支援の取り組みにおいては、業務独り立ちや EPA 候補者（6 陣）3 名の介護福祉士合格など、成長につなげることができました。

現任職員については、手技の改善や向上にむけて、上司による個別指導やユニット会議内で勉強会を実施しました。さらに個人行動目標の進捗管理や還元面談、必要時に適宜面談を実施し、現在地の確認や今後の目標達成に向けた助言・指標を示すことで、成長支援につなげました。

また、今年度も部署全体の更なる活性化と職員のレベルアップを目的とした一般職員（10 名）のフロア異動を実施しました。始めのうちは環境変化に慣れるまで異動する職員・受け入れる職員の互いが大変な一面もありますが、双方が良い刺激を受け、相乗効果が生まれており、職員の間では、異動はとても前向きなものとして捉えられています。今後も定期的にフロア異動を行い、全体のレベルアップを図っていきます。

また、今年度は、昨年度実現できなかった「オンライン研修・勉強会」が行える環境を整備することができました。これにより職員の成長機会と学習意欲、自主性の向上に役立てることができました。

今後も職員一人ひとりが自身の成長を感じながら、安心して働ける環境構築に努めていきます。

(3) 「安全・安心な環境で楽しめるアクティビティの実施」について

行事については、新型コロナウイルスの感染症 5 類移行にともない、昨年度よりもさらに「少しでも以前のような行事に近付けられないか」を考えながら、行事委員会を中心に協議し、開催しました。

納涼祭に関しては、5月の感染症分類移行後間もないこともあり、ご入居者と職員のみでの開催としましたが、敬老会、クリスマス会では会場にご家族専用の観覧スペースを設け、一緒に参加していただきました。さらに、地域のダンスサークルや合唱グループもお招きして、披露していただくなど、コロナウイルス前の状況が少しずつ戻ってきた行事の開催になりました。

また、ご家族参加型での衣料品販売会を春、秋の 2 回開催。近隣の神社への初詣も昨年度に引き続き出かけることができました。

地域交流行事は、昨年度に引き続き、11月に地域町内会との餅つきを開催しました。ご希望者は、町内会の方のサポートを受けながら、実際に御餅を搗き、見学される方も含め、楽しまれていました。

クラブ活動は、昨年度に引き続き、外部のボランティア講師にお願いしている華道クラブは中止し、書道クラブは運営方法を一部変更して実施しましたが、参加されているご入居者には楽しんでいただけました。

ユニットレクリエーションも昨年同様、フロア単位のレクリエーションから少人数～個別のレクまで、バラエティー豊かに実施しました。特に各フロアでは趣向を凝らした「おやつ作り」が定期的に行われ、ご入居者と職員とが一緒に楽しい時間を過ごすことができました。

次年度は、感染症に関しては、通常の医療提供体制に戻るようになるため、私達の意識も部署運営も以前のように戻していく必要があると思います。すでに次年度の再開にむけた「日帰り旅行」実施を検討しています。この約 4 年間、ご入居者の皆様にも我慢やご不便をかけていた施設生活ですが、少しでもコロナ以前の生活と楽しく、充実した行事やレクリエーションが提供できるよう環境づくりに職員一同で取り組んでいきます。

(4) 「ご入居者が快適に暮らせる生活環境の提供」について

定期～随時の居室清掃を実施し、ご入居者の皆様が日々快適に生活できるよう取り組みました。また、設えや備品の不具合や故障は迅速に修繕し、生活の中で不便のないよう整備しました。

3 活動報告

(1) 事故防止検討委員会の定期開催について

毎月、前月に発生した事故やヒヤリハット事例を委員会の中で今一度再検証し、防止策の取り組み状況等の確認を行いました。後日、主任会議や各フロアでのユニット会議でも情報提供し、事故に対する意識づけを行いました。

また、今年度も引き続き「クオリティインプロブメント」(より質の高いサービスを提供

することによって多くの事故が未然に回避できる) という考え方を軸に協議を行いました。法人内他施設の事故発生状況や内容の情報共有については、各園の安全対策担当者と年 3 回意見交換を回行い、共有しました。

事故については、発生ユニット職員での原因追及に加え、必要に応じて、多職種も交えて現場での再現検証や職員聞き取り等を実施し、再発防止に努めました。

転倒・滑落が多いご入居者に対しては、事故報告書の有無に関わらず、委員会の中で取り上げ、発生状況の確認や日頃の生活の様子等を共有し、皆で未然に防ぐ方法を検討したことで、支援方法の改善・向上と事故も軽減することに多少なりともつながったと考えます。

年間に発生した事故は 75 件と前年度より約 29%減少しましたが、職員起因による事故が 46 件と 50%以上を占めている点に引き続き課題を感じています。

「手順通りに行く」「介助方法の確認」を守るだけで、大きく施設内の事故は減少できるため、職員同士が確認し合い、ときには教え合いながら、ヒューマンエラーをなくすことで、事故を未然に防ぎ、安全・安心の生活環境を提供できるよう取り組んでいきます。

別紙「事故防止検討委員会開催状況」を参照。

(2) 主任会議の定期開催

各委員会で話し合った内容や周知事項を職員全体にしっかりと共有できるよう、会議内で報告する機会を設け、円滑な施設・部署運営に努めました。

今年度においても、新型コロナウイルス関する対応をはじめ、多職種連携や部署の課題解決に向けた協議を行いました。

別紙「主任会議開催状況表」を参照。

(3) 排泄ケア向上委員会の定期開催

活動の詳細については別紙「排泄ケア向上委員会」開催状況表を参照。

(4) 家族交流の活性化支援

面会時や日頃のご様子に関してのお問い合わせがあった際には、細やかな情報提供を行い、ご家族の皆様が安心していただけるよう支援に努めました。また、体調面や生活面での変化が見られた際には、多部署と連携を図り、迅速な状況報告を行ったことで、信頼関係の維持・向上につなげることができたと考えます。

「一家族につき、週に 1 回、1 時間以内」という面会制限も新型コロナウイルスが 5 類感染症に移行されたことにともない、7 月より面会の回数や人数制限の撤廃や外出・外泊の制限も解除しました。

感染症予防対応を継続しながら、ご家族の皆様が安心して信頼される関係が構築できるよう努めていきます。

別紙「介護課全体 面会・外出・外泊表」参照。

(6) 整容支援

整容については、チェック表を活用して、定期的にご入居者にご利用いただき、希望に沿ったヘアスタイルを楽しんでいただけました。実施の際は、カットについては 1 階の多目的ホールを使用し、パーマや毛染めは専用のサロンカーで行いました。

整容については、起床時や食事前、入浴時等、居室やユニットから出る時には身だしなみを整えて、いつでも清潔で気持ち良く過ごしていただけるよう支援しました。

別紙「整容利用状況表」参照。

主任会議事業報告

1 活動報告

連絡調整会議開催後ということもあり、施設運営に関わる事案もすぐに共有でき、その際に検討議題が発生した際も迅速に協議することができました。

主任会議実施状況報告

総括	実施責任者	委員
施設全体～部署内で起こっている様々な課題を共有しながら、それらの改善にむけた検討や多職種との連携強化にむけた協議を行いました。	運営責任者 宮本義輝	(主任) 布施健太郎・相馬修 阿部大輔・小室千聡 (副主任) 藤井俊幸・五十川恵美 鈴木香織・加藤麻由美
開催日	議 題 内 容	
4月19日	各委員会より情報共有・看取り対象ご入居者の対応について 他	
5月17日	各委員会より情報共有・根拠・理由を理解したご入居者支援等について 他	
6月21日	各委員会より情報共有・多職種での連携強化について 他	
7月19日	記録の重要性・共通書式を活用した業務効率化への取り組みについて 他	
8月16日	各委員会より情報共有・部署内のルールの一統化について	
9月27日	各委員会より情報共有・夜間緊急時の対応について 他	
10月18日	各委員会より情報共有・チームワークについて 他	
11月15日	各委員会より情報共有・事故発生後の対応について 他	
12月20日	各委員会より情報共有・職員応援を出す際の決まりについて 他	
1月17日	各委員会より情報共有・感染症対応の確認について 他	
2月21日	勤務形態の見直しについて・次年度の委員会・クラブ活動について 他	
3月20日	各委員会より情報共有・次年度の主任会議について 他	

排泄ケア向上委員会事業報告

1 活動報告

今年度は、「TENAに関する知識を勉強し、適切なパッドを使用できるようにする。自然排便で快適に過ごしていただく。」を目標にご入居者個々のアセスメントを実施しながら、目標達成に向けて取り組んできました。

各フロアの困難事例については、委員会内で意見交換を行い、改善に取り組んだことで排泄ケアに対する意識の向上を図ることができました。

一方、自然排便に対する事例検討については、委員会メンバーだけでなく、多部署の様々な視点を含めながら、検討する必要性を感じた一年となりました。

また、新入職員をはじめ、中途職員や手技に不安のある職員を対象とした「オムツの当て方研修」を開催し、TENAアドバイザーの指導の元、知識と技術の向上に取り組みました。

今年度の課題を踏まえ、次年度も個別性に配慮した排泄ケアの実現に向け取り組んでいきます。

排泄ケア向上委員会実施状況報告

総括		実施責任者	委員
<ul style="list-style-type: none"> ・アドバイザーの助言をもらいながら各事例に対する意見交換を行い、排泄ケアに関する意識の向上を行うことができました。 ・介護技術の向上を目的とした「オムツの当て方研修」を実施しました。 		運営責任者 宮本義輝 進行責任者 布施健太郎	布施・持田・井手・稲生 長内・齊藤・渡辺・中本 オブザーバー：ユニチャームメンリッケ(株) 柴田様
開催日	議 題 内 容		
6月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度年間計画の確認・排泄アセスメントについて ・新入職員及び中途職員向けのTENA研修について 		
8月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・各フロア事例検討発表、質疑応答 		
9月4日	<ul style="list-style-type: none"> ・TENA オムツの当て方研修の実施 		
10月3日	<ul style="list-style-type: none"> ・TENA オムツの当て方研修の実施（2回目） 		
10月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・各フロア事例検討発表、質疑応答 		
11月6日	<ul style="list-style-type: none"> ・TENA オムツの当て方研修の実施（3回目）EPA職員対象 		
12月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・各フロア事例検討発表、質疑応答 		
2月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・各フロア事例検討発表、質疑応答 ・今年度の振り返り、次年度に向けて意見交換 		

※4月は感染症対応のため、書面開催としました。

書道クラブ実施状況報告

クラブ活動総括		担当講師名	担当者名
<ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス対応が緩和されましたが、感染予防に努めながら、開催しました。 ○ 毎回、各階で初参加のご入居者を募り、クラブに定着していただけるように努めました。 ○ 1階のエレベーターホール前に展示し、面会時のご家族に楽しんでいただけるよう工夫しました。 		—	川田義人 濱崎菜摘 成田友美 黒澤璃音
開催日	実施内容	参加人数	
4月25日	「花見」「春」などの行書、楷書体からお好きなものを選んでいただき、楽しんでいただきました。	14	
5月23日	「若葉」「母の日」などの行事、楷書体からお好きなものを選んでいただき、楽しんでいただきました。	12	
7月25日	「海水浴」「なつ」などの行書、楷書体からお好きなものを選んでいただき、楽しんでいただきました。	18	
8月22日	「花火」「夏草」などの行事、楷書体からお好きなものを選んでいただき、楽しんでいただきました。	15	
9月26日	「爽秋」「長月」などの楷書体からお好きなものを選んでいただき、楽しんでいただきました。	12	
10月24日	「晩秋」「かぼちゃ」などの楷書体からお好きなものを選んでいただき、楽しんでいただきました。	14	
11月28日	「白菜」「からかぜ」などの楷書体からお好きなものを選んでいただき、楽しんでいただきました。	15	
12月26日	「クリスマス」「年の一」などの楷書体からお好きなものを選んでいただき、楽しんでいただきました。	10	
1月23日	「元旦」「お年玉」などの楷書体からお好きなものを選んでいただき、楽しんでいただきました。	11	
2月27日	「旧正月」「雪間」などの楷書体からお好きなものを選んでいただき、楽しんでいただきました。	19	
3月26日	「春場所」「ぺんぺん草」などの楷書体からお好きなものを選んでいただき、楽しんでいただきました。	8	
合 計		148名	

※6月は都合により、中止しました。

カラオケ合唱クラブ実施状況報告

クラブ活動総括		担当講師名	担当者名
○ 新型コロナウイルス等、感染症予防の観点から、距離を取りながら、カラオケを楽しんでいただきました。 ○ 5月からは2フロアごとに隔月の開催とし、ご入居者一人ひとりに目を向けられるよう努めました。		—	元木穰史 山口綾架 杉山結花 四分一薫
開催日	実施内容	参加人数	
4月10日	季節の歌やご入居者からリクエストに応じながら、皆で楽しみました。	25	
5月9日	2階と5階のご入居者を対象に実施しました。季節の歌やリクエストされた8曲を歌いました。	9	
6月12日	3階と4階のご入居者を対象に実施しました。リクエスト曲の他に馴染みのある曲を中心に皆で歌いました。	17	
7月10日	感染症対応中にともない、ご入居者を2フロアに分け、2か所で開催しました。	10	
8月14日	3階と4階のご入居者を対象に実施しました。季節の歌や歌謡曲リクエスト曲に応じながら、楽しみました。	14	
9月11日	2階と5階のご入居者を対象に実施しました。リクエスト曲の他童謡や唱歌を中心に楽しみました。	10	
10月10日	2階と3階のご入居者を対象に実施しました。季節の歌やリクエスト曲の他、パタカラ体操にも取り組みました。	9	
11月14日	4階と5階のご入居者を対象に実施しました。季節の歌やリクエスト曲に応えながら、皆で合唱する等して楽しみました。	10	
12月11日	全フロアのご入居者を対象に実施しました。リクエスト曲の他、クリスマスソングを皆で歌いました。	19	
2月12日	2階と3階のご入居者を対象に実施しました。今まであまり歌ってこなかった選曲にも元気に歌われる姿が見られました。	7	
合 計		130名	

※1月と3月は感染症対応につき、中止としました。

介護課全体 面会・外出・外泊状況表

	面 会		外 出		外 泊	
	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数
4月	101	289	25	29	0	0
5月	111	303	24	32	0	0
6月	108	499	36	50	0	0
7月	104	492	27	75	2	2
8月	98	524	22	56	0	0
9月	105	545	20	49	1	1
10月	108	608	22	47	1	2
11月	105	546	37	72	1	1
12月	115	607	31	69	1	1
1月	112	557	28	41	1	1
2月	110	632	37	54	1	3
3月	107	610	24	31	3	5
合 計	1,284	6,212	333	605	11	16

理美容利用状況表

区 分 月	理 容						備 考
	カ ット	顔 そり	パ ー マ	毛 染 め	シ ャ ン プ ー	利 用 人 数	
4月	52	4	1	1	1	54	希望時や1ヶ月に一度、2ヶ月に一度等、ご本人やご家族のご希望に沿って、定期的な支援できたことで、ご入居者の皆様に満足していただきました。
5月	55	2	1	2	0	57	
6月	52	1	0	3	1	57	
7月	56	4	0	2	1	57	
8月	55	1	1	1	1	56	
9月	54	1	1	2	0	55	
10月	50	7	0	2	1	53	
11月	59	2	0	4	0	60	
12月	53	7	1	2	3	55	
1月	51	2	0	3	0	53	
2月	65	8	0	3	3	67	
3月	40	3	1	1	1	41	
合計	642	52	6	26	12	673	

2 階介護課（特養部） 事業報告

1 2 階介護課事業計画目標の総括

(1) 「ご入居者との関わりを大切にし、一人ひとりのニーズに寄り添ったケアを行う」について

ご入居者とコミュニケーションを取り、そこで得た情報をケース記録やユニットノートに残し、職員間で共有しました。ご入居者の ADL 変化時には、介護課だけでなく関係部署と連携することで、現状のニーズや課題を整理し、その方に寄り添ったケアの提供を心掛けました。

また、日々の生活の中でレクリエーションや行事等の催し参加時の様子を撮影し、居室内に写真の飾りつけを行いました。ご家族の面会時、参加時の様子を写真で見えながら、職員から当時の様子をお伝えすることでご家族との信頼関係を構築するとともに、ご入居者自身の笑顔を引き出し、話しのきっかけ作りにもなりました。今後も取り組みを継続して行い、より生活の質が向上できるように努めていきます。

(2) 「職員同士で意見交換、情報共有を行い円滑なチームケアを目指す」について

朝・夕の申し送りの他、ミーティングや会議の場を活用し情報共有を行いました。職員から様々な意見が挙がりましたが、互いの意見を否定することなく、ご入居者にとって何が最善かを協議しながら、ご入居者の支援に活かすことができました。些細な状態変化があった場合でも、関係部署への報告・連絡・相談を徹底し、情報を共有することで早期発見・対応ができ、体調の維持や快適な生活を提供することができました。

また、職員から業務上の悩みや疑問があると相談を受けた際は、その都度、時間を設け、リーダーが個別に面談の実施や指導・助言を行い、問題解決に取り組みました。

(3) 「ユニットレクリエーションを定期的に実施し、普段に生活の中で楽しみを提供する」について

ご入居者からの要望が強く、例年開催しているスイカ割り大会を今年も実施しました。ユニットリーダーを中心に行事計画書を作成し、職員の役割分担やスケジュールを明記したことによって、スムーズな運営ができ、ご入居者の方々からも喜びの声をいただくことができました。前回開催時は、コロナ禍だったため、小規模での開催となりましたが、昨年度はユニット内だけでなく、フロア全体での開催を実現し、多くのご入居者に参加していただくことができ、夏の楽しい雰囲気を感じていただけました。

定期的なユニットレクリエーションの開催までは実施することはできませんでしたが、四季に合わせて園外へ散歩に行ったり、施設内の庭園を活用し、外気を感じていただくことで季節の変化を感じ取っていただきながら、気分転換の場を構築することができました。

介護課（ショートステイ） 事業報告

1 2階介護課（ショートステイ）事業計画目標の総括

(1) 「感染症対策の徹底と円滑な受け入れ態勢の整備」について

5月より新型コロナウイルスが感染症5類引き下げになったのに伴い、行動制限がない中でのショートステイ受け入れとなりましたが、ご利用者の体調管理を最優先とし、日々の手洗い・うがいの呼びかけや、ユニット内の換気及び消毒の徹底を行いました。

感染症における行動制限がないことで、職員の感染症に対する意識の低下も予想された1年となりましたが、定期的なPCR検査の実施やご利用者の体調変化が見られた際の他部署への報連相を図ったことで、一人ひとりが集団感染予防を意識した行動をとる事ができ、万全の状態を受け入れをすることができました。また、居宅ケアマネージャーやご家族とのコミュニケーションを密にとり、ご利用中のご様子や体調変化時の連絡等、安心して利用していただける環境を整備したことで、リピーターや新規ご利用者の確保に繋げることができました。

都内でのコロナ感染者は減少していますが、まだ施設内での感染対応や報告も数か月に一度の頻度で挙がっています。感染症に対する職員の意識が低下することなく、適切な対応が取れるよう定期的なシミュレーションの実施をしていきます。

(2) 「職員一人ひとりの介護技術の向上」について

在宅生活の継続を視野に入れながら、ご利用者一人ひとりのADLの変化に合わせた支援を行えるように試行錯誤しながら取り組みました。

介護技術向上に向けては、先輩職員が見本を示しながらアドバイスをすることで、職員一人ひとりの不安や悩みを解消することができました。介護技術向上に向けた勉強会の実施には至りませんでした。職員同士で支援方法の相談や検討は随時行うことができ、大きな事故もなく、安全にご利用者支援に取り組むことができました。

しかしながら、新たな課題も出てきました。一つ目が2月に発生したご利用者の離設事故に対する初動対応です。幸い、比較的短時間のうちに近隣で発見できましたが、初動対応を全職員が把握し、離設発生時に迅速な対応が求められると強く感じました。

二つ目が帰宅願望の訴えや徘徊等の認知症に対するコミュニケーションスキルの向上です。職員が認知症のご利用者の対応に当たる中で、感情的な声掛けをしまったり、表情や態度が陰しくなる場面が散見されました。「認知症ケアとは何か」という根本を職員同士で話し合う機会を設け、より良いケアに繋げることで、個々のニーズに活かせるスキルを身に付けられるようにしていきたいです。

(3) 「充実したサービスの提供」について

リピーターが増える中で、ご利用者一人ひとりの趣味や嗜好は、職員間でも共有し、日々の生活の中に取り入れました。在宅生活の継続を目標に、身体機能の維持を課題としたご利用者が多く、フロア内の散歩（歩行訓練）や全身運動を目的とした椅子体操をDVDに合わせて定期的に行っていただきました。結果として、年間を通して高稼働率を維持することができました。

2 A Bユニット会議

実施日	議 題 内 容
4月15日	ご入居者対応について・業務内容の見直しについて
5月27日	ご入居者対応について・業務内容の見直しについて
6月21日	ご入居者対応について・業務内容の見直しについて
7月2日	ご入居者対応について・業務内容の見直しについて
8月10日	ご入居者対応について・業務内容の見直しについて
9月19日	ご入居者対応について・業務内容の見直しについて
10月15日	ご入居者対応について・感染対応について 他
11月22日	ご入居者対応について・業務内容の見直しについて
12月14日	ご入居者対応について・業務内容の見直しについて
1月31日	ご入居者対応について・感染対応について 他
2月22日	ご入居者対応について・業務内容の見直しについて
3月	ご入居者対応について（書面開催）

2 C D会議開催状況

実施日	議 題 内 容
4月24日	業務内容の見直し・ご入居者個別対応について
5月30日	業務内容の見直し・ご入居者個別対応について
6月20日	業務内容の見直し・ご入居者個別対応について
7月24日	業務内容の見直し・ご入居者個別対応について
8月30日	業務内容の見直し・感染症対応について
9月24日	業務内容の見直し・ご入居者個別対応について
10月4日	業務内容の見直し・ご入居者個別対応について
11月20日	業務内容の見直し・物品管理について
12月5日	業務内容の見直し・感染症対応について
1月26日	業務内容の見直し・ご利用者個別対応について
2月15日	業務内容の見直し・ご利用者個別対応について
3月30日	業務内容の見直し・感染症対応について

3 階介護課 事業報告

1 3 階介護課事業計画目標の総括

(1) 「ご入居者の個別性に対応したケアを実施する」について

まず、居室担当を中心に、ご入居者一人ひとりの日常生活や好み、健康状態を詳細に記録し、それに基づいた支援を行いました。例えば、あるご入居者から花を育てることが趣味だったことを活かし、ご家族に協力をいただき部屋に鉢植えを設置しました。職員と一緒に水やりが日課となり、「綺麗に花が咲いていますね。」と会話をしていくことで、精神的満足感と身体的な活動の促進となりました。

次に、職員の役割と責任の明確化を図るために、各職員に具体的な業務内容と目標を明確に伝え、ユニット会議を通じてその進行状況を共有しました。これにより、ケアの連携ミスが減少し、より一貫性のあるサポートが可能となりました。

最後に、実施したケアを評価するために、ユニット会議の場を活用して、ケアの成果や問題点を共有して、改善案を検討しました。このプロセスを通じて、適切な調整が行われ、更なるケアの改善が図れました。

(2) 「技術、知識の向上を目指し、スキルアップに繋げる」について

ユニット会議では、ケアの場面での不安点や成功例を職員で共有しました。これにより、職員間でのコミュニケーションが向上し、ケアの質の底上げに繋げることができました。

また、多部署の専門的な意見を聞くことで多角的な視点と新たなアイデアも生まれ、より良いケアの実践へと繋げることができました。実践後には、ユニット会議の場で定期的な確認と評価を行ったことで、さらなるケアの改善を継続的に行うことができました。

さらに、看取りケアに関する知識についても話し合い、日々変化していく体調や今後起こり得る呼吸状態や変化等を皆で共有しました。対応方法を理解することで職員が落ち着いて対応することができ、最期までご入居者に声をかけ、ご家族の不安にも寄り添える行動へとつなげることができました。これらの経験を基に今後も更なるスキルアップを目指していきます。

(3) 「リスクマネジメントの強化」について

生活環境に潜むリスクを予測し、ユニット会議でそれらを検討しました。具体的には、滑りやすい床の歩行回避、夜間照明の見直し、転倒防止用具の導入等を議論し、予防策を実施しました。次に、ご入居者の健康状態を日常的に観察し、早期に健康リスクを発見して対応しました。血圧や体温の日常的なチェックを徹底し、異常が見られた場合には迅速に医務課と情報共有をしました。この結果、早期に往診で先生に診てもらい、早期受診に繋げることができました。

最後に、会議やミーティングを通じて職員間のコミュニケーションを促進しました。これにより、互いに持つ不安や疑問を共有し、ミスやトラブルの発生を防ぎました。特に、職員間での情報共有の充実が、業務の質の向上に繋がったと考えられます。

これらの取り組みにより、リスクの予測、予防及び早期対応が効果的に行われました。今後も持続的な改善と評価を行うことで、より安全で快適な生活環境を提供し続けることを目指します。

3 A Bユニット会議

実施日	議 題 内 容
4月24日	面会外出について・オンコールについて・ご入居者対応について
5月29日	他職種連携について・ご入居者対応について
6月26日	ご入居者対応について・事故についての対策
7月24日	EPA10 陣の受け入れ及び指導について・ご入居者対応について
8月28日	EPA 今後の指導について・ご入居者対応について
9月25日	周知事項、排泄アイテムの見直し・ご入居者対応について
10月30日	ご入居者対応について・排泄アイテム見直し・ユニット費について
11月27日	新規入居について・介護事故及び発生後の対応 他
12月19日	ご入居者対応について・排泄ケアについて・コロナ対応について
1月	周知事項・ご入居者対応について(書面開催)
2月	周知事項・ご入居者対応について(書面開催)
3月	周知事項・ご入居者対応について(書面開催)

3 C Dユニット会議

実施日	議 題 内 容
4月26日	ご入居者対応について・業務の見直しについて
5月27日	ご入居者対応について・排泄アイテムの見直し・車椅子点検 他
6月15日	ご入居者対応について・アクティビティについて
7月4日	心療内科対応者の振り返り・環境整備について
8月23日	ご入居者対応について・コロナ対応の振り返り
9月	周知事項・ご入居者対応について(書面開催)
10月24日	ご入居者対応について・ユニット行動目標について
11月30日	ご入居者対応について・発生事故の対策について
12月	周知事項・ご入居者対応について・業務について(書面開催)
1月29日	ご入居者対応について・環境整備について・QOL向上について
2月	周知事項・ご入居者対応について・業務について(書面開催)
3月24日	ご入居者について・業務について・勉強会について

4 階介護課 事業報告

1 4 階介護課事業計画目標の総括

(1) 「職員のスキルアップに向けた取り組みの実施」について

ケアの質を向上させ、ご入居者により高い水準のケアを提供していくために、多職種の協力を得ながら職員のスキルアップを図りました。

ADL の低下が見られるご入居者のケアを検討する際には、多職種の専門的な知識とスキルも取り入れる事で新しいアプローチの方法や技術を学ぶことができ、職員のスキルアップに繋がりました。また、多職種が連携する事によりご入居者やご家族に対するサポートが強化され、ニーズや希望に基づいた適切なサービスや情報の提供ができたと思います。

接遇面では、残念ながらご家族やご入居者からご指摘をいただいた事もありました。それらの件について職員に周知を行うと共に、必要時には個別での指導を行うことで、各々がご入居者との関わり方を振り返る機会を設けました。これにより、ご入居者に対する言葉遣いや表情、態度などを意識しながら関わる事ができ、良好な関係を築くことができました。

しかし、時間の経過とともに意識が薄れていく傾向も見られるため、今後も定期的に振り返りの機会を設け、意識付けをしていきたいと思えます。

(2) 「個別ケアについての理解を深める」について

高齢者施設における個別ケアの重要性が高まる中、職員の個別ケアへの理解と実践力を向上させる必要性がありました。

まず、個別ケアの必要性や重要性を理解するためにユニットケアマニュアルの読み合わせを行いました。なぜ個別ケアが必要なのか根拠を示した事で、職員がご入居者一人ひとりの視点や感情に共感しながら、同じ方向性でケアを検討する事ができたと思えます。

また、ご入居者やご家族とのコミュニケーションを通じて個々のニーズを抽出し、ユニット会議にて情報共有を行いました。個別ケアを実施したことによる成功事例や課題を共有する事で、相互に理解を深める事ができました。

(3) 「感染症対策の強化」について

新型コロナウイルスが感染症 2 類相当から 5 類へ移行となり、感染症による様々な制限が緩和される中、ご家族の面会やご入居者の外出なども再開されましたが、高齢者施設における感染症のリスクが軽減されたわけではなく、対策をより一層強化していく必要がありました。

対策の 1 つとして、9 月に感染症発生時のシミュレーションを実施しました。ご入居者対応や職員の動線、物品の確認、ガウンテクニックの確認により発生時に備えることができました。また、職員やご入居者で体調不良者が出た際には早急に報告を行い、指示を仰ぎました。それにより適切な初動の対応ができ、感染の拡大を防ぐことができました。

その一方で、定期の PCR 検査の未提出者がいたり、基本的なルールが疎かになっており、危機感の薄れを感じる事もありました。感染症のリスクを理解し、常に危機感を持ちながら引き続き感染症対応を徹底し、ご入居者と職員の安全を最優先に考えた運営を行ってまいります。

4 A Bユニット会議

実施日	議 題 内 容
4 月	ご入居者対応について・業務内容について・周知事項（書面開催）
5 月 29 日	ご入居者対応について・業務内容について・周知事項
6 月 30 日	ご入居者対応について・業務内容について・周知事項
7 月	ご入居者対応について・業務内容について・周知事項（書面開催）
8 月 31 日	ご入居者対応について・業務内容について・周知事項
9 月 20 日	感染症発生時のシミュレーション
10 月 26 日	ご入居者対応について・業務内容について・周知事項
11 月 30 日	ご入居者対応について・業務内容について・周知事項
12 月 22 日	ご入居者対応について・業務内容について・周知事項
1 月 30 日	ご入居者対応について・業務内容について・周知事項
2 月 29 日	ご入居者対応について・業務内容について・周知事項
3 月 30 日	ご入居者対応について・業務内容について・周知事項

4 C Dユニット会議

実施日	議 題 内 容
4 月 27 日	ご入居者対応について・業務内容について・周知事項
5 月 24 日	ご入居者対応について・業務内容について・周知事項
6 月 28 日	ご入居者対応について・業務内容について・周知事項
7 月 27 日	ご入居者対応について・業務内容について・周知事項
8 月 25 日	ご入居者対応について・業務内容について・周知事項
9 月 20 日	ご入居者対応について・業務内容について・周知事項
10 月 24 日	ご入居者対応について・業務内容について・周知事項
11 月 30 日	ご入居者対応について・業務内容について・周知事項
12 月 31 日	ご入居者対応について・業務内容について・周知事項
1 月 30 日	ご入居者対応について・業務内容について・周知事項
2 月 29 日	ご入居者対応について・業務内容について・周知事項
3 月 30 日	ご入居者対応について・業務内容について・周知事項

5 階介護課 事業報告

1 5 階介護課事業計画目標の総括

(1) 「より良い認知症ケアと日常生活の支援」について

ご入居者の入れ替わりにより、比較的 ADL の高い方の入居が続きました。徘徊・収集等、認知症の BPSD が顕著な方も多く、対応に苦慮することがありました。どうしても職員の手間や対応の困難さばかりに目が向いてしまう中、視点を変えてみたり、視野を広く保つことを提案する等、職員に考えてもらう機会を設けたつもりです。「何が」「誰にとって」問題なのか、危険なのか、ということや「なぜこのような行動を取ってしまうのか、背景や可能性を探る」ことを日頃から考えて、様々なアプローチを試す中で最善の対応が見つかった例もありました。

また、ご家族の希望や要望にどこまで応えるのか。ご入居者本人が望んでいるか定かではないことを対応しなければならない場面もあり、ご入居者への負担を考慮しつつ、ご家族にも寄り添い、現状を理解してもらう難しさに直面することも多くありました。現場だけでは困難なことも多く、随時、他部署等を交えての検討を重ねました。引き続き、各課と情報共有を行い、チームとしてご入居者の支援を検討していきたいと思えます。

(2) 「新型コロナウイルス発生時の対応強化」について

年末に CD ブロックにおいて、ご入居者が発症したのを皮切りに職員 3 名、ご入居者 10 名（内 3 名入院）が陽性となるクラスターが発生しました。初動において、リーダーが不在という状態のなか、準備や対応については前年度に対応した際の資料をもとに動きました。2 類相当から 5 類への移行後、初の対応ということもあり、前年度とは装備品や対応が異なることも多く、混乱が生じる場面もありました。分類は変更になったものの、新型コロナウイルスの感染力や職員の負担に変化はありません。前年度に対応を経験したことのある職員を中心に何とか乗り切ることができましたが、前年度に対応を経験していても、シミュレーション等、想定研修のようなものを実施していても、いざ実際の場面に直面すると、忘れていたり、分からないこと等もあり、思う通りに物事が進まなかったという声も寄せられました。どんな時でも誰もがスムーズに最短で感染対応にあたれる準備や仕組みの整備の為、この経験を次に活かせるよう努めていきたいと思えます。

(3) 「季節に応じた装飾やレクリエーションを実施することで彩りのある生活を提供する」について

コロナ禍の影響もあり、レクリエーション以前にご入居者のお誕生日祝いが簡素になっていた現状に着目し、今年度はユニットから 1 名ずつ担当を出して、毎月合同のお誕生日会を開催することにしました。各担当者が趣向をこらした会となり、職員・ご入居者ともに様々な表情に触れることができました。そして何より、普段関わるのが少ない隣ユニットとの交流が再開したことで、活気が戻ってきたことを実感しました。次年度も引き続き「合同誕生日会」を開催することと併せて、職員がご入居者の為に考え、工夫をし、ユニットという枠を超えてお互いに協力して、より良いサービスを提供できるよう努めていきたいと思えます。

5 A Bユニット会議

実施日	議 題 内 容
4月19日	ご入居者対応について
5月	ご入居者対応について（書面会議）
6月11日	ご入居者対応、排泄チェック表、記録、勤務態度、環境整備
7月	ご入居者対応について（書面会議）
8月6日	ご入居者対応について、業務について
9月	ご入居者対応について（書面会議）
10月8日	ご入居者対応について、業務について
11月12日	ご入居者対応について、業務について
12月9日	ご入居者対応について、業務について、先月の振り返り
1月	ご入居者対応について（書面会議）
2月10日	ご入居者対応について、業務について
3月9日	ご入居者対応、業務、レクリエーション、声掛け、クレドカード

5 C Dユニット会議

実施日	議 題 内 容
4月11日	ユニットご入居者対応について
4月18日	業務改善について（各職員の個人行動目標に沿った取り組み）
5月8日	ご入居者対応について
5月16日	業務改善について（申し送りメモの書式変更、週間スケジュールの見直しについて）
6月12日	ご入居者対応について
6月20日	業務改善について（書面会議、前回引き続きの議題）
7月4日	ご入居者対応について
8月15日	ご入居者対応について・急変者対応の振り返り
10月16日	ご入居者対応について
11月16日	ご入居者対応について・リーダーより業務に関する周知
12月16日	ご入居者対応について・リーダーより業務に関する周知
1月14日	ご入居者対応について・コロナ対応の振り返り
2月19日	ご入居者対応について
3月25日	ご入居者対応について・次年度に向けての周知

医務課医務係 事業報告

1 医務課医務係事業計画目標の総括

(1) 利用者の情報を把握・共有し、利用者の体調管理に努める

日替わりの受け持ち制で色々な観察眼で状態の観察を行い、受診の判断をして受診に繋がられました。細かなことも申し送りの用紙や付箋を利用し、医務課内で情報共有ができるように努めました。

(2) 他部署との連携により、業務改善を行う

排便表を全フロア作成し、把握しやすいように変更を行いました。それまでは医務課が便秘者を口頭で申し送りを受け、パソコンに打ち込んでいたため、その分記録に時間がかかっていました。その分の記録がなくなったため時間に余裕が生まれ、他の業務に時間を当てることができて業務改善が行えました。

(3) 知識・技術を高め、コスト削減を模索する

フィルム剤を違う価格の物へ変更を行い、浸出液が少ない傷などはモイスキンパッドではなく、不織布を切って処置に使用するなど、コスト削減を意識し業務を行いました。

(4) 利用者との日々のコミュニケーションにより、状況を把握し、入院数を減らす

介護課からの申し送りだけでなく、フロアをラウンドする際は意識してご利用者と関わり、状態に顕著な変化等がないか確認していきました。入院数を減らすことはなかなか難しいですが、嘱託医の診察や内服処方経過をみて、ご家族の協力が得られる場合は連日の通院をしていただき、経過観察を行いました。

2 活動報告

(1) 体調不良者の状態確認、バイタルサイン測定、創傷の処置、排便処置など、日々情報共有しながら行いました。また、排便状況や傷の治癒過程を考えながら個別性を医務課内で考え、下剤の調整や浣腸をするタイミングなど、他課とも相談しながら業務を行いました。治癒した傷も再発しないようフィルム剤で保護することが増え、再発防止ができています。

(2) 体調不良や食事摂取量が低下する等で終末期が想定されるご入居者では、看取りのお話をご家族に行い、看取り対応した方も 2 名ありました。看取りの話をご家族へするタイミングが難しく、嘱託医や相談員と相談しながら行いました。

(3) 感染症対策委員会の開催

コロナウイルスやインフルエンザだけでなく、高齢者に多い足白癬や薬剤耐性菌（ESBL、MRSA）を持ったご入居者が数名いるため、各階で把握してもらい、情報共有を行いました。

(4) 褥瘡予防対策委員会の開催

毎月行いましたが、書面開催が多く、次年度は対面開催を多くできるよう努めます。褥瘡者の確認、栄養状態、排泄状況やポジショニングの確認など把握に努めました。

(5) 入居者の健康診断の実施

11月27日にご入居者119名の心電図・採血・胸部レントゲン・尿検査を行いました。検査結果を嘱託医に確認していただきました。採血結果で貧血の指摘がある方が数名いましたが、内服薬の調整をしていただき経過観察を行っています。

(6) インフルエンザ予防接種、コロナワクチンの予防接種の実施

嘱託医の協力のもと、インフルエンザは10月に予防接種を行い、コロナワクチンは6月、12月に予防接種を行いました。副反応が起こることも念頭に置き、解熱剤を多めに介護課へ渡し、翌日の体調不良の方がいないか等の情報共有を行いました。

(7) インフルエンザ、コロナウイルスのクラスター

コロナウイルスのクラスターが7月、10月、3月にありました。1月にはインフルエンザもあり、ご入居者、スタッフともに感染が複数出てしまいました。コロナウイルスは5類になりましたが、感染力は強く、感染対策の見直しやガウンテクニックの着脱の復習や手洗いがしっかり行えているかの確認をするため、次年度でも業者を交えて研修を行う予定です。

入居者診療状況（実人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科（往診）	127	130	129	131	129	128	130	126	127	127	128	126
精神科（往診）	95	93	94	93	91	89	90	91	92	92	91	89
内科	10	6	7	4	6	4	3	9	6	6	8	9
呼吸器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
消化器科	1	0	0	1	1	0	0	2	1	1	0	3
循環器科	0	1	2	1	0	1	1	1	3	1	1	1
内分泌科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0
整形外科	4	5	7	6	5	3	3	2	2	3	4	2
脳外科	1	4	3	0	2	1	1	0	0	0	1	1
精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮膚科	2	1	2	2	0	0	1	4	0	1	0	2
眼科	1	2	2	2	1	1	0	2	0	0	1	1
耳鼻科	3	1	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0
歯科	0	0	2	1	0	0	1	0	2	1	1	1
その他	1	1	1	1	1	3	3	2	4	0	0	2
歯科（往診）	100	98	101	100	98	98	89	97	93	95	101	100

入居者診療状況（延人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科（往診）	262	253	250	275	236	243	276	217	230	242	198	278
精神科（往診）	183	182	189	186	185	187	183	175	178	182	178	178
内科	10	7	10	4	6	4	3	9	6	7	10	9
呼吸器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
消化器科	2	0	0	1	1	0	0	2	1	1	0	3
循環器科	0	1	2	1	0	1	1	1	3	1	1	2
内分泌科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0
整形外科	5	11	13	6	6	4	3	2	2	3	8	2
脳外科	1	4	3	0	3	1	1	0	0	0	1	1
精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮膚科	2	1	2	2	0	3	1	4	0	1	0	3
眼科	1	0	2	2	1	1	0	2	0	0	1	1
耳鼻科	3	1	1	2	2	1	0	0	0	0	1	0
歯科	0	0	3	1	0	0	1	0	2	1	1	1
その他	1	1	1	1	1	3	3	2	4	0	0	2
歯科（往診）	238	190	210	212	169	160	213	213	204	197	218	221

入院状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科	4	4	6	5	4	1	4	6	6	3	5	8
呼吸器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消化器科	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
循環器科	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1
脳外科	1	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0
整形外科	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
その他	1	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	1

退居状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
退所	2	2	5	2	1	5	2	3	2	3	1	4
（内死亡者）	(2)	(1)	(3)	(2)	(1)	(3)	(2)	(3)	(1)	(2)	(0)	(4)

医務課リハビリ係 事業報告

1 医務課リハビリ係事業計画目標の総括

福祉用具を活用した取り組みは、ご入居者のニーズに対応した福祉用具を選定して導入しており、日常生活の不具合を解消することが出来ています。3園での福祉用具在庫管理も定期的に確認し、利用頻度やメンテナンスの方法も含め話し合いが出来ました。

歩行器に関しては、数が不足しており、必要な台数を各フロアへ提供が出来ませんでした。

ご入居者が楽しんで過ごせるような機能訓練の取り組みも、趣味活動や園庭の利用を行い工夫して対応しました。

節約を意識した取り組みとして、デモ機やレンタルサービスを導入し、デモ機に関しては導入の必要性について議論することで、導入の有無について検討することが出来ました。レンタルサービスについては、車椅子の利用は100%であり、無駄なく利用出来ていました。福祉用具の破損については、タイヤのパンクやブレーキの故障は今年度も多々見られましたが、滞りなく修理が行えました。

ケアプランと個別機能訓練計画の整合性がとれた計画については、個々のご入居者に合った計画を作成することに努めました。

2 活動報告

(1) 機能訓練

個別機能訓練計画については、ご入居者（ご家族）より同意を得ることが出来ており、個別機能訓練加算を算定しています。また、3か月ごとの定期評価も滞りなく行えました。

機能訓練室や各居室、フロア内にてご入居者の生活に合わせた運動を行い、ADL維持に努めました。

*別紙「個別機能訓練加算」を参照

(2) 音楽療法

音楽療法士2名体制により、各フロア月2回の音楽療法を実施しました。

(3) 研修・技術指導

研修に関しては、法定研修である褥瘡予防研修（ポジショニング）を担当し、実際の移乗動作やポジショニングについても、車椅子やベッド上にて介護職員と業務の中で検討して取り組みました。

(4) 部署会議

3園での部署会議を3か月ごとに、持ち回りにて行い。業務内容や福祉用具に関する各園の状況や利用頻度などを共有することが出来ました。

(5) 福祉用具

施設への来園業者とのコミュニケーションを通して情報収集を行いました。デモ機を利用する取り組みもしましたが、導入には至りませんでした。

新たに購入した座面クッションはご入居の状態に合わせて適時使用することが出来ました。日常生活に支障が生じたケースに迅速に対応することが出来ました。

個別機能訓練加算

	加算対象 人数	加算算定 日数(計)
4月	134	3,627
5月	139	3,894
6月	137	3,903
7月	134	3,979
8月	136	3,909
9月	137	3,815
10月	134	3,892
11月	135	3,666
12月	139	3,839
1月	139	3,913
2月	138	3,788
3月	137	3,994
合計		46,219

生活課 事業報告

1 生活課事業計画目標の総括

令和5年度の特養年間稼働率は、目標予算編成稼働98%に対して98.2%となり、開設以来、初めての目標達成となりました。主な理由としては、安定的な在籍者数確保と嘱託医の変更に伴う適切なベッドコントロールを実現できたことが達成要因であると考えます。しかし、入院者数の増加は課題として残ったままであり、長期的な視点で見ると今後改善していかなければ高稼働率の維持は困難であると予想されます。

ショートステイに関しては、リピーターを中心にご利用していただき、年間稼働率57.4%となり、目標予算編成稼働からは-12.6%となりました。実質稼働している床数を考慮すると60%が限度であるため、定期的な新規利用者を受け入れ維持できればと考えています。

2 活動報告

(1) 多様な個別ニーズに対応できるよう制度理解や知識を獲得し、相談援助技術を高める。

生活課として独自に1on1ミーティングを適宜開催し、問題解決能力を高めることや実例に対するフィードバックをおこない、個々の援助技術向上に努めました。令和6年度の介護報酬改定の情報収集や分析などを共有し、制度理解に努めました。

高齢者虐待防止、身体拘束等適正化の委員会の開催を年4回実施。研修はコロナ禍の状況により書面開催とし、滞りなく実施しました。

令和5年度は新宿区にある学校法人日本教育財団首都医校より社会福祉士実習生を1名受け入れました。

(2) 生産性向上のために部署で意識統一を図り、業務の効率化を図る。

月に1度の生活課会議において、日常的以外に各自の進捗確認や業務効率化を話し合いました。優先名簿への声掛け方法や入退居を考慮したベッドコントロールの見通しの共有、面接数や書類関係など個々の業務負担の分散などをおこない、課として全体的に動けるよう働きかけました。

新宿区区議会議員選挙を4月21日執行。当園では4月21日に不在者投票を実施し、16名のご入居者が投票されました。公正かつ適切な不在者投票に務め、ご入居者の権利を行使されました。

施設入居者の10%以上医療ニーズのある方を受け入れ、医療支援補助金1,869万円の獲得となりました。今後も新規入居調整の際に数値に留意しながら受け入れをおこなっていきます。

令和5年度より新宿区相談員連絡会が再開し、区内特養で地域ニーズなどの共有を図っています。

(3) 稼働率や空床から損益を意識し、相談員業務に努める。

待機者確保に関しては生活課の最優先課題とし、見学からも入居をイメージできるよう心掛けました。待機者数に関しても十分に確保できたこともあり、退居から期間を空けずに入居へつなぐことができました。

(4) 在籍者確保と適切なベッドコントロールを常に意識する。

在籍者確保に関して、区内待機者は全体的に減少傾向にあります。今後も区内施設間で入居者の取り合いが続くことが見込まれるため、当園への入居希望者を獲得していく積極的な働きかけが今後の重要な課題となると思われます。

ベッドコントロールに関しては令和4年7月より嘱託医を聖母病院へ切り替えたことで、入院中の退居や入院期間の長期化などの空床期間短縮に改善傾向がみられました。しかし、入院頻度は年間84回と4.3日に1回入院している計算となるため、入院を減らしていく取り組みを合わせておこなっていくことがこれからの高稼働率維持に必要と思われます。

特養 入居者の日常生活自立度

令和6年3月31日現在

介護度 分布				日常生活自立度			
介護度	全体	男性人数	女性人数	障害自立度		認知症自立度	
要介護1	0名	0名	0名	障害なし	1名	症状なし	0名
要介護2	3名	2名	1名	J 1	1名	I	2名
要介護3	28名	6名	22名	J 2	0名	II	14名
要介護4	48名	11名	37名	A1	11名	III	61名
要介護5	55名	9名	46名	A2	18名	IV	35名
計	134名	28名	106名	B1	24名	M	22名
				B2	48名	III~M 比率 (%)	118名
				C1	19名		88.1
				C2	12名		

特養 入居者性別・年齢別構成状況表

令和6年3月31日現在

	男性	女性	計
100歳以上	0名	3名	3名
90歳以上～100歳未満	7名	57名	64名
80歳以上～90歳未満	15名	38名	53名
70歳以上～80歳未満	6名	8名	14名
60歳以上～70歳未満	0名	0名	0名
60歳未満	0名	0名	0名
計	28名	106名	134名
男女別平均年齢	85.1歳	90.4歳	
全体平均年齢	87.75歳		

ショートステイ 利用状況

令和5年4月～令和6年3月

	実人数 (名)	利用日数 (日)	送迎 (件)		受け入れ	1日平均 利用者数 (名)
			入所	退所	新規	
4月	39	300	58	60	2	10.0
5月	43	336	65	66	4	10.8
6月	45	346	73	73	4	11.5
7月	47	362	73	73	6	11.7
8月	51	397	81	81	4	12.8
9月	47	361	73	67	3	12.0
10月	52	396	73	78	3	12.8
11月	44	330	65	67	2	11.0
12月	44	371	68	66	2	12.0
1月	40	320	59	60	4	10.3
2月	43	338	65	61	3	11.7
3月	43	352	66	68	1	11.4
年間	538	4209	819	820	38.0	
月平均	44.8	350.8	68.3	68.3	3.2	11.5

特養 入居者内訳

令和6年3月31日現在

男女比			月間新規受け入れ者数		保険者別		
性別	人数	比率 (%)	月	人数	保険者	合計	比率 (%)
男	15名	41.7	4月	4名	新宿区	35名	97.2
女	21名	58.3	5月	7名	区外	1名	2.8
合計	36名	100	6月	0名	合計	36名	100
入居時介護度内訳			7月	2名			
介護度	人数	比率 (%)	8月	4名			
特例	1名	2.8	9月	2名			
要介護3	13名	36.1	10月	2名			
要介護4	16名	44.4	11月	3名			
要介護5	6名	16.7	12月	2名			
合計	36名	100	1月	7名			
入所前施設別			2月	2名			
前所	人数	比率 (%)	3月	1名			
グループホーム	0名	0.0	合計	36名			
特定施設	4名	11.1	平均	3.0名			
医療機関	4名	11.1					
老健	13名	36.1					
在宅	15名	41.7					
合計	36名	100					

特養 退居者内訳

令和6年3月31日現在

男女比			月間退居者数		退居者在園期間	
性別	人数	比率 (%)	月	人数	在園期間	人数
男	8名	25.0	4月	2名	10年以上	0名
女	24名	75.0	5月	2名	8~10年	0名
合計	32名	100	6月	5名	6~8年	5名
退居時介護度内訳			7月	2名	5~6年	4名
介護度	人数	比率 (%)	8月	1名	4~5年	2名
特例	0名	0.0	9月	5名	3~4年	7名
要介護3	8名	25.0	10月	2名	2~3年	4名
要介護4	15名	46.9	11月	3名	1~2年	3名
要介護5	9名	28.1	12月	2名	1年以内	7名
合計	32名	100	1月	3名	1か月以内	0名
退居時理由内訳			2月	1名	合計	32名
退居理由	人数	比率 (%)	3月	4名		
永眠(当園)	9名	28.1	合計	32名		
永眠(医療機関)	21名	65.6	平均	2.7名		
長期療養	1名	3.1				
在宅	1名	3.1				
他施設	0名	0.0				
合計	32名	100				

特養 入居者の日常生活自立度

令和6年3月31日現在

介護度 分布				日常生活自立度			
介護度	全体	男性人数	女性人数	障害自立度		認知症自立度	
要介護1	0名	0名	0名	障害なし	1名	症状なし	0名
要介護2	3名	2名	1名	J1	1名	I	2名
要介護3	28名	6名	22名	J2	0名	II	14名
要介護4	48名	11名	37名	A1	11名	III	61名
要介護5	55名	9名	46名	A2	18名	IV	35名
計	134名	28名	106名	B1	24名	M	22名
				B2	48名	III～M 比率 (%)	118名
				C1	19名		88.1
				C2	12名		

特養 入居者性別・年齢別構成状況表

令和6年3月31日現在

	男性	女性	計
100歳以上	0名	3名	3名
90歳以上～100歳未満	7名	57名	64名
80歳以上～90歳未満	15名	38名	53名
70歳以上～80歳未満	6名	8名	14名
60歳以上～70歳未満	0名	0名	0名
60歳未満	0名	0名	0名
計	28名	106名	134名
男女別平均年齢	85.1歳	90.4歳	
全体平均年齢	87.75歳		

特養 入居者階層別負担割合

令和6年3月31日現在

	第1段階	第2段階	第3段階①	第3段階②	第4段階
食費	300円	390円	650円	1360円	1750円
居住費	820円	820円	1310円	1310円	2400円
人数	0名	11名	8名	28名	87名
階層比率 (%)	0.0	8.5	6.2	21.5	66.9

令和6年3月31日現在

介護保険負担割合	
1割負担	117名
2割負担	6名
3割負担	11名
合計	134名

特養 入居者医療処置対象者一覧

令和6年3月31日現在

医療処置名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
インスリン注射	3名	3名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	1名	0名	0名	0名
経管栄養	6名	6名	6名	5名	5名	6名	6名	7名	7名	7名	7名	7名
尿道カテーテル	5名	5名	5名	4名								
ストマ	3名											
ペースメーカー	3名	2名	2名	2名	2名							
酸素療法	1名	1名	1名	1名	1名	1名	0名	0名	0名	0名	0名	0名
褥瘡	0名											
受入人数	21名	21名	20名	18名	18名	19名	18名	19名	17名	16名	16名	16名

栄養課 事業報告

1 栄養課事業計画目標の総括

(1) ご入居者やご家族の希望に添えるサービスの提供に努める。

① 毎月の食事サービス委員会にて、ご入居者の食事環境や身体機能などの課題や提案を議題に挙げ、他部署と情報共有や意見交換を行いました。多職種を交え、ご入居者個々の情報を共有・検討し、現場にフィードバックすることで、より良い個別ケアの充実を図ることができました。

② ご入居者のニーズに対応した献立の定期的な導入を行い、食事満足度の維持・向上に努めました。ご入居者の食事時間に伺い、食事へのご意見やご要望をいただき、献立に反映させました。食事満足度調査の結果（満足 69% いいえ・どちらでも 31%）から食事満足度の維持は達成できましたが、個別のご要望などについては、今後の課題となります。

(2) 書類や業務内容を見直し、業務の効率化を図る。

① 栄養課から他部署に配布する書類の見直しを行いました。行事の際に使用する毎回同じ内容の配布書類は書面での配布を中止して事務連絡に掲載、もしくは会議での口頭周知に切り替えることで行事前の事前準備を減らしました。また、裏紙の使用も積極的に行うことでペーパーレス化に努めました。

② 厨房内で使用中のメインボード・サブボード類の見直しを行いました。サブボードの廃棄・統合を行い、管理・更新の手間を減らすことで不要な業務を減らしました。また、ホワイトボードからラミネートした紙に変更することで、汚れた際の掃除の回数を減らし、清潔な状態を保てるようにしました。

(3) 節約を意識し、無駄を省いてコスト削減に努める。

① 予定食数と実施食数の乖離を抑えるために、日々の食数変動を把握するように努めました。センター調理を行うため発注作業は1か月前に行っていますが、当日作成するサブ調理に関しては出来る限り食数の調整に努めました。入退院や入退所が多かったため食数変動が大きくなることも多く、予定食数と実施食数の乖離については年間平均では11でした。センター調理は一か月以上前に発注するため、急な入退所・入退院に対応できず、職員食の増加もあり、乖離が大きくなった月が増えてしまいました。

② 栄養課内の備品の見直しを行いました。使用備品を洗いだし、配置場所を定めることで無駄な購入を無くして、安価な物に切り替えることが出来る備品は切り替えました。次年度も引き続き見直しを行い、経費の無駄遣いを抑えるよう努めていきます。

(4) 他部署と情報を共有し、安定した稼働率を維持する。

① 新規入居、退院、食事変更の依頼がでた場合に、各課がそれぞれ専門職としての視点から摂食嚥下アセスメントを行い、各課の意見をすり合わせた上でご入居者一人ひとりのニーズに合わせた食事サービスの提供に努めました。職員の理解度にも個人差が見られたため、資料の再配布、会議や食事提供の場での周知なども行いました。

② 入居後や退院後に食事量の変化や状態の低下が見られるご入居者にはアセスメントシートに記載するだけでなく、ケース記録に平均食事量や食事中の様子、ご入居者の食事や嗜好に対する発言等を記載して、各課と素早く共有できるように努めました。

次年度も引き続き各課と連携し、安定した稼働率の維持に努めます。

2 活動報告

(1) 栄養ケアマネジメントの実施

6月・9月・12月・3月の年4回実施しました。各部署との連携を図り、ご入居者の身体計測・臨床検査等の情報をオンラインで収集し、食事摂取状況を比較しながら栄養状態のスクリーニングを行い、そのデータを参考に嘱託医による低栄養のリスクレベル判定を実施しました。

このスクリーニングと各部署からのご入居者の一人ひとりの情報をもとにアセスメントを実施し、栄養ケア計画書の作成を行いました。モニタリングは高リスクについては2週間ごと、低・中リスクは月に一度行い、体重測定の後に行いました。

表－1 「スクリーニング実施状況表」 参照

表－1 「スクリーニング実施状況表」

頻度 リスク別	32回目 6月	33回目 9月	34回目 12月	35回目 3月
低リスク	114名	114名	112名	117名
中リスク	17名	17名	14名	12名
高リスク	3名	3名	5名	6名

※ リスクとは、低栄養の状態が低い、高いかで、高リスクとは低栄養のリスクが高い事を示します。

(2) 食事サービスの向上のための会議実施

① 食事サービス委員会

偶数月第3火曜日の16:00～17:00の時間帯で開催しました。

管理栄養士が司会進行を行い、議事録作成は各部署で持ち回りにて行いました。介護課の各フロア及び各部署の食事サービス委員が出席し、より良い食事サービス提供を目的として話し合い、食事サービスの向上につながるよう努めました。

② 厨房会議

毎月第1火曜日または行事等調理職員の勤務に合わせ14:30～15:00の時間帯で開催しました。

施設栄養士と給食委託調理職員が出席して、より良い食事サービス提供を行い、食事サービスの向上につながるよう努めました。

(3) 年間郷土料理の実施

3施設で郷土料理の月を同じ地域にし、園盛会共通のサービスの提供を実施しました。

表－2 「令和5年度 もみの樹園栄養課郷土料理年間実施表」 参照

表－2 「令和5年度 もみの樹園栄養課郷土料理実施表」

月	郷土料理実施地域	月	郷土料理実施地域
4月	アメリカ	10月	東京都
5月	福井県	11月	茨城県

6月	新潟県	12月	岡山県
7月	愛知県	1月	徳島県
8月	スペイン	2月	神奈川県
9月	佐賀県	3月	韓国

(4) 選択食の提供

毎週金曜日を原則として、2種類の主菜からご入居者に選んでいただき、選ぶ楽しさを感じていただき、より一層楽しい食生活の充実を図りました。また、主菜に限らずデザート等も実施しました。

(5) 非常食の管理

非常食用食材の管理と賞味期限の維持に努めました。

賞味期限が切れる商品から順次、新メニューへの商品と切り替えていきました。次年度も継続して行っていきたいと思います。

(6) 衛生管理

以下の衛生管理項目について、その確実な実施に努めました。

- ・毎朝・夕残留塩素の測定の実施（記録あり）
- ・寿司の日に実施する年3回の大掃除と掃除当番表の活用
- ・毎日終業時、手の触れる部分の次亜塩素酸消毒
- ・衛生管理マニュアルに沿った衛生管理の徹底
- ・健康管理に留意（チェックリスト記録）
- ・毎月の検便検査
- ・食器消毒保管庫による食器の温度消毒の実施（90度以上・30分以上）
- ・中心温度の測定（加熱食品の中心温度85度以上・1分）

(7) 嗜好調査・食事満足度調査の実施

① 嗜好調査

食事摂取状況や選択食のアンケート集計により、ご入居者の嗜好の把握に努めました。

② 食事満足度調査

食事満足度調査期間：令和6年1月13日（土）～令和6年1月22日（月）
（ショートステイを除く）

ご入居者へ毎日の食事や行事食に対する感想やご意見等をアンケート調査しました。今後の食事サービスの向上につなげていきたいと思ひます。

VI 運動機能向上型デイサービス もみの樹園 事業報告

1 地域事業課事業計画目標の総括

新型コロナウイルス 5 類への移行により、基本的な感染対策の周知が図られましたが、高齢者施設という特性もあり、マスクの着用、換気、消毒といった対応については、これまで通り継続し、ご利用者に対してもご理解いただきサービスの提供に努めてきました。

感染が集団で発生するケースもなく安定した稼働を継続する事ができましたが、職員個々に高い意識を持ち、感染対策を行っていくことで、サービスの質も維持し続けることにも繋がります。

駅前という立地もありますが、多くの方が運動している様子や職員が対応している姿を目にする為、地域に開かれたサービスの提供に努めながら、稼働状況の安定が図れるよう職員一人ひとりが通所介護の役割を理解しサービスの質を向上させ、ご利用者のニーズに柔軟に対応していけるよう連携して取り組む必要があります。

2 活動報告

(1) 利用者に寄り添い、サービスの質にこだわり利用満足度を高める

利用者本位を常に意識し、体調に配慮しながら安心して運動が行えるよう環境を整え、利用の際は満足感を得られるように、常に声掛けを行いながら笑顔で接し、サービスの提供に努めてきました。業務上の改善すべき点については、日々の申し送りやミーティングにて職員間で周知を行い、体調不良等による休みで利用人数の減少が毎月の課題となりますが、看護師を中心にご利用者の体調変化にも気づくことで、一人ひとりの状態に合わせて運動が出来るよう職員間でも意識して、ご利用者の健康管理を行っていきます。在宅生活の継続並びに ADL の維持向上に向けて機能訓練が行えるよう、運動の様子を観察し、適切な指示や助言をしながら、ご利用者にとって充実した時間となる取り組みが出来るようなデイサービスを目指します。

(2) 職員間で情報共有を図り、連携を取りながら業務遂行と意識向上に努める

業務が円滑に行えるよう情報の伝達、報連相を職員は意識し、ミーティングや申し送りでの意見交換や業務の確認などを徹底、全職員がお互いに理解し合い時間の有効活用ができ、書類の使用についても裏紙などを使うことでコストを意識した行動や経費の削減に取り組むことが出来ました。それぞれが受け持つ業務を見直し、分担する事により、時間外での残業を減らすなど常に高い意識を持って業務にあたることを心掛けています。

(3) 効率よく行動し、無駄を省いてチームケアの浸透を図る

燃料費の高騰により様々なコストが増している現在、出来る事は何かを全職員が共通認識として捉え、業務の中で出来る事を模索しました。天候等により室内の気温の変化を感じ、設定温度を日々調整したり、感染対策である事も踏まえ換気は継続して行っている為、窓の開け閉めのタイミングや衣類の調整、また温かい飲み物を提供したり、膝掛けを使用するなどしてご利用者の活動に影響を与えないように、職員間で連携を図ることが出来ましたが、今後もより一層個々が責任を持って取り組む必要があります。

(4) 安心安全に努め、利用者に選んでいただけるよう活気ある職場環境作りを目指す

年間を通して定員を維持するなど継続的に受け入れを行ってききましたが、高齢者は体調の変化が大きく安定した利用に繋がらないこともあります。ご利用者それぞれが抱える問題に対して、ケアマネージャー、家族、他事業所等と情報共有し、ご利用者のニーズに合ったプログラムを組むことで安定した利用にも繋がりを、楽しく通っていただくことを目指し、生活の安定に向けて職員一人ひとりがチームワークを大切にして、安全に配慮しながらサービスの提供に努めています。

職員講師勉強会 実施表

4月	火傷について
5月	トイレ対応、介助方法について
6月	食中毒について
7月	接遇、マナーと声掛けについて
8月	デイサービスの役割について
9月	認知症ケアに関する対応について
10月	コミュニケーション術について
11月	緊急時の対応について
12月	トコジラミと疥癬の違い
1月	高齢者の水分が大切な理由について
2月	感染症について
3月	身体拘束・高齢者虐待防止について

介護度別分布状況

令和6年3月31日現在

介護度	男性	女性	計
事業対象者	0	2	2
要支援1	6	15	21
要支援2	7	25	32
要介護1	13	24	37
要介護2	6	17	23
要介護3	6	5	11
要介護4	4	2	6
要介護5	0	0	0
計	42	90	132
平均介護度	1.50	1.10	1.20

月別通所利用実績・登録および抹消数

令和5年4月～令和6年3月

月別 項目別		5年					6年					合計		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月		2月	3月
通所	月初登録者	125	127	125	132	135	133	138	144	144	133	134	132	
	通所者	639	659	687	641	683	652	646	692	643	615	650	671	7,878
	稼働日	21	22	22	21	23	22	21	22	21	20	21	22	258
	1日平均利用者数	30.4	30.0	31.2	30.5	29.7	29.6	30.8	31.5	30.6	30.8	31.0	30.5	30.6
登録	新規	3	2	9	4	2	7	9	4	1	4	3	2	50
抹消	死亡	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	他施設入所	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
	当園入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	長期入院	1					1				1			3
	その他	1	3	2	0	1	0	0	1	1	1	2	0	12
月末登録者数		127	125	132	135	133	138	144	144	133	134	132	132	

Ⅶ 事業所内保育所 もみの樹園 事業報告

1 保育課事業計画目標の総括

- (1) コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたことで、マスク着用の意識が薄らいでいる方も見受けられましたが、入館時はマスク着用を来園者や保護者にも徹底し、感染予防策を講じながら保育サービスを提供しました。事業計画に掲げた、乳幼児主体の保育の実践については、各職員が研修に参加し習得した内容を周知、保育内容の修正と改善を行い達成することができました。業務内容の見直し、配置人数の確認と業務分担の明瞭化については、軌道修正し強化しながら前進することができました。一時保育登録増と安定的な運営の強化については、一時保育登録増は目標を達成することができましたが、安定的な運営にいたっては達成することができませんでした。

今後の課題としては、園児獲得に向けた解決案を更に研究し見極め、利用児増加と保育内容の質の向上を目指します。

2 活動報告

(1) 乳幼児主体の保育の実施

乳幼児の知識を深めるため積極的に外部研修に参加し、また習得した情報を会議等で周知したことで職員全体のスキルアップに繋がりました。

担当職員から各園児の発達の様子を周知し、園全体で園児情報を共有しました。そして、情報を踏まえた上で各家庭のニーズに合わせ、流動的且つ適切な保育サービスを提供することができました。

今後も保育力向上の為、新宿区主催の研修等積極的に参加し知識向上を目指します。

(2) 業務内容の見直し

園児と適度な距離を保ちながら質の高い保育を提供する為「ノンコンタクトタイム」を導入し、士気向上に努め実践しました。

育児支援、保護者負担軽減の観点から、保育ソフトを活用した連絡帳を検討しましたが、保護者への情報内容に対し更に考察が必要な為、実用を見送りました。

おむつのサブスクリプションについては、実経費を試算したところ、保護者への提供として各ご家庭へのメリットが極めて少なく、また必要性を感じている家庭が皆無であった為、今後の利用を見送りました。

書類関係の見直しとしては、ペーパーレス化に向け保育ソフトを活用し、職員情報共有のツールとして利用する事を提案しました。次年度は会議時にも保育ソフトを使用し、積極的に活用しペーパーレスを推進します。

(3) 職員配置の確認と業務分担の明確化

法定人数を意識しながら、また園児を心身共にサポートする体制を考慮しながら職員を配置し保育に努めました。ゆったりとした家庭的な雰囲気を大切にしたい保育を心掛けていることで、保護者から安心と信頼をいただき、保育園を利用していただくことができました。

今後も甘んじることなく、園児の成長を援助し育児支援を実践していきます。

(4) 一時保育登録増と安定的な運営の強化

一時保育を現在利用中や過去に利用した方から、紹介、また問い合わせが多くあった為、今年度は利用希望者や登録待ちが多く発生しました。登録面接を定期的を実施し、利用者増を実現することができました。保護者間のコミュニティの中で、保育所に関する情報交換が多く取り上げられた中での紹介となったケースが多く見られました。保護者のニーズに応えながら育児支援をすることで、今後も保護者に選ばれる園を目指します。

令和5年度10月より保育料について改定、第2子以降保育料無料化となった為、従業員枠入園での保育料軽減を魅力的と感じる家庭が激減しました。近隣園でも0歳児クラス定員割れが目立ち、現在は苦戦している状況ですが、見学者や一時保育利用者からも情報収集をし、入園に際し基準としているポイントなどをリサーチしていきます。

特に手厚い保育を心掛け、個別配慮にも柔軟に対応していることをアピールしながら、引き続き一時保育利用者から入園、見学者への入園案内を推進していきます。

月別通所利用実績

R5年4月～R6年3月

項目別		月別		R5年								R6年				
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
通 所	地域 枠	0歳児		4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4		
		1歳児		4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5	
		2歳児		8	7	7	7	7	7	7	6	6	5	5	5	
	従業員 枠 (共同 利用 枠)	0歳 児	新宿区													
		1歳 児	新宿区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
		2歳 児	新宿区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	中野区										1	1	1	1	1	
月別合計				18	17	17	17	17	18	18	17	18	17	17	17	

一時保育 / 延長保育 利用実績

月別 項目別	R 5 年									R 6 年			
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
一時保育	26	36	38	42	18	34	43	47	60	58	69	74	545
延長保育	1	0	0	0	0	0	0	2	1	1	1	3	9

主な年間行事

実施日	行事名	内容
7月22日(土) 1階多目的ホールにて 保護者参加 8月1日(火) 保育所内にて実施	おまつりごっこ すいかわり	おまつりの雰囲気を楽しみながら 夏の日を楽しむ
9月19日(火)	敬老会 (敬老の日) 事前に記念品贈呈	・特養のご利用者様の長寿をお祝いする 特養ご利用者様：記念品贈呈／在園児祖父母：園児から手紙郵送
10月28日(土) 1階多目的ホールにて 保護者参加	運動会	保護者と共に日頃の運動遊びを楽しむ
12月25日(金) 日程変更 保育所ホールにて実施	クリスマス会	季節の行事を楽しむ
2月2日(金) 保育所ホールにて実施	節分	日本の伝統行事を知り、親しむ
3月1日(金) 保育所ホールにて実施	ひなまつり	日本の伝統行事を知り、親しむ
3月29日(金) 1階多目的ホールにて実施	おわかれ会	転園児と保護者と共に楽しい 思い出となるようなひとときをもつ

2023年度		研修参加一覧	《園内研修含》
日時	受講場所	内容 「テーマ」	参加職員名
5月9日(火)～ 22日(月) 勤務時間内実施	保育事務所 動画視聴研修	(園内研修) 食中毒予防 動画研修	佐々・須賀・安川 佐々木・阿部 山中・川島・水元 川戸・滝沢・金 棚井
8月31日(木) 13:00～14:00	保育事務所 オンライン研修	コドモンカレッジ 子どもが主体的に活動する 保育環境の在り方	棚井
10月2日(月) 14:15～16:45	新宿歴史 博物館講堂	新宿区主催 専門研修 「保育室で活用できる コミュニケーションスキル」	安川
11月16日(木) ～ 12月8日(金) 13:00～17:00	保育事務所 オンライン研修	令和5年度第1回 保育事業者セミナー 「職員の定着に向けた チーム作りと人材育成」	佐々
11月14日(火) 13:00～14:00	保育事務所 オンライン研修	コドモンカレッジ 給食・食育で選ばれる施設になるために～事 例から見る園の 魅力づくりのご提案～	佐々
12月4日(月) 14:00～17:00	新宿歴史 博物館	新宿区主催 令和5年度 保育園・子ども園等 保育指導研修 専門研修 「0, 1, 2歳児の豊かな生活と 遊びを保障する保育環境」	佐々木

2023 年度		研修参加一覧	《 園内研修含 》
日時	受講場所	内容 「テーマ」	参加職員名
12月7日(木) 13:00~14:00	保育室事務所 オンライン研修	コドモンカレッジ 保育業界における理念に基づく ブランディングの考え方	佐々
12月12日(火) 14:15~16:45	戸塚 地域センター	新宿区主催 特別研修「良好な職員集団」 (不適切な関わりを含)	佐々
12月15日(金) 10:00~11:00	保育室事務所 オンライン研修	新宿区 令和5年度給食施設講習会	棚井
2024年 1月19日(金) 13:00~15:00	保育室事務所 オンライン研修	子ども家庭庁令和5年度 子ども・子育て支援調査研究事業 教育・保育事故の 予防に向けたセミナー	川島
1月24日(水) 14:30~16:30	新宿区教育 センター5F 大研修室	新宿区主催 「手作り玩具の作り方」	山中
1月31日(水) 10:00~11:15	新宿区立 西早稲田 保育園	新宿区主催 特別研修・公開保育 「子どもがのびのびと 表現することを楽しむために」 ～触れる、感じる、描く、 作るを楽しもう!～	水元
2月22日(木) 13:00~14:00	保育室事務所 オンライン研修	令和5年度 デジタルサポーター研修会 「乳児から楽しめる食育活動 について」	棚井
2月24日(土) 9:30~10:30	保育室事務所 オンライン研修	令和5年度 デジタルサポーター研修会 「乳幼児期の発達段階に合わせた 食べる機能・口腔ケアの サポート方法」	棚井

2023年度 キャリアアップ研修参加一覧		
実施団体 ・ 日時	研修種別	職種 / 受講者氏名
社会福祉法人 日本保育協会 7月3日(月)・20日(木) 8月19日(土) ライブ + オンライン研修	マネジメント	保育士 / 阿部 美香
社会福祉法人 日本保育協会 8月29日(火) オンライン研修	乳児保育	保育士 / 安川 瑠美
一般社団法人 アジルラーニング 2024年1月4日(木)～ 2月29日(木) e-ラーニング 3月19日 9:00～12:30 オンライン研修	保健衛生 ・ 安全対策	保育士 / 阿部 美香
一般社団法人 アジルラーニング 2024年1月4日(木)～ 2月29日(木) e-ラーニング 3月21日 9:00～12:30 オンライン研修	保護者支援 ・ 子育て支援	保育士 / 阿部 美香